夕刊
滿洲日報
八月二日

各地の共產軍三方より九江を目標に前進中
盧山滯在の外人避暑客に對し魯氏即時避難を通告

【上海電一日發】外人側情報を綜合するに鄱陽湖東岸の共產軍は渡江して南康に上陸し彭德懷軍の一部は修水に沿ひ德安方面に又大冶附近にありし共產軍は瑞昌に向ひ三方より九江を目標として前進しつゝあり、魯滌平氏は九江英國領事に對し盧山に避暑中の外人に三日以內に避難せざれば責任を負はずと通告した

長江一帶愈よ危險

【上海一日發電通】共產軍の長沙占領と同時に江西省の共產軍も活躍を開始し首都南昌及び九江を將に彼等に占領せられんとしてゐる同省の南昌と南康の間にあり九江方面に向つて進軍中でその途中にある外人避暑地盧山に危險迫つた爲め昨日イギリス官憲は避暑客に即時退去するやう勸告した尚イギリス官憲は長江一帶危險となつたのに鑑み青島碇泊中の軍艦ソンム號及びルシダー號に對し至急南京に廻航方を命令した

共匪我軍艦を砲擊
長沙領事館掠奪に遭ふ

【上海電一日發】軍艦小鷹偵察によれば長沙領事館は住宅を燒かれたるも本館及び中の島は外觀異狀なきも民家と共に掠奪は免れざりしものと認めらる同艦は英艦タイル號と共に共產軍より砲擊を受け戰發これに應射した、何鍵氏は湘潭に在りて長沙奪回を策しつゝあり

米軍艦被害
七十餘發命中

【漢口一日發電通】本日正午長沙來電によれば共產土匪軍は機關銃數十門と野砲數門を据え各國軍艦に猛射を浴びせ反擊に遭つても却つて頑強に抵抗してゐる、即ちわが二見、小鷹を初め英米の各國砲艦は猛射を浴び米艦パロスの如きは命中彈七十餘發に及び輕傷十數名を出した

魯氏逃亡準備

【上海一日發電通】九江來電、湖

牛匪の部落で危險極まりなく我當局は嚴重警戒中である

支那戰爭畫報

（上）は濰縣驛より望んだ濰縣城（下）濰縣驛における韓軍の軍用列車

漢口日界の裏手危險

南の共產軍は三路に鮫れ武漢、南昌、九江各地を襲擊するとの報道軍憲側に達したが魯滌平氏は防戰の意思なく自身及び省政府要人の家族を皆漢口に避難せしめ且つ九江、南昌間の鐵道を一日一回に減じ南昌に列車を抑留して逃亡の準備を整へてゐるので人心極度に怖え不安氣分横溢してゐる

【漢口一日發電通】日本租界裏手に當る姑嫂樹一帶に本日共產黨の宣傳ポスターが貼られ盛なる示威運動行はれたが、この地方は牛匪

漢口便衣隊
數十名を銃殺

【漢口一日發電通】特別戒嚴令下の漢口は夜間の通行一切を禁止されて死の町と化してゐるが、當局は共產便衣隊狩に血眼となり見附け次第片つ端から銃殺しその數既に三日來數十名に達してゐる、支那人富豪や銀行筋が現銀の隱匿に狂奔してゐる樣は支那ならでは見られぬ圖で上海方面に避難する者漸く增加し物情騷然たるものがある

共匪蜂起の裏に政治的策動潜む
王外交部長の觀測

【南京一日發電通】王正廷氏は長沙事件に關し本日日本記者團と會見して左の如く聲明した
赤色テロリズムを標榜する土匪軍が長沙を襲擊せる事件はまだ國民政府に公報來らず眞相不明だが、新聞の報道に依ると共匪の暴逆は豫想以上に除逆なるもの〻如くで殊に長沙の外國領事館や各國人の店舖家屋が燒打され掠奪されたことは眞に遺憾だ日本在留官民が逸早く避難しその生命に危害なかりしは不幸中の幸ひだ、外國居留民の生命財產損害に對しては正式報告に依り確かめた上國際公法に照らし慣例に從ひそれ〳〵損害賠償の責に任ずる、今回の事件は單なる共匪の仕業でなく國民政府の國際的立場を困難ならしめんとする政治的策動が加味されてゐると信ずる、即ち過般長沙を敗退せる李宗仁、白崇禧等廣西軍の敗殘部隊が土匪軍と合體し彼等を使嗾しこの擧に出でたものと信ずべき節がある、國民政府は目下正規軍を派し討伐中だから長沙の奪回は時間の問題で災禍はこれ以上擴大すまいと信じてゐる

邦人保護を訓電
外務省が出先の官憲に

【東京二日發電通】外務省では南方の共產軍約二千名江岸に進出し長沙、南昌方面の共產軍に相呼應して武漢に侵入せんとするの形勢に在りと報ぜられてゐるので最惡の事態發生の場合を顧慮し一日午後五時長江沿岸の出先官憲に對し在留邦人の保護に最善の方策を執るべくそれ〴〵訓電を發した

國民政府に抗議
共匪事件に關して

【上海一日發電通】重光總領事は幣原外相より卅一日附左の如き抗議的警告を國民政府に提出するやう命令を受けたので今日南京の上村領事の手を經て王正廷氏に手交した
長沙事件の善後處置につき總ての事態判明するを待ち日本政府は國民政府に對し正式交渉をするはずであるが、長江一帶には邦人多數在住し各種の事業に從事し居り長沙占領に勢を得た共產軍が更に邦人の生命財產を脅やかし重大事故を起し國際問題を惹起する虞れがある故帝國政府は取敢ずこの點に關し國民政府當局に甚大なる注意を喚起し至急適當なる處置を講ぜんことを希望す

重光總領事
外交部長と會見

【上海一日發電通】長沙事件の重大性に鑑み重光總領事は一日夜十一時林出書記官、野村、朝比奈兩書記生を伴ひ南京に向つたが、二日王外交部長と會見し我政府の抗議的警告を正式に通達し國民政府の猛省を促すに決定した

汪駐日支那公使
遺憾の意を表す

【東京二日發電通】駐日支那公使汪榮寶氏は一日今後三時外務省に幣原外相を訪問し長沙事件に關し遺憾の意を表し、なほ在留邦人の保護については萬全を期する旨聲明するところあつた

北方政府は十日以內に成立
朱外交處長の言明

【北平一日發電通】外交處長朱鶴翔氏は本日午後日本記者との會見において新政府十日以內に成立する見込みである、新政府目前の第一方針は共產黨の徹底的排除であつて蔣介石氏下野後には對共產軍の一部を以て赤軍討伐に當らせることゝならう、北方においては一切斯かる憂ひなく北方管轄下に在る外國人の生命財產は絕對安全である事を責任を以て明言すると語つた

陸軍異動評

阿部代理陸相
腕の冴え
待命實に三百八名

▽…【東京特電二日發】今度の陸軍異動は宇垣陸相の病氣が手傳つた突發的のもので稀らしく本省內に異動が多かつた、杉山軍務局長が同職を拔いて次官心得となり、今中將に進級して本ものゝ次官になつたのは宇垣さんの不幸が杉山さんに思ひ設けぬ幸福を與へたものだ

▽…新次官は與元帥亡き後の長閥の頭目格で多分に政治家的素質を持ち、外柔內剛・他に對するや その頭のやうに圓轉滑脫、而も自說を狂げぬ硬骨漢である、新軍務局長小磯少將は最近整備局長となつたばかりで本省外が長かつた、下僚受けのナカ〳〵よい人格で軍人中の滿洲通としても知られてゐる

▽…その下に硬骨漢で鳴る永田鐵山大佐が梅津少將に代つて軍事課長になつたのは良い對偶だ、小磯の德、永田の骨、本省の中樞たる軍務局は前途洋々たるものがあらう、新整備局長の林桂少將は小磯氏に次ぐ軍務局長の候補者だつただけに一寸皮肉の役に耐へまいが軍制改革の委員長として働き過ぎたのだから暫時靜養するのも良からう

▽…森鷗外亡き後の軍人文藝家として肉彈中尉として知られた櫻井新聞班長の勇退は一般に惜まれて居る、任に在ること正味七年、積極的に新聞の利用宣傳をするには多少手緩い嫌はあつたが、その軍事思想を鼓吹した功績は永く忘れられまい、その後任古城新聞班長は軍人中の英語堪能者として知られて居る

▽…要するに阿部代理陸相が最初の試みである、今回の大異動は新舊一千三百四十餘名、待命三百八名の多數に上り仔細に觀察すればいろ〳〵非難もあらうが大體において豫想されたものが多い（寫眞は阿部代理陸相）

けふ歸任の仙石總裁

黃陂、孝感を共匪占領

【漢口一日發電通】漢口より一日行程にある平漢線の黃陂、孝感の二城は三十一日午後共產軍に占領され城內は完全に掠奪された、共產軍は愈々是より武漢を襲擊せんとする姿勢を示して居り形勢重大となつたが武漢當局は右につき左の如く苦衷を語つた
武漢の守りを固くする爲め要塞地域外にある兩城は殘念ながら拋棄した

膠濟線の兩軍激戰

【濟南一日發電通】韓軍と山西軍は濰縣四方二十支里の大河を挾んで激戰中で韓復榘氏の下野もどうやら怪しくなり膠濟鐵道は何時通するや見込みが立たなくなつた

元湖北省長孫傳芳氏を訪ふ

在連中の孫傳芳氏が北方政府樹立のため種々畫策中である事は屢報の如くなるが一日午後入港の河南丸にて元湖北省長何佩瑢氏が來連直ちに市內柳町の孫氏宅に落ちついた、何氏はかつて孫氏の部下として活躍した人物で現在孫氏の最高顧問格である因に何氏は孫氏の招電に接したものであると

北方銀行開行

【北平一日發電通】新に北方側の中央銀行として創立された中華國華銀行は本日盛大なる開行式を擧行した同行は資本金一億元で兌換券一千萬元を本日發行した

鐵道部收入減等の緊急對策を協議
仙石總裁歸任により
明年度豫算の重役會議は下旬

滿鐵々道部本年度の收入減は見込收入よりも二千五百萬圓減を豫想され黃金時代より受難時代に轉換せんとする形勢にあるので第二段第三段とその對策を講じつゝあるが仙石總裁の歸任によつて本年度事業費、經費の大節約を斷行するもの〻如しである、仙石總裁は鐵道部の事業費、經費の節約と共に各部もこれと步調を合せ更に販賣部にある撫順炭の採掘減等を緊急問題として取敢ず協議決定する模樣である、而して各部來年度の豫算案は本月二十日頃までには總裁部へ取纏められることにならうか是これに對する重役會議は下旬頃開催すべく臨時業務調查委員會が總裁の上京中研究してゐた給與規程改正案が一日午前中に最後の委員會を開き成案を得たのでこの改正案と傍系會社整理聯合案とを來年度豫算會議前に協議されることにならうと觀測されてゐる

樞府條約精查と樞府の方針
說明の分擔も決定

【東京一日發電通】政府は一日の閣議散會後一時より濱口首相、幣原外相、江木鐵相及び阿部陸相代理、鈴木翰長、川崎法制局長官等會合しロンドン條約案に關する樞府精查委員會における說明者、並びに對策に關して協議をなし大體左の如く意見の一致を見て三時散會した即ち
一、精查委員會は首相外相海相の三閣僚出席しこの外法制局長官並びに海軍外務兩省より專門委員を列席せしむ
一、阿部陸相代理は條約案に對する陸軍側の見解並びに陸軍事務管理問題に關する答辯の要ある時出席す
一、質問に對する答辯は議會における政府の答辯と矛盾を生ぜざる事を趣旨としその內容を詳細にする事
の根本方針を決定し右方針に基いて豫想さるゝ個々の問題につき種々論議したものである尚濱口首相以下前記關係閣僚は御批准終了まで遠隔地の旅行を見合せる事となつた

與黨幹部首相に陸軍々縮を進言
飽までその實現期待

【東京一日發電通】陸軍々縮は現內閣成立直後八大政綱の一として國民に公約せる重要政策なるを以つて民政黨では是非とも政府を鞭撻して六年度よりこれが實現を期せねばならぬとの強硬な決意を以つて幹部は濱口首相に對し先日非公式に與黨の意嚮を進言し併せてその眞意を訊したところ首相も全く同意見であつたので幹部もこれを諒とし首相の誠意を信じ飽くまでその實現を期することゝなつた

條約案下審查進捗

【東京一日發電通】ロンドン條約の樞府下審查は一日も午前十時より續行されたが二日は常設國際司法裁判所規定改正に關する精查委員會が開かれるので同日は休止し來週に持ち越さるゝ事になつたが大體後一回で下審查終了の豫定である

政府對策協議

【東京一日發電通】定例閣議散會後濱口首相幣原外相江木鐵相阿部陸相代理は特に居殘り樞府精查委員會も切迫したのでその答辯方針及び政治的對策等に關し重要なる打合せをなした

政友經濟事情調查打合せ會

【東京二日發電通】政友會の經濟事情調查委員は一日午後三時より總裁邸に第二回打合せ會を開催し犬養總裁の挨拶の後山本會長より政務調查に關する經過報告あり終つて種々協議の結果、要するに今回の經濟調查は超黨派的立場に在つて全國的不景氣の眞相につき徹底的に調查すべきであるといふ旨の申合せをなし同五時散會した

滿鐵の諸問題は總て研究後
不況時には勉强出來るよ
けさ歸任の仙石滿鐵總裁

仙石滿鐵總裁は鍋島秘書と共に二日入港のうらる丸にて歸連したが船中往訪の記者に語る
昭和製鋼所は既に登記して設立されてゐるが敷地問題は未だ決定してない、新義州多獅島の調查委員一行が同地に赴くのは本月中旬頃だらうが、やるかやらぬかもまだ判らない、オレの一存で敷地は決定するだらうて？さうもいかんよ、傍系會社の整理滿鐵諸給與規定の改正か、サアこれも研究してからのことだ新任理事は評判がいゝて？オウそうか社內でも社外でもいゝ人があればいくらでも增員するよ滿鐵の收入減か、社員を勉强させるには減少も時にはいゝだらう
船中頗る沈めた總裁は靜かな海上より朝の大連港を眺めながら「何も面白いことはないかのう」といつて記者團の質問には多く語るを欲せないらしかつた、因に總裁は上陸直ちに星ヶ浦別莊に赴き大平副總裁も同行したが副總裁は十時半頃歸社した

人事

▲仙石貢氏（滿鐵總裁）二日入港うらる丸にて歸連
▲根橋禎二氏（同計畫部技術課長）同上
▲五泉賢三氏（辯護士）同上
▲鍋島嘉門氏（滿鐵總裁秘書）同上

大觀小觀

さすがの王正廷氏が兜をぬぎ、長沙事件の責任は國民政府ありと は近頃、殊勝の至りと申すべし。
◇
だが、共產黨匪の討伐は時間の問題なりなど高を括るに至つては言語道斷。
◇
また、北方側が蔣介石下野後、討蔣軍の一部を赤軍討伐に向くべしなども責任感の稀薄を認めざるを得ぬ。
◇
對外的に遺憾の意を表したぐらゐでは相濟むまい。
◇
武漢が今や危機に瀕しつゝあるではないか、敗殘した廣西軍殘黨の政治的策動なりなど暢氣にしてゐても軍閥勢力の基礎が根柢から搖がされはせぬか。
◇
北方とても直接に關係なしと鐵より大きな顏は出來ぬと知るべし。

天氣豫報

三日（南東の風）曇、一時晴れ

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二七・四	二九・六
旅順	二八・四	三〇・五
營口	三〇・七	三三・五
奉天	三〇・一	三四・二
長春	二九・〇	三七・一

滿潮（午前）四時卅五分（午後）四時卅五分
干潮（午前）十一時（午後）十一時五分

昨夜また不逞團が 吉敦沿線を襲ふ 鐵橋を破壞し電信切斷 敦化安否不明

【吉林特電二日發】既報鮮人不逞團は昨夜吉敦沿線を襲ひ、拉法站、沙河河子の鐵橋を破壞し電信一個所切斷、目下拉哈爾を去る六十六キロの地點に出で支那兵と交戰中、尚新開通にも約五、六十名現はれ交戰中にて敦化の安否は不明である

根據地から逃亡して交戰

【長春特電二日發】敦化を中心として突如襲來した鮮支人の共產黨員は支那側軍隊と目下交戰中であるが擊退されて居る模樣である、尚一日夜共產黨員より長銃十二挺奪取されたと、また根據地から逃れて來た共產黨員四十名は柳樹河（敦化の次驛）で電信柱を破壞し逃走の際軍隊に發見され交戰中、尚一日支那軍隊の爲め鮮人三名、支那人三名計六名の共產黨員が逮捕された、此六名は木橋を燒却した犯人らしいと

東北當局で 共匪嚴戒 戒嚴令を布く

【奉天特電二日發】東北當局は長江筋の共產匪の猖獗に鑑み萬一に備へる爲め省內共產黨の策動に一層の警戒を加へる方針を執り省城に於ては一日から無形戒嚴令を布き多數の私服軍警を要所に派して警戒に努めて居るが今迄のところ平穩で當局は省內には赤化暴動は起らぬものと大に樂觀して居る

鮮支文の宣傳文 哈爾賓で撒布

【ハルビン特電二日發】八月一日の赤色デーに社會科學研究會滿洲共產黨鮮人は反帝國同盟の支援を受け市內に鮮支文で「長沙の共產軍と呼應せよ、帝國主義打倒、支那赤化」を說いた宣傳文を撒布し支那官憲に逮捕された

二名戰死す ブハト襲擊で

【ハルビン特電二日發】ブハト附近に現れたパルチザンと支那官兵の交戰で露人一名官兵一名は戰死した

中國共產黨に入黨の土產 朝鮮共產主義青年團 警戒の手を緩めぬ支那官憲

一日朝吉敦鐵道木橋を破壞した不逞鮮人等は支那護路軍の到着まで逸早く姿を消し目下護路軍は追擊中であるが、これ等不逞鮮人の正體につき判明した所に依れば彼等は從來朝鮮獨立運動と稱して屢々良民を苦めた不逞漢の一味にて春從來の運動を中止し中國共產黨滿洲省黨部に加入したもので今回の事は入黨の手土產にしたものらしい、彼等は中國共產黨の一部である朝鮮共產主義青年團と稱し日支官憲打倒、ソウエート建設をモットーとしてゐる

尚八月一日の赤色記念日は支那官憲が大童となつて警戒につとめた結果右敦化方面以外には何事もなかつた模樣であるが共產黨は更に八月二十日の全國代表準備會議、九月一日の赤色青年日、十一月七日の中央全國代表大會日等を期して何事か畫策してゐる模樣で支那官憲は依然警戒を續けてゐる

高松宮兩殿下

【ブラッセル一日發電通】高松宮同妃兩殿下は本日リエージュの歐洲大戰勝蹟ドイツ軍に破壞されたロンサン砲臺を御見物になつた

大西洋橫斷 遂に成功 R百號着く

【セント・ヒューバート一日發電通】英飛行船R百號は一日午前一時十四分着陸地たるモントリオール郊外セント・ヒューバート飛行場の上空に勇姿を現はし夜明けを待つため旋回飛行を續けてゐたが午前五時二十八分（東部標準時）繫留作業が開始され僅かに八分間を要したるのみにて同號は完全に午前五時三十六分繫留され玆に無事大西洋橫斷飛行を完了した

グリニッチ標準時二十九日午前三時四十五分（東部標準時二十八日午後十時四十五分）にカーヂングトン飛行場を出發してよりセントヒューバート飛行場までの所要時間は七十八時間五十四分である

海濱新風景

流行の家族テント

うらる丸に いろいろな話題 埠頭も出迎人で賑ふ

今日の定期船から……上京中多忙な日を送つた仙石滿鐵總裁は鼠巴の背廣でうらる丸甲板に壯健そうな姿を現はしてゐる秘書役鍋島嘉門氏それに計畫部技術課長根橋禎二氏が上陸準備に忙しい一方昭和製鋼所州內設置上京委員として總裁と同日大連を出發した前市長石本鏆太郎翁出帆時の意氣込も何處へやら記者團と總裁の回答に膝を寄せて聞入つてゐる、この外ドイツドレスデンに研究の爲め出張する東京工業大學教授清水誠博士、大阪商船文書課長內山正也氏大阪ウヰルミナ女學校教諭でメソヂスト教會から招かれた西野貞子女史、三等の甲板では七月廿五日から京都武德殿で開かれた全國青年演武大會に出場した二中、商業、育成の各選手が岸壁に出迎へた先輩學友と挨拶を交してゐる

尚ほ此日仙石總裁出迎へのため埠頭には大平副總裁を初め滿鐵幹部級並びに傍系會社長等で賑つたが、殊に來連中の角力玉錦が巨軀を提さげて鄉黨の元老仙石氏を出迎へたのは異彩を放つてゐた

運動で負けない 石本翁語る

昭和製鋼所陳情委員として上京中であつた前市長石本鏆太郎翁、行く時の元氣は何處へやら悄然として語る

前航で歸連した小澤委員が報告なすつた通り悲觀說と見て差支へない、あれ丈け運動して駄目なら仕方ないさ、只我々在滿人の私利私慾を離れた赤誠だけ買つて貰ひたい、しかしこれもまだ全然悲觀するには早く私は總裁との面會で總裁の御意見を伺つたところ「誰がなんと云つてもわしが調べた上で好いと思ふところに設置するさ」と暗に新義州必ずしも決定的なものでないと云ふことをほのめかされたが多獅島に向つて續々調査班が向つてゐることは事實である、ある一部の人は私達の運動が拙劣で朝鮮側の方に運動負けしたやうに云はれる向もあるが全然そんな事はない、全滿的運動として我々は上京種々策したもので、それだけはハッキリ云つて置きたい、運動かね、打切るものか同志と協議の上何度もぶつかるつもりで居る

「滿洲の梨胴」 二中劍道軍

去る七月廿五日より三日間京都武德館において開催された全國演武大會に出席準々優勝戰まで漕ぎつけ「滿洲の梨胴」と威名を馳せた大連二中鐵道部選手は同じく滿洲健兒の氣を吐いた大連商業、育成學校鐵道部選手等と共にうらる丸で歸連したが三譯二中主將は語る

全國二百八十五校のうち三日目には二百七十六校、ふるい落されて九校を殘しそのうちに入る事が出來たんですが、惜しい事に準々優勝戰に三―二の成績で福岡中學に敗れましたがベストを盡して戰ひました

宗教講演に 西野女史來る

我國女子教育に貢獻する事三十年現大阪ウヰルミナ女學校教諭西野貞子女史は當地日本メソヂスト教會設立十周年記念に招かれ約一週間に亘り宗教講演を行ふ事になり同船で來連したが女史は語る

大連には三度目です、一度は同じく教會から一度は滿鐵から招かれたのです、この日本の現狀において最も氣をつけてやらねばならぬものに女子の完成があると思ひます、思想的に色々な意味で混沌たる現況を思ふとき私達は起たねばいけない樣な氣がします、聞くところによりますと久布白女史が來て居られるそうですね、この節遠い滿洲でお會ひ出來たら結構だと思ひます【寫眞は西野女史】

光枝を相手取り 恐喝で告訴 一方では墮胎罪で反訴する 齋藤醫大助手の爭ひ

奉天醫科大學助手醫學士齋藤久保氏が奉天宮島町日進館元女中小橋光枝（三）に相手取られ貞操蹂躙慰謝料五千圓請求の民事訴訟を（渡久山辯護士代理）提起されたことは本紙既報の通りであるが、當の齋藤醫學士は原告側がいふが如く光枝に對し妻にすると云つた覺えはなし殊に姙娠五ヶ月目に墮胎させたいといふが如きは全く虛言であつてさきに四百圓の金を光枝に手渡してあるに拘らず、いま又脅迫がましくも墮胎云々を以て五千圓請求を行ふは怪しからぬと、數日前有川辯護士を代理として光枝を相手取り恐喝罪の告訴を奉天領事館に提出した、そこで光枝側も默してをらず齋藤氏の言は虛言であるとなし今まで手控へてゐた墮胎罪の告訴をも併せ近く誣告の告訴を提出すべく目下渡久山辯護士の手でこれが材料蒐集中で暴露戰術の醜き告訴爭ひが次から次へ展開されるものと見られてゐる

早川雪洲が 實演する 松竹と契約

【東京二日發電通】歸朝中の早川雪洲はこの程松竹との契約に依り來る九月一日より廿五日まで帝劇や或は歌舞伎座で眞物の芝居を演ずることゝなつた、出物は米人ベラスコ氏作永田秀雄氏譯の「オノラブル、ミスター、ウオン」であるが、フイルムを通じてのみ演技を見せてゐた雪洲の實演は頗る期待されてゐる

沖繩山口縣へ 御救恤金下賜

【東京二日發電通】山口沖繩兩縣下風水害御救恤のため二日左の如く兩陛下より御下賜金があつた

沖繩縣 金三千五百圓也
山口縣 金七百圓也

中味のない 海苔を賣る 朝鮮人の詐欺

市內聖德街二丁目一二〇番地久米川治平方では過日朝鮮人行商人より味附海苔廿四個を買ひそれを贈品にしたところ約半數は中味なく空であること判明前記朝鮮人より詐欺にかゝつたので二日沙河口署へ屆出でた

全滿軍か ― 慶應か 全國の興味を集め 第一日劈頭から大接戰 競技種目と兩軍の得點豫想

八月九、十兩日大連運動場に於て擧行される慶應大學對全滿洲對抗陸上競技會は日本陸上競技界より非常なる期待を以て注視されて居る慶應軍は遠征確定と同時に數回豫選會を開催してベスト・メンバーを作り未だかつて外來チームに破れたことのない全滿洲軍を擊破すべく、又全滿洲軍はこの強敵を見事擊ちとつて陸上王國の名を恥しめざる樣この炎天下に猛練習中であるから必ずや好記錄を現はすであらう、今兩軍の各選手が最近作つた記錄の上から比較して見るに益々この競技會は白熱化することは豫測するだに至難なことではない

第一日（九日午後四時開始）

百米 慶には十秒九を保持する阿武居る全滿にもこれに對抗する岡あり、この兩者の一騎打ちこそ大會の白眉とも稱すべくたゞ岡にはホーム・グランドと云ふ好コンデイションありこの兩雄に配するに慶は十一秒三四豪の菅沼及び同豪の吉田あり全滿は十一秒二三豪の今井田中あり結局戰は五分五分とも云ひ得べく、ただ劈頭競技として爾後の戰況を有利に導くためにこの競技に全勢力を注ぐことであらう

砲丸投 十二米五〇豪を完全にオーバーする齋藤板橋兩雄に怪漢黑田のメンバーを有する慶軍に對し全滿軍僅かに西村を以て對抗し得らるゝに過ぎず、西村は好コンデイションに於て十二米三四十豪であり同選手を援ぐる橫井最上の兩選手は未だ十二米豪の記錄に至らず八對二の苦戰と思はれる

千五百米 千五百米の第一人者たる津田選手が家事の都合上來征不可能となつたことは北本津田の兩雄を有してこの種目で斷然リードしようとした慶軍にとつては可成りの痛手に違ひない北本の優勝は確實なところとして滿永谷が往昔の元氣で奈邊まで北本を追ひつめるであらうかに興味があり又永谷を追ふ脚の渡邊も決して侮り難き選手でつとに中等校時代より陸上界に名を馳せた選手で五分十七八秒の記錄を有して居る、又最近元氣な濱田がこの種目に出場するとせば永谷渡邊濱田の戰ひの分岐點は作戰の如何に依ると思はれるが結局六對四で慶リードするのではなからうか

棒高跳 全滿軍の書入種目である、三米四〇豪の記錄を有する慶軍に對し三米七〇豪の淺板六〇豪の伊藤五〇豪の西田の三選手を有する全滿軍として順調に行けば九對一のスコアーであらう

四百米 慶五十二三秒豪の奈良を第一線に立て短距離の阿武（五十一秒豪）八百米の高西を配して斷然に出するべく滿洲軍は新進選手多田八百の濱田を起用し老巧松重をこれに配するであらう、松重は最近非常なる元氣で練習タイム獨走で五十二秒七のレコードを出し岡部コーチ高橋監督等をして彼未だ老いずと驚かして居るから奈良阿武松重の競走は必ず五十秒を切るであらうと期待を以て迎へられて居る、結局六對四で滿洲勝つの見込

走巾跳 田中、柴田、岡星名等六米五十豪をシュアーロオーバーする全滿軍に對し慶坂本桑田を配するであらう、桑田は最近元氣なしとのこと坂本は六米五十豪を僅かにオーバーするに過ぎず六對四で全滿有利

高障碍 全滿の鶴岡の獨舞臺と思はれるが慶の中濱も十五秒八の記錄を有して居り全滿の山川星名中村等は十六秒八九の記錄しか有して居ないが結局鶴岡一二三等慶四全滿軍のものとなるであらう

八百米繼走 白熱的ゲームとなるだらうが結局ルームグランドの關係上順當に行けば滿洲軍の勝となるだらう

第一日豫想得點（一等四點二等三點三等二點四等一點）は左の如くである

	百米	砲丸投	千五百米	棒高跳	四百米	走巾跳	高障碍	八百米	計
滿	5	2	4	9	6	6	5	3	40
慶	5	8	6	1	4	4	5	0	33

納涼園で賭博

一日午後九時半ごろ市內富久町において目下開催中の納涼場內にて大連管內西山會香爐屯三區一〇二番地の袁寶亭（三）が胴元となり數名の見張り人を置いて「豚子寶」と稱する賭博開帳中を小崗子署の刑事が發見一網打盡に逮捕した

教員檢定試驗

本年度普通學堂、公學堂教員檢定試驗は本月七日から六日間旅順師範學堂に於て施行さるゝ筈で關東廳では一日を以つて受驗願書を締切つたが今期志願者は公學堂教員五十三名、同專科教員十六名、及び普通學堂低學年教員一名都合七十名であつたと

不良力士公判 四ケ月の求刑

廣島縣生れ力士開心こと前科二犯黑岩精三郎（三）は納涼大角力主催體育會後援地方力士連と稱する寄附帳を持ち廻り七月一日から五日迄に市內大山通五七番地絹布商山本源外百三十名から百三十餘圓の寄附金を詐取した事件の公判は二日大連地方法院長島判官係開廷立會檢察官は懲役四ケ月を求刑した

日獨濠庭球戰 第二日成績

【ベルリン一日發電通】日獨濠三國庭球試合第二日成績左の如し

原田（六―二、六―二、六―三）ニューン（濠）
プレン（獨）（六―四、六―三）太田
安部（六―三）デサルト
佐藤（七―五）クラインスロス

千秋樂取組

大相撲七日目取組は左の如くである

（上）宮山（晴ノ海）（東）海光山
高浪（潮ケ澤）池田川（鼎）光
太郎山（若瀨川）（幡瀨川）雷ノ峰
大蛇山（劍岳）（沖ツ海）（眞鶴）
錦洋（若葉山）（玉錦）宮城山
吉野川（朝潮）（寶川）（豐國）

台所メモ

		百匁	
えび	同	四〇〇	二〇〇
ひらめ	同	一五〇	一〇〇
すゞき	同	三〇〇	一三〇
さはら	同	三〇〇	一八〇
めばる	同	三五〇	二〇〇
かれい	同	五〇〇	一二〇
うなぎ	同	九〇〇	六〇〇
あなご	同	三〇〇	二〇〇
どぢやう	同	二〇〇	一五〇
ちぬ	同	三五〇	―
かに	同	一五〇	―

俠艶一代男 (13)

米田華紅作　伊藤幾久造畫

神田祭の夜(十三)

土堤の柳、老樹に身が隱れてゐたので、加賀鳶の鐵太郎がそこに居るとは、その二人連は氣が着かぬらしく、べら〳〵と一人の方が喋り立てゝゐる。

聖堂の森近く、土堤に沿つた道を櫻の馬場の方へ向つて行く。

「神田明神の祭りで、下町はごつた返す賑やかさ、ちやんちき〳〵の馬鹿囃子で割れ返つてゐると云ふのに、ここはまた何と云ふ淋しい所でございましやうかね？明るい街から急にこんな暗い道へ出てきた故か、鼻を摘まれても判りませんよ。私一人では、幾ら錢金は身につけねえ按摩渡世でも、こんな無氣味な場所を通るのは眞平でございますよ。はい」

と、饒舌る言葉のはし〳〵に、どこか本音と見えるぞんざいな調子が見えた。

「本當に御苦勞なとでござるな」

浪人者と見える、尾羽打ち枯したとでも云ふか？見すぼらしい着流しに一本差し、髮を總髮で束ねた年配の男が相槌を打つた。

「えへツへ、、、。何のこれ位なこと！御近所に住まへばお互さまでございます。遠い親類より近い他人で、何かとまた御厄介にならねばなりません。それに仲間は盲目許り、目明きで按摩は私一人位ですからね。いつもお鐵さまや旦那さまにお世話許り燒かして居りますよ。此度のことにしても、日頃お世話になるお禮心の積りで、えへツへツへ……」

「何の！、拙者たち親娘こそ常日頃、そち達が親切、身に沁みて嬉しく思ふてゐるが、昔に變る今の姿、禮も思ふ許りで致し兼ねてゐるのぢや」

物堅い浪人者と見え、眞情を籠めた聲に力があつた。

「とんでもねえことでございますよ、盲目長家は乞食長家と、世間から小馬鹿にされてゐました所へ、降つて湧いたやうに旦那さまとお鐵さまがお引越で、掃溜に鶴、夜が明けたとでも云ひますか？、盲目長家の連中も急に肩身が廣くなつた思ひで居りますよ」

「いや何かと、親身も及ばぬそちたちが心盡し！、嬉しく思ひ居るぞ。娘ともこの頃では、渡る世間に鬼はないとは全くぢやとな、寢物語りに致して居る」

「へえ！、そ、それ程までにお仰られては、本當にお有りがてえ位なもんで、盲目長家の奴等も、旦那さんが今のお言葉を傳へきかせやしたなら、感泣……でございましたかね。その悦びにおい〳〵と泣くことでございましやうさ。旦那さまと云ひ、お鐵さまと云ひ、お優しいお心根で、どうしてあゝ云ふお方が、こんな長家へ浪人なさつて、お苦みなさるんだらうてね。始終そのお噂はしてゐるんでございますよ。はい」

目明き按摩と自ら名乘る五十の上を越した男は、圓頂に鼠木綿の着物、裾短にチョキリと帶を後に結んで、手馴れた竹の杖を突くでもなく、高足駄は足癖と見え、乾いた大地をカラ〳〵と重さうに引き摺つてゐる。

「道玄さん！本當に今夜は御苦勞ぢやな」

と、浪人者は思ひ出したやうに禮を述べた。

「またですかい？もうお禮はお仰られねえで下せえましよ、私もお鐵さんが、日頃お出入りして、御贔負下さる石上さまのお邸へ奧勤め幾らか今よりお樂が出來るお身分になられると思へば、こんな嬉しいことはございませんや。自分の事のやうに嬉しいんですよ」

「忝じけなうござる」

目明き按摩の道玄とやらには何の知合でない加賀鳶の鐵太郎は、聽き覺えの聲にどこか、浪人者の聲にどこか、聽き覺えの調子があつた。

「はてな？」と、二人連の行き過ぎるのを、柳樹の暗い蔭から見送りながら腕を組んだ。

その時、河上の櫻馬場の方からすた〳〵と一人の御家人風な若い男が摺れ違ひ、遣り過ごしてから浪人者の肩先、後から拔き打ち、

「えいツ！」と、斬りつけた

キネマと演藝

今夜から寶館開館　晝間は披露式

帝キネ映畫館となつて更生した寶館にては既報の如く館内を改造すると共にローヤル映寫機水銀整流機を購入する等、新陣容を整へつゝあつたが、この程全く準備なり今二日午後一時より各方面の關係者を招待して開館披露をなし愈々本日夜間興行より帝キネ時代劇特作品「江戸城總攻め」同現代劇「友愛結婚」を上映し華々しく開館した

松平長七郎

◇一代の不平兒徳川幕府の謀叛兒松平長七郎の旅日記である駿河大納言忠長卿の遺兒長七郎が、三代將軍の下に祿を食む事を潔よしとせず、其の無聊を慰める可く旅に出て、途中紀州公より舊臣下が長崎にあると聞き遂に長崎に到り幕下を集め大明に押渡らんとするが、幕府の法度に會ひ、雄圖破れて死に就くと云ふ筋。

◇林長二郎の長七郎と聞いただけで惡くない響を直感する。そして事實惡くない。——つまり惡くないと云ふ事は長二郎の殿樣タイプの氣品と容貌がこの役にうつてつけであると云ふ事で、性格の曖昧さや、余りに型通りの歌舞伎好みの殿樣で、人間味が零であることなどを、今更言つてゐるのではない。

◇江戸出發前は動きが少いが悠々旅に出ると俄然陽氣になる、元來時代劇の旅日記は空想的な假構が自由なので、寫眞も樂にとれるし、大衆うけもするのであるが、此の映畫等はその點を最も明かに物語つてゐる、つまり初めと終りは舞臺くさく、ギゴチないが中程—旅日記の所は明るく、輕く出來てゐる。

◇女賊夜嵐おきぬとの交渉、それから後段の長崎で浮橋太夫との交渉は、この寫眞を色つぽいものにする大切な道具であるが、何を感じてか至極あつさり片付けてある。思ふに撮影當初の意圖が半ばにして急に變更されたのではあるまいか。そう云へば下加茂程の歌舞伎ずきが長七郎傳記の附きもの、御用金三千兩奪ひ取りの場面までが、物語りの間に幻しとしてホンの一カツト現はれるだけである。

◇監督を云々し、俳優を云々する等と云ふ手數は省きたい。何故なれば「猿飛佐助漫遊記」の昔から彌次喜多然り、彦左衛門然り、旅日記映畫は大衆にうけ、うければ儲り、儲かるから映畫會社はこれを奇貨として性懲りなく繰返すだけなのであるから【帝國館上映】

大日活の大衆興行

大日活の大衆興行「東京行進曲」と「沓掛時次郎」は果然入氣を呼びきのふの初日の夜は階上階下とも滿員の盛況▲今夜は土曜日だし寶館が開館し帝國館は「不壞の白珠」を再上映して第二回の大衆興行の蓋り日▲さアどこに軍扇があがるかと映畫街の興味をそゝる夏枯時の變態的興行戰▲とところで大日活の「沓掛時次郎」を里見弴洋がシヤベルものと思つてゐたら七月末限りで退館したとはアッサリしてゐる▲來る十一日神戸出帆のうらる丸で日活の俳優が米遊するが、お宿は私の方へと、宣傳に拔け目なく大日活に申込み殺到▲成瀬スターを泊めて大連一の涼しいところとでも宣傳すれば効目があらうといふもの▲寶館ではプロマイドを進呈する▲また今週の先着入場者三百名に今週上映のプロに井上技士、木村帝キネ事務員が仲良く肩をならべ、解說部には姫路、桂がイロハ順でならんでゐる

大連　JQAK

八月三日午後七時半

▲講話「角力の體育的價値に就て」今尾登

▲筑前琵琶「北條時宗」法暢山藤本旭嶺

▲尺八合奏「春風」一部、磯田汐山小笠原介州、武田介陽、二部、貝通丸師山、荻野介幽、安田介浪

▲講談「女武士道」笑福亭作兵衛

▲支那唱「海御珠」唄陳紅子、師付王振泉

第十九回満日勝繼碁戰(井上氏三回)(勝四回目)

先二二子番　高本吉郎氏　井上太市氏

—【2】—

●十八(十の處に劫提る)　●二〇(一の處に粘ぐ)

○二一ツの四　●二二ヨの四　○二三ソの六　●二四ソの二

○二五ヨの七　●二六タの九　○二七カの六　●二八ヨの八

○二九への三　●三〇ニの六　○三一への十三　●三二ホの十六

○三三への十六　●三四ホの十五　○三五ニの十七　●三六ハの十七

○三七への十五　●三八ホの十三　○三九ハの八　●四〇への十四

▲都筑四段伊藤三段合評　白廿七は(い)に頂けて打たねばいけません黒卅二は(ろ)に尖む處です黒卅八は(は)に伸びるがよろしい白卅九は(に)に出て黒(ろ)の時(ほ)に切り黒(へ)白(と)と打たねばいけません

滿洲日報

社説

估券を落す千萬丈

長沙事件は支那の現實暴露

支那の國情に共産主義などといふものが合ふか否か、すこぶる疑問、否、問題とするまでもないことと思ふ。だから私共は、共産黨なるものに對しては餘り多くの關心も憂慮も持たぬのであるが、それが土匪だといふことになると、これを厄介千萬とせぬ譯に行かぬのである。尤も、その土匪なるものが正規軍以上の規律を守るやうになり、地方の勢力として治安を維持するやうになれば、それにて結構なのであるが、それも覺悟ないこと。もと〳〵支那の歴史を顧みると、大抵、地方の土匪が大きくなり、豪族となつて勢力を擴大すると易姓革命を行つて來た。だから土匪といへども支那では、なかなかバカにならず、今の新舊軍閥なども、この點になると五十歩百歩の出身であり、正邪官賊の區別は力量如何にありといはねばならぬ。

◇

湖南、江西の地方に割據し、つひに長沙を占領した共産共匪、これに共産主義なるものを冠することすら少しく變挺であり、却つて普通の土匪を以て取扱ふことが適當かも知れぬが、名目は兎もかくとして、九江や武漢までも危險であるといつては捨て置くことは出來ず、支那としては勿論、外國としても無關心でゐる譯には行かぬであらう。といつても吾人は、支那人などが心配してゐるやうに各國の共同管理の下に支那を置かねばなどと唱ふるものではないが、ただ土匪として國民政府は勿論、北方の政權としても餘所事の如くに顧みて他をいはんとする態度は、われらの最も慊らぬところとせねばならぬ。土匪の頭に冠するに共産を以てするだけにても烏滸の沙汰といふべく、國民政府も北方政權も、また他の地方の官憲も、この強大なる土匪の兇暴に對し、共同の敵として鎮定するの義務あることを忘れてはならぬ。互ひに責任の塗り合ひをなし、却つて彼ら土匪をして漁夫の利を占むるが如きことあらしめてはならぬ。

◇

とにかく支那は、今次の長沙事件の土匪暴動により、その現實を全く暴露したものといはねばならぬ。正規の軍隊を擁する國民政府に治安維持の力量なく、湖南、江西、湖北、福建數省にわたり土匪の横行闊歩に委して手も足も出し得ぬといふことは、蔣介石氏や王正廷氏らが何といふても、支那の現實暴露を如實にやつたものと見ねばならぬ。そこには國民革命もなく南北の統一もなく、否、一地方の維持さへ出來かぬる實に微弱たる實情にあることを暴露したものといふべく、あるひはこの問題は損害賠償ぐらゐで解決せらるるかも知れぬが、支那自國としては、もつと根本的な革命建設途上の重大問題といはねばならぬ。否、革命建設どころでなく、單なる現狀維持の治安維持さへ出來ぬとあつては二十年以來、今日まで努力して來た孫文の三民主義が泣き出すであらう。

◇

それは兎もかく現實の支那は誰が何といふても長沙事件ぐらゐは日常の茶飯事ともいふべく、かくの如き事件は寧ろ特異のことではなく、むしろ年中の行事ともいふべきであらう。かゝる現實の支那に對し從來、牛可通の歐米人などが抽象的の觀念に囚はれ、ヤング支那などと稱し、これを近代的國家を以て遇せんとし、例の不平等條約の撤廢などにも特別の關心を持つものもあつたやうであるが、今日、長沙事件の如きものを以て現實を暴露するに至つては、それが餘りにもバカ〳〵しくあつたことを感ぜずには居れぬであらうと思はれる。こゝにおいて最近、歐米人などの間には盛んに共管論の唱へらるゝに至つたのも、あながち故なきにあらずである。蔣介石氏や王正廷、さては汪精衞、閻錫山、馮玉祥氏らが、この儼乎たる支那の現實暴露を何と觀てゐるであらうか。支那の南北統一、革命達成、それが蔣氏らの武力主義ぐらゐのものにて完結されるほど簡單のものでなく、また汪氏らの黨を以て云々ぐらゐのことで横行する土匪一ッ討伐鎮定し得るものにあらざることを知るべきである。何といふても、今次の長沙事件は國民政府の估券を下落せしむる千萬丈なりといはねばならぬ。

中央軍一二週中に長沙奪回は困難

共匪江西を根據とす

【上海特電二日發】長沙占領によつて勢を得た共産軍は更に江西全省をその手に納めソウエート區域を建設して今後活動の永久的基礎を此處に確立せんとする計畫を樹て目下この方面に主力を集中してゐる、即ち既に占領せる長沙には紅軍第二軍たる賀龍の部隊約五千八百と同十六軍の一部隊を止めて三軍黄公略の約五千四百、四軍朱徳の約八千八百及び十五軍方志敏の主力を南昌南部より南昌九江攻略に向はしめ更に一方武漢地方より中央軍の派遣されるのを牽制するために五軍彭徳懐の約六千八百、六軍徐繼勛の約五千八百、八軍蔡申康の約四千八百を武漢地方に向け更に平漢沿線地方にあつた一軍許繼鎭の約五千三百を南下せしめんとしてゐる

これに對して**中央軍側**では目下長沙を奪回するために何鍵、羅炳濟、陶廣等の諸部隊を長沙に向はしめてゐるが、各軍の連絡完全に行はれず、一部では中央軍の長沙奪回はこゝ一週乃至二週間は到底不可能であると觀てゐる、而して江西省にありては目下南潯沿線に十八師の玉捷俊旅、南昌の東南部に銅鑼蝦旅、南昌鎭撫に新編十三師等合計約二萬足らずが散在しをるに過ぎず、既に南昌の江西省政府は三十一日九江に移轉のやむなきに至つた狀態にある、かくて中央軍の**長沙奪回**は早晩實現されるとするも共産軍の江西攻略はつひに免れ難いものと觀られる

共匪防備を固む

本部を藍梨に設置して

【漢口二日發電通】長沙の共産軍は本部を長沙の東方三十支里藍梨に置き防禦陣地を擴張して鐵橋附近にも機關銃十數門山砲數門を据え、一筋には民船に石を積んで列國軍艦の航行を不能ならしめんとしてゐる、一方何鍵軍は岳麓山下に達したが支那砲艦との聯絡なく共産土匪軍の退去を待つのみである

治廢、租界回收問題

國民政府の無力暴露せるため列國の承認望み難し

【東京特電二日發】今回長沙における共産軍の暴動事件は放火、掠奪、殺戮など兇暴の限りを盡し非文明行動に終始してゐることは在支外人に對して異常な衝動を與へ惹いては列國の**對支觀念**に重大なる變化を及ぼす模樣であることは既報の如くだが、事實國民政府が今回の事件で對外信用を失墜したことは非常なものである、即ち國際的に列國が正式承認を與へた國民政府がその實力薄弱で徒らに反蔣派との抗爭に武力を傾注してゐるためその手薄、間隙に乘じて共産軍の蜂起となり政府轄下の正規軍が一敗潰走するや共産軍の兇暴ますます甚だしきを加へ遂に第二の匪撤廢を呼號し、治外法權の撤廢を呼號し

事件を捲き起し國民政府は全然治安維持および在留外人の生命財産を保障する能力なきことを世界に暴露したのである

長沙事件發生前長沙の危險に瀕するや湖南省政府當局は日英兩國の海軍力によつて共産軍の侵入を防がれたき旨、出先官憲に依頼して拒絶された事實も傳へられてゐるが現在の如き事情では漢口、九江、南昌などの要地における在住邦人等の生命財産保護は支那官憲の力に期待し難い情勢にあるので列國出先官憲と協調して適當の措置に出づるはずである、いづれにせよ斯くの如き狀態では國民政府その他が如何に治外法權の

租界回收を稱へても餘りに現實を離れた空念佛に過ぎないので列國の承認は六ケしくなるであらうとみられてゐる

英艦續々増派

【上海二日發電通】長江筋不安のためイギリスは軍艦増派の擧に出づるが二日朝威海衞、香港からセボイ、コーンウオール、ブリッヂウオーター、クレーケット四艦が上海に入港直ちに南京へ向つた、四艦は更に漢口方面に上江する筈であるがこれで長江筋に増派された英艦は八隻となつた

浦鹽近情

新産業計畫一般は反對

在留邦人は四百五十名 緒方浦鹽領事語る

【ハルビン特電二日發】浦鹽から一日來哈した緒方領事とH營漁業田中丸代表は同夜廿二時半發列車にて歸國した、緒方氏は語る

ロシヤ官憲にルーブル事件で拘禁された日本人は豫審が終はり哈府外交代表の手に移り近く解決する、ロシヤの法を犯したので

抗議餘地無く希望を述べた、本件は駐日ロシヤ大使と外務省が交渉し身柄は政府が引取るらしい、沿海州、蘇城炭礦の暴動説は一時流布されたが現狀を見ぬから知らぬ、浦鹽は平穩だ、物資の缺乏して居るのは事實だが、五ケ年産業計畫は輸入を一切禁止し、輸出に依つて對外收支を決濟して居るので、伸びんが爲めの積極的節約だからこちらで噂されるが全露は知らず沿海州は全然反對だ、沿海州には日本人は約四百五十名居る國營貿易のロシヤで邦人だけ米醬油、砂糖の個人輸入を許して呉れて居る、支那人は約二萬、日本人の時計、洗濯屋等で忙がしい、大部分は會社銀行員、朝鮮人は先祖からの

歸化人は重要位置を占めて居る、國外に逃げるものはあらうがソレはコルホーズに反對の政治的主義の違ふものだからそれを以て五年計畫を悲觀するは當らぬ、第十六回黨大會で決議された極東管區オクルルーガ縣オーブラスチイを廢止しライオン郡に改める農村と中央の接近を圖る行政組織の改革は實行され十月一日には施行される、その九割の人員はライオンに配置され失業者を出ださぬ方針だが成功した地方もある、その他漁業、林業、築港、港灣改革、市政、住宅改造等の爲めロシヤでは失業者どころか勞働者が不足して居る景氣だ

哈府の漁業交渉成績

田中丸氏語る

哈府の漁業交渉は

一、八時間勞働を六時間とした

二、日本人漁夫一萬三千、ロシア人七千に對し三百個所に散在せるものに五十數名の醫師を配置し醫療設備をすること、これはロシアの社會保險制に依り傭主が勞働者收入の三分を支拂ふ中八厘を以て日本が管理實行すること

三、漁獲罰準高の増加は日本の希望を大體容認した

その他漁區問題等は審議省に關しモスクワにて行はれ哈府はその權限なしと日露漁船の衝突は年中行事だ

反蔣派三巨頭會見

來る十日新鄉驛に於て

【濟南特電二日發】閻錫山、馮玉祥、汪精衞氏の會見は平漢線新鄉驛において八月十日行はれることに決定した、閻氏はこれが爲め一日滄州から自動車で石家庄に歸つた

顧維鈞氏の赴平

奉天派を背景として外交總長に就任か

【奉天特電二日發】顧維鈞氏は一日夜北寧線で北平に赴いたが途中葫蘆島にて張學良氏と會見する筈である、氏は表面私用で赴平するのだと稱して居るが過般來張學良氏を背景として北方政府の外交總長に擬せられて居ることでもあり政界復活の可能か否かを觀察する爲めであらうと觀られて居る

韓復渠氏に下野慰留

蔣氏、馬氏を急派

【濟南特電二日發】韓復渠氏は五ケ團の衞兵を率ゐて維縣の東北へ逃走したが蔣介石氏は馬鴻逵氏を急派して目下下野を慰留してゐる、韓氏下野の原因は正面から山西軍に壓迫され左右兩側に在つた高桂滋、劉珍年兩軍が急に反蔣派に加擔した爲めである

新政府樹立協議

【北平一日發電通】汪精衞氏は閻錫山、馮玉祥氏と會見のため兩三日中に出發南下することゝなつたが來る七日の正式會議までには歸平の豫定である、從つて右正式會議は三巨頭が政府問題その他を膝突き合して商議した後とて一瀉千里に解決し新政府樹立を見るべく豫想されてゐる

韓氏援軍を得て下野通電を取消

濟南再び危險となる

【北平特電二日發】中央軍第五十三師六千人は一日青島に上陸した韓復渠氏は右應援軍を得てより遽に下野通電を取消し山西軍と戰ひを爲す事に決し、濟南は再び危險となつた

北平擴大會議 時局對策

【北平二日發電通】擴大會議談話會は王精衞氏宅で開會

一、政府の急速な實現を期し七日正式會議で政府組織及び政府委員の人選を決定す

二、河南、江北、江西三省の共産軍の匪禍については李宗仁氏に電命して廣西省を拋棄するとも共産軍消滅に當ることを求めるを決議した

王家楨氏葫蘆島へ

【奉天特電二日發】王家楨氏は一日葫蘆島に向つた

損害賠償要求保留

【南京二日發電通】重光代理公使は今朝南京着午前十一時林書記官と王部長を外交部に訪問し政府の訓令に基き長沙事件につき嚴重なる抗議警告を行ひ次いで事件に關する損害賠償要求の件は眞相判明後まで保留する旨を明かにしたこれに對し王部長は遺憾の意を表すると共に損害賠償要求の保留に同意したので代理公使はこの言質に滿足し會見三十分にして辭去した

殉難者敍位敍勳

【東京二日發電通】長き邊では三十一日館山灣における海軍飛行機墜落の際慘死を遂げた小野少佐以下に對し左の如く敍位敍勳の御沙汰があつた

海軍少佐從五位勳五等 小野虎太郎

任海軍中佐 敍正五位敍勳四等授旭日重光章

海軍中尉從六位 津久井金四郎

任海軍大尉 敍正六位勳六等授旭日單光章

海軍二等航空兵曹 肥後 道盛

任海軍一等航空兵曹 敍勳八等授白色桐葉章

樞府檢討の重點は國民負擔の輕減

軍備補充程度が問題

【東京特電二日發】樞密院における ロンドン條約審議の過程においては統帥權問題を基礎として、政府回訓發送當時の手續、軍令部長の更迭軍事參議官會議の經過等に關して相當痛烈な論議が行はれ政府の

答辯如何に依つては政局に重大なる事態を惹起せしむる處あることも豫測に難くないが、樞府本來の使命は條約の本質的內容を檢討するにあるから中心問題は必然的に國民負擔輕減問題に集中せらるべきものとされて居る、樞府方面では未だ精査委員會が成立して居ないので各顧問官の間の協議は行はれて居ないが顧問官は何れもロンドン會議の發生當時から研究を續行してゐるから個人の腹案は既に大體整備されてゐる、然る處政府は條約の國防問題について今日まで海軍の態度決定に苦慮せしめられた結果新國防計畫に對しては將來において相當の經費支出を餘儀なくせしめられて居るがこの點は直ちに

國民負擔の輕減に重大なる影響あるものとして注目されて居る、即ちロンドン會議のもの最大目的は國際平和の増進と國民負擔の輕減にありこの條約を完全に成立せしむるが爲めには當然の要件として負擔の輕減を斷行せねばならぬが、而も國防上の劣勢補充策として空軍その他の本條約制限外の軍備擴張を圖りその爲めに莫大なる經費を使用することになれば國民負擔の輕減は頗る縮小されるのみならず國際平和の上にも面白くない結果を生ずることゝなり、殊に注目すべきは假に日本が制限外の軍備擴張を圖ることがあるとすれば

英米兩國も當然均衡上擴張を圖ることになりその結果は經濟力の豐富な國が優越することになるのは容易に判斷し得るのであるる從つて補充計畫と負擔の輕減が果して如何なる割合において實現されるのであるかこの點に關する議論が條約の運命を決する最も重大なる動機をつくるものと觀られて居る

各省に對し再び支拂節約を要求

事情によつては非常の手段

【東京二日發電通】一億五千萬圓の大藏證券でも遣り繰がつくまいと悲觀される國庫金の窮乏につき大藏當局は目下極度に神經質となつてゐる、例年ならば二ケ月遲れの國庫現計表を發表して安心してゐる大藏省が今年は毎日地方の收入官廳に電報で收入狀況を照會し未曾有の緊張と狼狽振りだが、若し八月中の收入狀況が悪ければ各省に對し再度の支拂節約を要求する肚を決めてゐる、即ち萬策盡きたる場合大藏當局は日銀に對する支拂豫算の廻附を中止し各省の支出を不可能ならしめるの非常手段に出る外なからう

奉天華商が今後大阪と取引中止

在滿邦商に重大影響

【奉天特電二日發】支那財界は銀價暴落により異常なる慘狀を呈し就中東北省の打擊甚だしく破産者續出し華商が金本位契約の危險なるとを認め漸次銀本位に改正しつゝある、これがため從來大阪方面との交易を上海方面に改めんとしてゐるので東北省駐在邦商內日支貿易上重大問題として目下寄々協議中であるが上海との取引が開始後大阪方面には大した直接影響はないらしいしかし當然邦商側には相當影響あるらしいと

全國繫船十三萬噸

【東京二日發電通】海運界の不況に伴ひ繫船は累月激増し遞信省調査によると本邦主要港七月中旬繫船噸數は十二萬八千五百九十八噸に達したこの狀勢で見ると本年內の繫船總噸數は恐らく百萬噸を突破するのではないかと見られてゐる、なほ右繫船中一千噸以上の船舶は二十五隻に及んでゐる

海外拂豫定額

【東京二日發電通】海外拂ひ節約委員會において決定された本年度政府海外拂ひ豫定額左の如し(單位千圓)

項目	金額
一、國債元利拂	
利子	七〇、二四八
元金償還	九、四八一
計	七九、七二九
一、一般經費	
各省普通經費	七五、三九三
作業用材料費	四九、一〇〇
計	一二四、四九三
總計	二〇四、二二二

因に一般經費は前年度豫定額に比すれば三千七百三十七萬圓の減少である

陸軍々革問題協議

【東京二日發電通】阿部陸相代理は二日午後一時十五分東京驛發箱根強羅に靜養中の宇垣陸相を訪ひ支那時局軍制改革等の問題につき報告要談した後熱田神宮參拜のため名古屋へ向つたが三日歸京する豫定である

減配銀行數二百卅行に上る

【東京二日發電通】昭和五年上半期決算において減配を行つた銀行は日銀調査に依れば同行取引銀行六百一行中二百三十行である

各派交渉會

【東京二日發電通】議院各派交渉會は二日午前十時より議長官舍に開會正副議長以下各派代表出席新議事堂參觀の後正午より協議に入り左の諸件を決定し二時散會した

一、年賀寒暑見舞狀廢止の件

一、公衆傍聽券増發のため傍聽席を改造し約一千名を收容する事

一、新議事堂其の他附屬建物に就ては各派交渉員を設け研究する事

日本電鐵等の出願却下

【東京二日發電通】鐵道省では二十七日省議を開き東京大阪間を六時間で走行するといふ資本金二億四千萬圓の例の日本電氣鐵道並びに名阪電鐵、寶西高速度電鐵等の出願を何れも却下した

條約答辯方針懇談

【東京二日發電通】小林海軍次官は二日午前九時四十分濱口首相を訪問し樞府精査委員會に於ける答辯方針につき一時間に亘り懇談した

製鋼所運動報告會

安東公會堂で

【安東特電一日發】昭和製鋼所新義州設置運動のため上京中の顯ノ口副會頭は三十一日午前六時十五分着列車にて歸安したがその報告會を午後一時から公會堂に開いたが、安東市民の期待してゐる大問題であるため定刻ホールは人をもつて埋まつた、先づ荒川會頭の挨拶あり次で顯ノ口副會頭は疲勞の中にも喜びの色を湛え登壇し先づ安東市民の間接的援助を謝し上京後の運動經過を約一時間半に亘り報告した最後の問題は新義州に有利に展開してゐる模樣であるが將來如何に變化するかも判らぬから今後とも市民諸君の御後援を期待すると結び八時五分閉會した

木村公使歸朝

【東京二日發電通】チェッコスロバキア公使木村鋭一氏は二日午前九時東京驛着歸朝した

拓務記者滿洲視察

【東京・電一日發】滿鐵擁低記者に拓務經濟倶樂部員松村(時事)津田(報知)有坂(讀賣)の三氏は一日夜東京發、二日神戶出帆の香港丸にて大連に向つた、約二週間滿鐵沿線その他滿洲各地を視察する豫定であると

菱刈司令官視察

關東軍司令官菱刈大將は三日關東廳倉賀野技師の東道にて今村副官帶同金州種馬所を視察する由

伍堂、村上兩理事二日神戸出發

【東京特電一日發】滿鐵新理事伍堂卓雄氏は一日夜東京發、同新理事村上義一氏と共に二日神戶より船で赴連の途に就いた

人事

▲內山正也氏(大阪商船文書課長) 二日來連

▲保々隆矣氏(前滿鐵地方部長)上京中のところ八月中に引揚準備のため同上歸連

▲原田猪八郎氏(實業家) 同上

▲清水誠氏(東京工學大學教授)同上

安東囃子

共匪に人質として捕はれ身代金を出して危ふく一命を助かつた長沙の一商人(安東人)は從者二名と共に本日當地に避難して來たが恐怖と鮮血に彩られた次の如き體驗談をした▲共匪中に長沙の案內に通じたものあり全市の資産階級四百餘名は廿九日朝までに人質として捕へられた自分達は廿八日の眞夜中に捕へられたが拉致される時は手頸に穴を明け針金を通して數人又は十數人宛を珠數繫ぎとされたと布で卷いた腕を見せ自分は二千弗の身代金で二十九日夜辛ふじて一命だけを助かり追ひ返されたが▲身代金を拒絶したものや届かぬものは「盜人野郎奴」とか「貧乏人の仇奴」等と罵られ豚でも殺す樣に虐殺されその光景を見て何度となく氣が遠くなつた程で生ながらに見る地獄だつた▲外人も二、三名位縛られてゐたがどうなつたか知らない【漢口二日發通通】

錢鈔

定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇

出來高 期近 六十萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	五六〇	一一四〇	一〇八五
二時半	五六〇	一一四〇	一〇八五

出來高〔銀對金 一萬九千圓 銀對洋 三千圓〕

商品

後場

綿糸(保合)

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十一月限	二一七〇	二〇

出來高 二〇梱

麻袋(出來不申)

神戶帳표 (一日)

品名	値段
大豆現物	五五〇
先物	四五〇
豆粕現物	一五一
先物	三〇
滿洲小麥	四四五
豆油現物	一八八〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
八月	三一七九	三一二六
九月	三〇五一	三〇二七
十月	二八二〇	二七八七

神戸期米

限月	後場寄	後場引
八月	三一五八	三一三〇
九月	三〇五九	三〇三八
十月	二八〇〇	二七七九

東京期米

限月	後場寄	後場引
八月	三一九八	三一九九
九月	三一二〇	三〇八三
十月	二九一九	二八五〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	不申	六三一
鐘紡新	四九六〇	四九三〇
[illegible]	一三二四〇	一三二〇〇
[illegible]	五八四〇	五八一〇
日糖新	不申	四一三〇
東新	九一八〇	九一五〇

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東新	一〇四七〇	一〇四九〇
東株新	九一八〇	九一七〇
五品	六五〇〇	六五〇〇
[illegible]	不申	不申
中當・中先	先(不申)	
豆信 新當・中・先	(不申)	

東京株式(短期)

限月	五品	東新
寄値	不申	九一〇
高値	不申	九二二
安値	六七〇	九一一
引値	六五〇	九一二

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
八月	一三〇六〇	一三〇〇〇
九月	一三一三〇	一三一〇〇
十月	一二九九〇	一二九三〇
十一月	一二八九〇	一二八一〇
十二月	一二八五〇	一二七八〇
一月	一二七九〇	一二六四〇
二月	一二八一〇	一二六〇〇

大西洋に泛ぶ巨船の大衆化
遊覽旅行や外客誘致に▽…歐洲各國の施設

四面環海の國に生れながら、日本人は船に親みを持たない、せめて夏だけでも盛に船の旅行をして貰ひたい、そうすれば船會社もいくらか助かる、この機會にアメリカ人がヨーロッパへ出かける有樣を書いて見やう、殊にヨーロッパへの旅が如何に大衆化されて來たかを——この點は日本も考へなくてはなるまい。

旅行シーズン

毎年五月十五日から七月十五日頃まで——これがアメリカ人のヨーロッパへ出かけるシーズンで、船賃も一割から二割五分ぐらい高くなる、八月十五日頃から十月十五日頃になると、ヨーロッパからアメリカへ歸るお客で船は一杯になる。

無階級の船舶

船會社は段々とヤンキーの趣味嗜好に合ふ新設備を施すやうになつて來た、フランスの最大モーター船、ラフアイエツト號（二五、〇〇〇トン）はどの船室にもシアワー・バスを設けてゐる、此の船には一等とか二等とかいふ階級制度がない、室次第で一人百六十五ドルといふやうな安いのから、二室のスート・ルームにバス附で一千六百五十ドルといふやうなのもある

佛國の贅澤船

フランスの贅澤船にイル・ド・フランス（Ile de France——四三、一五三トン）がある、一等バス附き二百九十五ドルから高いので千三百二十ドルまである、五人連れ一組のお客に對し別室の客間と食堂のついた素晴らしいものを提供してゐる、それにバス付き寢室が四つあつて、一切で四千五百ドルである、アメリカ人はフランスの船を喜ぶ——と云ふのは船内を漂ふ異國情味、明るい感じのするモダンな裝飾うまい酒（これはアメリカ人にとつては禁斷の實）——かうしたものに憧れてゐるからである。

パリへパリへ

ヨーロッパへ遊びにゆくアメリカ人はフランスへ行くパリが即ち彼等のフランスである、ヨーロッパの大戰に參加したアメリカ人は今一度パリへと希つて居る、忘れがたい思ひ出でもあらう、本年はアメリカ政府が誠に人間味の溢れたところをやつた、それは大戰中國の爲に愛兒を失つた母親達をヨーロッパに送り、親しく愛兒の墓を弔はせたことである、昨年中にフランスに渡つたアメリカ人は二十五萬人——何と素晴しい旅客の流れではある。

中傷を目的とするものは採らず
投書歡迎　新聞行數五十行以内のこと

三十里堡の果實
旅行家

小生は大連、長春間を商用で屢々往復して居りますが、滿鐵列車内の設備と完整と、警戒の行屆いてゐるのには常に感謝の意を表してゐる者です、ところで、茲に一寸申上げたいのは三十里堡の果實です、滿洲名物の名果を列車内で購ひ得るのは誠に結構ですが、非常に値段が高いやうです、一籠一圓の定價になつてゐますが、どんな標準なのでせうか、これは私一人の感想ではなく、絶えず同乘客からも聞かされることです

驛の賣店から發賣するのでせうか、そして、賣品の値段その他の取締は滿鐵、警察のいづれからも及ばないのでせうか

一寸とお尋ねいたします

四庫全書の話（二）
園山良之助

（四）

さて右の四庫全書を編纂する傍らその目錄學なる「欽定四庫全書總目提要」といふものが作られました。この總目は全書中に收めた書籍の總目錄で、この書物だけでも二百卷に餘る大部のものであります。その内に解題したものと、存目といつて書物の名だけを書いたものがあつて、四庫全書の全部は一萬二千二十三部、書籍の卷數にして十七萬二千六百二十六卷に上ります。

（五）

これらの書物は皆立派な名著ばかりでありますが、支那の名著はこれだけではありません。四庫全書を編纂する時書籍の全部を燒き棄てたり、又惡い所だけを拔いて燒き棄てたりしたことがあります。その書目を銷燬書目、抽燬書と申します。上の銷燬書目に書き留めた書籍が百四十六種、下の抽燬書目に書き留めた書籍の數が百八十一種と記してあります。その卷數に至つては豫測されません。この外に偶流布を禁ぜられた禁書といふものが五百三十種とあります。これが禁書書目であります。以上は四庫全書に採收しなかつたものではあるが目錄に載つてゐる位だから相當の名著であつたに相違ありません。だから此の外に有名無名作家の作つた雜書といつたやうなものは果して何の位有つたものかとても莫大なものであつたらうと思はれます。また此の外に澤山な立派な著述があつて、これが未收四庫提要で有名な阮元の著、百七十種の書目が載せてあります。

これに別に彙刻書目十卷が嘉慶巳未に桐川顧氏に作られ、宣統六年羅振玉先生が續彙刻書目十一卷を著して居られる、これは全書についての餘談になります。

（六）

さて四庫といふのは内廷の四閣といつて次の四個所に同じ全書を四部作つて藏したものであります即ち

第一分　文淵閣　北京文華殿の後にあり
第二分　文溯閣　奉天行宮にあり
第三分　文津閣　熱河避暑山莊にあり
第四分　文源閣　北京圓明園にあり

右の四庫にこれ程澤山の筆寫の書籍を收藏して、帝はその宮に行つては之を讀むことが出來るやうにし又臣下で三品以上の官吏にも讀むことを許したのであります。蓋しこの四庫を作つたことは前述の唐の玄宗の四庫に倣つたのであります。誠に豪勢なる泰平の産物であります。ところがこの四庫は一統大支那國としては皆北方に偏在してゐるので、南方の官吏たちはその恩典に浴することが出來ません。そこで帝は文淵閣の全書を内府で書寫させて南方に下賜されました。これが三庫あつて

文匯閣　江蘇揚州大觀堂
文宗閣　鎭江の金山寺
文瀾閣　浙江西湖の孤山

さて右七ヶ所にあつた四庫全書の現在はどうであるかといふに、北京圓明園の文源閣は蕩然無存即ち全滅であります。熱河の文津閣は北京の文華殿に移してあります。だから北平には文淵閣とこの文津閣と二庫ある譯です。奉天の文溯閣は一時北京に移しましたがまた元の通りに戻されて現在のやうになつてをります。

南方の文匯、文宗の二閣は全部兵火のためにとつくのむかし失はれました。文瀾閣も幾度か兵禍のために多數の缺本が出來ましたが其後だん〳〵書寫添加されて今は殆ど完全になつてるそうである。

結局、現在四庫全書の完全に保存されてあるのは、北平文華殿にある文淵閣と文津閣、奉天の文溯閣中にある文溯閣の三庫であつて、稍缺本したものに西湖孤山の文瀾閣がある譯であります。

南アルプス縱走記（十二）
東京　大野恭平

◇乘鞍嶽の熊狩◇

草津白根でのスキーの壯快さを忘れかねた私は、それから半月とたゝぬ四月下旬、又もやスキーを擔ぎ出して乘鞍へと向つた。

武藏平野では、春の盛りはもう慌たゞしく過ぎ去つたあとだつたが、信州の松本平は、梅も、櫻も、一時に花咲いて「春」の全力的活躍にかゞやいて居た。

奈川渡までバス、それから金山平の小舍まで歩いて行つて泊つた流石に歩けば汗が肌に滲み出した小舍には未だ番人が殘つて居た。圍爐裡で番所名物の蕎麥饅頭を燒いて居るのが如何にも甘さうなのだ一つ貰つたが、赤ン坊の頭ほどの大きさで、馬鈴薯の點心だから持てあまして弱つた。

夕方獵師が七人、犬を五頭連れて、山を下りて來て、一服してまた下りて行つた。今日でもう七日も熊狩りに入つて居たのだが、まだ一頭も獲れないのだつた。七人がゝりで一週間も二週間も雨に濡れ、險阻を攀ぢ、岩に寢て、熊を追はねばならぬ山の人達の生活も氣の毒だ。が、追はれる熊も可哀さうだ。熊にすれば、何故神さまは人間のやうな兇惡極まる猛獸をはびこらせるのだと恨んで居るだらう。

◇山上の鑛泉浴◇

第二日は午前に冷泉小舍へ着いた。その日に頂上まで行く豫定で出發したのであつたが、天候が惡くなつて、霙交りの雨が降り出したので、そのまゝ冷泉小舍へ潜り込んでしまつた。夜になると風が強く、樺の密林の梢に荒狂ふ音が物凄いほどだつたが、入口を除いて小舍は完全に雪に埋もつて居るので、少しも寒く無い、それに薪はドツサリ積んであり、手製のストーブでそれを焚くやうにしてあるので、爐く無い丈でも助かつた。

翌くる朝は五時にアイゼンを着けて出發し二、五〇〇米の附近まで上つて見たが、天は荒模樣で、風はとても強く、頂稜の附近は危險を伴ふらしいので、空しく引返した。小舍に着くと又もや霙交りの雨が降り出し、やがてそれが雪に變つた。それで居て眼下の番所原には日が射して居るのだ。

第三日も同じやうな事を繰返して小舍へ戻つた。さうして、この小舍には風呂桶が据え付けてあつて、小舍の側からは鑛泉が湧き出すので、午後は退屈なまゝその鑛泉を湧かして入つた。海拔二千二百米突の山上で入湯なんて洒落てるなあと得意がつて、さて湯から上つて明るい所へ出て見ると、油煙が身體中に餅のやうに着いて居るには弱つたが、それよりも弱つたのは食物だつた。松本で「冷泉小舍には未だ番人が居て、食物も澤山有る」と言ふ話であり、防寒具が重いので、今度に限り菓子すら持つて來るのを遠慮したところが、金山平の小舍で、冷泉には米と味噌だけは有るが、番人も居らず、外に何も無いと言ふ事が判つたから、飯食物を分けて貰はうとしたけれど、僅に玉葱二ツと福神漬一罐とを手に入れる事が出來ただけだつたので、三日の滯在で、それすらも無くなつてしまつたのだ（寫眞は乘鞍岳の肩部で…）

探偵小說　女妖（158）
江戸川亂步作　横溝正史　伊藤幾久造畫

袋の鼠（二）

「まア、由良さん、その、その血はどうなすつたのです」

瀧子は思はずさう聲をかけた。

由良子は然し、それに答へやうともしない。彼女は暫く、呆然として、氣拔けした樣に突つ立つて居たが、やがて、がつくりと床の上に膝を落すと、さめ〴〵と泣き出した。何かしら突上げる樣な悲しみ、激しいあはたゞしい絶望に、彼女の身體はガク〳〵と慄へてやまなかつた。

「よう、ど、どうなすつたといふのです」

ほんの一時、心を暗くしたある驚愕から解き放たれた瀧子は、周章て椅子を立つと、泣き崩れてゐる由良子の肩に手をかけた。

「寄らないで下さい。あゝ、あなた、寄らないで下さいまし」

由良子は何故か、駄々子のやうに體を搖すつて身悶えした。

「まア、本當に……本當にどうなすつたのです。暫く姿が見えなかつたので、あたしどんなに心を痛めてゐたか知れやしませんわ。ねえ、何かあつたらあたしに話して下さいな」

「瀧子さま。そんな優しい言葉をかけるのは止して下さいまし。あたしはあなた樣のお情に與かる樣な、そんな價値のある人間ではございませんわ」

「まア、何を仰有つてるの。何もそんな事、今更言ふ迄もないぢやありませんか」

「いゝえ、いゝえ、あなたは何も御存知ない。あなたは何もお知りなさらないのです。あたしは鬼です。惡魔に魂を賣つた恐ろしい女です」

由良子はよゝと床の上に泣きむせびながら、きれ〴〵にそんな事を言つた。

「まア、おかしいわね。どうしてそんな事を仰有るの？」

「あたしは何も彼もいつて了ひます。あたしのこの白い腕、あなたがいつも暖かな手でお握り下さいますこの白い腕——これは幾人かの血によつて汚されました。あゝ恐ろしい。何といふ恐ろしい事でせう。あたしはこの白い腕で、何人といふ人の生命を縮めて來た事でせう」

瀧子はそれをきくと、ぎよつとした樣に二三歩後退りをした。それを見ると、由良子は絶望的に身を慄はせながら、

「瀧子さま、あなたは今身慄ひをなさいました。然し、然し、あたしがして來たことをすつかり御存知になれば、あなたはもつともつと恐ろしがられるに違ひありませんわ。あゝ、あたしのして來た事は氣が違つてたに違ひありませんわ。でなければ、まア、どうしてあんなに數々の恐ろしい事が出來たのでせう——」

「由良子さん、どうしたといふのです。え、氣をしつかり持つて下さいな。あなたがこんな事をしてきたか。それはあたし知らないけれど、きつときつと、それは神樣がお許し下さるに違ひございませんわ」

「あゝ、あなたは何も御存知ないだからそんなやさしい事を仰有るのですわ。然し、然し、あたしのした事を御存知になれば……あゝ瀧子さま。春日邸へあなたがあたしを連れていつて下つた夜あすこの主人を殺した者、それはかくいふあたしなのでございますよ」

「えゝ！」

瀧子はあまり以外な相手の告白に思はず二三尺跳び上つた。あゝ何といふ恐ろしい事だらう。そんな事が一體信用されるだらうか。今こそ彼女は、自分の立つてゐる天地がひつくり返る樣な驚愕を感じた。それにしても由良子！彼女は今瀧子の前に自分のして來た事を總て話して了ふ積りだらうか。

家庭欄

三十萬人の榮養不良兒童
學校給食は國民保健の最大急務

◇我國現在の小學校兒童總數九百二十三萬人のうち榮養不良者三十萬人と云ふから、千人につき三十五人の割合であるが、これに對して學校給食を實行してゐるのは僅かに百二十九ケ所の二萬人に過ぎない。此の現狀に鑑み文部省體育課では一食七錢、平均一人一年當り二十圓を以て榮養の供給をなし、貧困兒童十萬人に對して國庫から二百萬圓を補助し、大いに學校給食を奬勵する計畫を立てゝゐる

◇今日の兒童をして將來に於て健全に且善良なる國民に仕上げるには精神的食糧たる教育と共に肉體的食糧にも十分なる榮養分を加味しなければならぬ、兒童の榮養不良は直接學業、運動、體質、性質等すべての方面に亘つて、教育的效果に莫大なるハンデキャップを與ふるのみならず、發育盛りに當つての榮養不良は、その肉體天分の發達にとりかへしの付かない障碍を來す場合が少くないのである、現在世界の各文明國では學校給食に非常な力瘤を入れてゐる、スクール、フイーデイングと云ふ事は

◇小學校教育上の一つの常識となつてゐる位である、英國では榮養不良の小學兒童は一九二七年の統計によると、千人につき九人と云ふ少數になつてゐる、我國に行はれてゐる小學兒童の辨當なるものは榮養的價値から見て甚だ遺憾の點があるばかりでなく一般に分量が少く且つ不衛生極まるものが多い、又夏には腐敗の危險もあり、多期には兒童の胃の腑にとつて殘酷な程冷切つてしまつてゐる、茲に於て

◇學校給食の必要に迫られるのであるが、尙食堂の中に一つの協同體を現出する爲にも學校給食は大いに有望な事である、其の他學校給食を通じて家庭の主婦を教育する事が出來ると云ふのも、その附隨的な利益である【東京通信】

橫田少年に同情し 併せて世の父兄に告ぐ

山田行正

身體の方面 (承前)

身體と氣分とは、どつちが先きか一寸私には判斷に苦みますが、氣分の勝ぐれない時は身體に緩みがある如く身體に緩みを感ずる時は必ず氣分にも勝ぐれない所があるものであります。

故に身體の工合が惡るい時は內心で如何にやりたいと云ふ氣持が致しましても急に過激な運動をすると云ふことは必ず避けた方がよろしい、いま身體の方面のその具體的實例を擧げてみますと

A、身體が不潔な場合(一例として手足等の爪の長い場合)
B、運動用具の不完全な場合
C、身體の何處かに故障のある場合
D、睡眠不足で身體に疲勞を感じて居る場合
E、運動直後で極度に筋肉に疲勞の感じて居る場合
F、指導者或は監督者の不在の場合
G、病後まだ身體の回復の完全でない場合
H、食事の直前直後
I、水を澤山に飲んだ直後
J、起きたばかりで、まだよく目の覺めきらぬ場合
K、これまでにやつたことの無い他の運動を無理して行ふこと
L、豫備運動の不完全な場合

◇以上のやうなことに注意され若し氣分にも身體にも心付いたことのある時はこれを除去してやり、常に兒童を監督して氣分に勝ぐれない所は無いが身體に故障はないか何か不注意な點はないかと見てやることは親として盡すべきことであり又これが負傷の豫防方法となるのであります。然し考へなければならないことは、親が子供を愛するあまり神經過敏になつて、あまりに斯う云ふことに拘泥されて切角の運動を阻害するやうになつても面白くないと思ひます。

其所で茲に豫備運動の如何に有益であるかと云ふことを述べさして頂きます。此の豫備運動は各運動毎にそれぞれ研究されてありますがそれ自體が競爭もなければ勝負もないため自然興味も少なく感興も湧かないところから運動をする一般人に忘れられ、また疎んぜられて居りますが、豫備運動の效果は整理運動と共に既に專門家の間には必らずなくてはならぬものと認められて居ります。氣分の勝ぐれない時又は體のだるい時等にこの豫備運動を充分に行ふとその氣分も身體のだるいのも或る程度まで回復さすことが出來得また過激な運動を避けなければならぬものもこの豫備運動だけは多少にかゝはらず出來得る有効且つ便利な運動方法であります。

◇

例へ氣分も勝れ身體に異狀のないものでも運動を始める直前には必らず充分なる豫備運動が必要であつて、これこそ負傷を防ぐ一大要素となるものであります。(完)

夏の教育座談(五)
夏季休暇と體育衛生
A・B・C・D

A 滿洲育ちの子供はどうも體格がよくないね、

C 海濱聚落などに行つて裸體で體操をしてゐる子供等を見るとアバラ骨がゴツ〳〵現はれたのが多いが、どうして滿洲の子供は揃ひも揃つて體格が惡いのだらう、

D やはり氣候風土の關係だらうね、

A 滿洲の子供も學齡までは順調に育つてゐるやうだが學齡に達した頃からだん〳〵體格が低下するやうに見えるね、

B 滿洲の冬の長いこともよほど原因してゐはしないか、

C それも主要な原因の一つに相違ない、

D 何しろ約半年を室內で暮すのだからナ、

A 多季間の不健康な生活を取戻す機會として夏季休暇を有效に利用する必要がある、

D ところが夏季休暇に健康を取り戻すのではなくて却つて健康を失ふやうな結果になることが少くない、

A 子供をぞろ〳〵引張つれて浪速町あたりを散步するのがあるがあれは衛生上頗るよくないね、

D あれは確に惡い、汚濁した空氣をわざ〳〵吸ひにゆくやうなものだ、しかも空氣は下層ほど汚れてゐるが子供は大人より背が低いだけ下層の空氣を吸つて步くのだからいよ〳〵よくない、

A 僕の子供などは浪速町あたりを連れて步くとよく扁桃腺をやられる、

C 夜の散步には大ていは食ふことが附隨してゐるので更によくない、

A アイスクリームでも食はんことには承知しないからナ、

C 子供はそれが唯一の目的なのだらう、

D お互に此の夏は子供を病氣にかけないやうに注意をしやう、(完)

彌生高女
聚落だより……(三)

七月二十八日(日曜日)晴

黎明!

すが〳〵しい朝だ。井戸の冷たい水で顏を洗ふ、手を入れるとジーとしみとほる水だ。蚊になやまされた不快な氣も洗ひ落された。

二輪ばかりの月日草の花がしつとりと露にぬれて咲いて居た。

朝禮

皆んなで「おはやうございます」とあいさつをかはす、輕い體操をする、赤い太陽が右手のアカシヤの林の中に顏を見せる、なんの鳥かしらないが林間で、可愛らしく鳴く。

朝食

若人の集ひは賑やかだ。けれどあまり度をすごして、つい、Y先生から御注意をいたゞく、そのときなにを思つたのか、なにがおかしかつたのか、先生の小さい方が大きな聲で笑ひ出した。「アハヽヽヽ」愉快な笑ひ聲だ。笑ひの爆發。食堂は笑ひで滿ちた。そして愉快な樂しい食事も終つためい〳〵自分の茶碗を手に、井戸端に行く、冷めたい水だけれど飲むことはゆるされてない「これが飲めたら……」と何度思つたことか。

小時の休み……七時三十分……學習時間が始まる……二時間……數學をする人……英語をする人……幾何をやる人、學習室の人はまだ、二時間しなければならないのだ。

・午前の水泳……いそ〳〵と水着にきかへて飛び出す、私達二人は寫生道具を片手に、みんなのあとを追ふ。太陽の光の中に泳ぐ人、青い海を泳ぐ人、貝を拾ふ人、淋しいけれど靜かな景色だ。

砂濱へ腰をおろす。青い海―とほくに浮ぐ帆船、白い雲、けれど海をかくと檢閲を受けなければならないとか。しかたがないので自分達の住んで居る宿舍をかく。

空の美しさ、コバルトの柔かな色だ。あのまゝここにうつしたら……黑い鉛筆の線が光く。

「おい」「おい」「歸へるよ」……聲……宿舍にもどる、大連の友がおとずれて來た。大きなお土產をもつて……。

州內踏破(第三信)
普蘭店から唐家房へ
二中徒步旅行隊

二十七日―

午前四時起床、同五時朝食として昨夜の殘飯と、支那パンの殘つたのを食べました。六時普蘭店小學校を出發し、東へ東へと進みました。

今日のコースである普蘭店と唐家房屯との間は幹道を通つたので非常に樂に步けました。それで晝食を拔いて步き午後一時半に目的地の警察官吏派出所に着きました

今日の天氣は曇つたり晴れたり、時には雨が降つたりしてほんとに妙な天氣でした。

唐家房の派出所は重要なる地點にあるので、巡査五人巡捕が一人居り、其の中にはいかめしく、武裝した巡査も居つて、表を通る自動車を一々檢査して居ります(二十七日夕唐家房派出所にて)

少年團キャンプ 一般に公開
五日夜はキャンプフアイア

大連少年團員約二百名は既報の如く一日以來多數指導員と共に沙河口水源地に於て合同野營を營んでゐるが三四兩日は團員の統制あるキャンプ生活を一般に公開觀覽せしむる由尙五日夜はスカウトの最大なる歡樂としてゐるキャンプフアイアーを行ひ焚火を圍んで團員各自のかくし藝野外劇等の餘興が催されるが一般父兄の來觀を希望すると

連續漫畫 彼の職業(六)
次朗作畫

「けふこそ探して出して見せる」トン吉は前日よりも一層念入りに天幕の中を調べたが樂屋にも觀客席にも札場にも彼らしい姿は見えなかつた。

「そんな人は此の一座にはゐませんよ」樂屋の者の返事も前日と同じであつた。しかしその夜もトン吉が天幕の外で待つてゐると三公は中からによこ〳〵出て來て、二人は例の如く一緒に飲みに行つた。

創作 神聖なる惡戲(八)
五十嵐稔

「矢張り賊をとるのが目的だつたのだな」

「うふつ、御丁寧にも僞物をさ」

「紙屑だよ」と幹英が訂正した時でした。

何と云ふことでせう。二人の馬は鬣を搖ると一聲高々と嘶いて了つたのです。勿論、それが敵に聞えない筈は無かつたのです。聞えたとすれば……危險なことは目に見えて居ました。

果然!敵は二人の方に引返して來る氣配です。失つた!さう思つて突嗟に馬を傍らの高粱中に乘り入れたのと、拔身を翳した賊の一人が猛然と駈け寄つたのと、間一髮の差でした……。

「おかしいな。逃げたか?」

「さう呟きながら、これは油斷がならないと考へたのでせう。忽ち馬首を飜へしたかと思ふと、忽ち闇中に沒し去つたのです。直ぐに先に行く仲間を狙つて早駈けに駈け始めた樣子でした。

◇

辛うじて虎口を遁れ得た子供の馬は、その時分高粱の畑を阿修羅の如く驅き進んで居ました。高粱の長い葉が、二人の全身を處きらはず叩き散らすのです。

無二無三に足搔く馬蹄にかけられた高い莖が、足元で折れて音を立てます。頭上で二つに割られた高粱の海が、二人を包んで絕えずざわざわ鳴ります。

畑は山の斜面で切れて、邪魔物のなくなつた馬は、身輕ひ一つすると、網の目のやうに枝を交へた林の間の小徑を一氣に拔け、崖を下り、谿川を躍り越えて瞬く間に一城を眼下に見渡す丘の上に出ました。鍵の手に中空から落ちかゝる稻妻は、灰色に蟠まる城壁や壁下の河流を箱庭のやうに眼下の闇の底に見せます。

「水滸傳だ」採山が恍惚としてかう呟きました。

「もう一息だ。急げ!」と腹を蹴られた馬は折しも轟き渡つた雷鳴の下をあつと云ふ間に、闇の底に駈け下り、佩環の響を立てゝ流れる河流を乘り切つて、人氣の無い城壁の下にぴつたりと蹄を揃へて止つたのでした。

河灘の中に馬を繫ぎ終ると、もう二人は音もなく西の門の傍らの暗中に忍び寄つて居たのです――もう夜も更けて居ましたから、もとより通る人とてありません。只、折々頭上の空高く甍を重ねた樓門が、闇を貫く稻妻の光りを浴びて、何となく不氣味に思はれるです。その中に、墨黑の空間にぽつぽつ雨の落ち始める氣配さえ感ぜられるのでした。さすがに心細くなつて來たのです。

「歸らうや」と、採山が弱音を吐きました。

「いや、待ち給へ。楊馬得の奴は未だ着いては居ないんだ。あそこに灯を持つた男が居るだらう。僕はあれを奴の召使ひだと睨んだ」と幹英は小聲でそれを制しました。

祝創刊二十五周年並に社屋新築記念

在青島日本總領事館 總領事 川越茂 外館員一同

青島日本紡績同業會

青島糸廠

同仁會青島醫院

大倉洋行 田中元千代

株式會社 青島取引所

青島日本中學校 野球部後援會

青島水産組合

山東倉庫株式會社 常務取締役 待島又一

青島宰畜股份有限公司

大日本麥酒株式會社 青島工場

米星煙草株式會社 北野順吉

山東煙草株式會社

山東窯業株式會社

大連製氷株式會社 青島支店

岡崎合資會社

株式會社 濟南銀行 青島支店

南昌洋行青島出張所 青島地所建物株式會社 遠藤要

青島出張牛取引株式會社

青島生牛生肉輸出業同組合

國際運輸株式會社 青島出張所

青島燐寸同業組合

中村洋行 中村順之助

青島材木商組合

宮田眞吾

石橋洋行 石橋藤次郎

維新化學工藝社 兒島熊吉

佐藤信二

大橋慶治郎

吉田辰秋

田中國隆

裕泰號 國分壯介

泰來號 樋口三郎

合名會社南商店 南眞治

吉木組 吉木周治

青島各學校長一同

加賀山學

佐伯彪

高橋光隆

青島日本電信局長 向山善次郎

青島獸疫調査所長 濱周謙

青島測候所長 伊藤小三郎

村地卓爾

田邊郁太郎

稻田恒治

太田健造

辯護士 吉田謐

鹽田正長

栗本定治郎

安藤重郎

博愛醫院 飯田芳亮

鈴木醫院 鈴木健吉

富田眼科醫院 富田要

三條齒科醫院 三條愼吾

乾商會 乾善助

輸出入貿易商 鈴木洋行

山東絹紡株式會社

三和洋行 稗田岩雄

興源棉行 淡島小三郎

永和商會 中谷藤治郎

日本賣薬株式會社 青島出張所

輸出貿易商 吉澤千城

大杉洋行 大杉昇平

小林洋行 小林乃

伊東經眞

中村組 谷川保

新泰號 野間總吉

辻呉服店 辻安兵衛

白石洋行

森洋家具店 森清吉

石井公濟堂 石井健三

川岸大薬房

和洋御菓子 東光堂賣店

カフエースター 堀島久吉

大觀堂 立場久治郎

西田善一

宇野祐四郎

山本仙

藤田榮

柴田一美

青島港務局顧問 小林昭隆

黑岩兼助

中村爲次

井深俊雄

榮谷洋行 杉山治郎

森川政一

青島市場組合長 鈴木寛一郎

坊子南炭坑 高宅慶夫

山田禎三

淺田龜吉

松島正吉

磯野清平

神田清二郎

中川勝夫

青島通運合資

德田洋行 德田與次郎

青島寫眞館 別役元胤

日支藥物研究所 澤田福三郎

中谷商會 中谷晋十郎

寶洋行 志賀長七

梅澤商會 梅澤重彦

公和興工程局 土居威夫

櫻村洋行 最上義重

泰東號印字局 青柳寛

辻村洋服店 辻村定吉

輸出入貿易商 花井時一

西山商會 西山經濟

白男川商店 白男川善之助

大櫛商店 大櫛善吉

平岡組 筑紫庄作

田原工程局 田原政義

堀淵處平

西田鶴舞

みやげもの一式 西南堂

勝山洋行 岡本久米次

高江定吉

隈谷治太郎

輸出入貿易商 阿部龜次郎

ロイド商會 近江龍三

通關運送業 千葉由藏

旺千組運送店 倉脇雄二郎

常盤商會 廣瀬銀二郎

吉川商會 吉川由太郎

興梠運送店 興梠左一

藤村運送店 藤村惣二郎

丸庄運送店 高澤庄作

古賀野運送店

洋服商 今田重悌

洋服店 下田惣一

青島日本婦人病院 理事長 小林仁太郎

青島日本婦人病院 副理事長 山田泰之

青島共和會 大辰 第一樓 粂麺家 三浦屋

青島三業組合

滿洲日報青島支局 井原福治

滿洲日報販賣店 森本寅吉

明治神宮御例祭 三十日は明治天皇御例祭につき代々木の明治神宮では一戸宮司以下神職一同奉仕して嚴かなる祭典が行はれ諸種の奉納催物があつた【寫眞は祭典を終へて退下する神官一同先頭は一戸宮司】

間島鮮人共産黨の暴動陰謀を警告
我總領事が支那側に

【東京電話二日發】支那共産黨の第二次暴動計畫は殆ど全國的であつていづれも七月三十一日から八月一日未明にかけて決行する手筈になつてゐたもの〻ごとく支那官憲もそれぞれ警戒の手配は取つた模様でわが在支官憲は米内司令官と連絡を取り居留邦人保護のためそれぞれ手配をなすところあつた

また間島の鮮人共産黨も右中國共産黨と歩調を一にし暴動を起さんとしてゐたもの〻ごとくその範圍は全滿洲に及んでゐる模樣で間島の龍山總領事はもとより吉林の石射總領事も第二次暴動計畫の情報に接し支那官憲に對し嚴重な警告をなし邦人の保護につき萬全の措置を要求した

陳情攻めに惱む大、内、農三省
巡査を立番させ整理

【東京二日發電通】財界不況の影響を受けて疲弊困窮の底に彷徨する各地農村代表及び中小商工業者代表は頻りに各種陳情團を組織して上京し今後豫算編成期に當り益々その數を增す趨勢にあるので各省中最も陳情攻めに惱まされてゐる、大藏、内務、農林三省は二日來時に警戒巡査を三名宛臨時に立番させて陳情團整理に當らせる事となつた

豐、玉引分けは初めての大相撲
六日目の日本大相撲

大相撲六日目は幕内力士の五人決勝に人氣を呼び約八分の入り、千秋樂を明日にひかへて居ることゝて緊張、勝敗物凄く、相變らずの相撲氣分、幕下個人決勝は五日目初土俵の若藤部屋の越の海が豫想通り決勝に殘つて上宮山と戰つたが遂に押し倒して勝ち又幕内五人決勝は各力士とも力一ぱい、これを先途と戰つたが遂に錦洋五力士を屠むつて勝ち大喝采を博す、又本社の優勝旗の東西爭覇も益々興味を呼び興味の中心となる、又豐國玉錦の好取組は遂に引分けとなり滿場熱狂す、主なる勝負左の如くである

勝　　負

高浪(つり出し)東潟

沖ツ海(押し切り)潮ヶ濱

朝光(押し切り)池田川

立つや朝鐵砲、左相四つ後池田押したが朝頭張り逆に押す池田こらへ切れず敗る

中入

晴ノ海(寄り出し)若瀬川

相四つ晴持意の上脊を利用して盛につる、若瀬足をかけて頑張つたが遂にこらへ切れず晴勝つ

寶川(押し切り)太郎山

吉野山(下手投げ)雷ノ峰

つき合ひの後吉野右四つ下手投げを打つて全敗の吉野初めて勝つ

錦洋(下手投げ)劍岳

朝潮(小手投げ)幡瀬川

入念にしきりの後幡瀬川にとびこんで左をさし、すきを伺ふ朝潮の差し手をまきこんで小手投げを打つ、相撲巧者の幡瀬朝の亘力にほどこす術もなく破る

眞鶴(小手投げ)若葉山

鶴擢をかけし若葉白重、立つや激しく突き合ひ差し手を爭ふ内に鶴左を差し、ぐんぐん寄り後小手を打つて勝つ

豐國(引き分け)玉錦

全勝同志大關同志の相撲、今日の興味はこの一番にかゝる、入念にしきつた後立つや、がつちり左相四つ、滿身の力をこめて兩者競合うもきまらず豐、すきを見て赤柱士俵際まで寄る玉が同體となつて落ち取りなほしとなる、なかなか立たず非常な緊張化粧立ち四回、立つや激しく突合ひ玉左を差し、相四つ豐下手投げをかけて一擧に敵を屠らんとせしも玉うまくはずし再びがつちり相四つ兩力士秘術をつくす内に水となる、豐すばやく寄つたが玉もさるものよく押しかへしてしばし中央で仁王立ち兩力士大事をとる豐勝ちをあせつて押し寄るも玉頑張る、なかなか勝負付かずすでに二十分と二十秒遂に引分けとなる

宮城山(とつたり)大蛇山

(打ち出し六時三十五分)

幕内五人拔 榮冠は錦洋に

呼び物の幕内五人決勝は東大蛇、吉野、劍岳、寶川、錦洋、西太郎山、若瀬川、幡瀬川、雷の峰、眞鶴に依り相撲は一進一退何時勝敗が決するかと思はれたが錦四人を屠むつた雷を倒すに及んで既に決勝は錦のものとされるに到つた、呆せる競眞鶴をうつちやり太郎、若瀬を輕く押し出した錦は彊敵幡瀬があせり過ぎてふみ越したゝめ榮譽ある五人拔きの勝利を占め得たのである即ち(○は勝)

東　　西

○大蛇山(あびせ倒し)太郎山

大蛇山(寄り出し)若瀬川○

○吉野山(つり出し)幡瀬川

吉野山(うつちやり)雷の峰○

劍岳(寄り切り)雷の峰○

寶川(寄り切り)雷の峰○

○錦洋(小手投げ)雷の峰

○錦洋(うつちやり)眞鶴

○錦洋(押し出し)太郎山

○錦洋(押し出し)若瀬川

○錦洋(ふみこし)幡瀬川

けふ愈よ千秋樂

大日本相撲協會横綱宮城山大關豐國玉錦一行の大相撲は愈々三日を以て千秋樂となり四日出帆のうる丸で離連することになつた、昨六日目の好取組豐國對玉錦の一番は遂に勝敗決せず玉の井鳴戸兩檢查役木村庄之助行司、東宮城山西大蛇山協議の結果千秋樂に番外相撲として決戰することゝなつた又本社優勝旗爭覇の勝星も左記の如く連日負け續けの西方六日目遂に勝ち越し東西の差僅かに五點となり興味の中心となり連日の幕下力士個人決勝も愈々最後の決勝戰となるので千秋樂相撲の今三日は非常な期待と興味とを以て迎へられて居る

東西勝星數

	東	西
初日	二十五	二十七
二日	二十九	十九
三日	二十六	二十一
四日	二十二	二十六
五日	二十六	二十五
六日	二十二	二十七
計	百五十	百四十五

不況打開は獨逸に倣へ
淺野翁歸朝談

【横濱二日發電通】去る五月東京出發世界漫遊の旅に出た淺野總一郎翁は、二日郵船龍田丸で歸京したが

漫遊中ビックリさせられたのはドイツの大戰後の復興である、百四十億の借金を背負ひながらも國家財政は二百萬も增加し民間では九十四億といふ大金をアメリカの銀行に預金し外國に拂つた機械類の代金一億が回收不能となつてもビクともせずその工業は政府の保護と民間の熱心な奮鬪で活氣を呈してゐる不景氣の日本は先づドイツに倣ふべきだ、ニューヨーク、ロンドンでは我國への投資を銀行業者に勸誘したが應ずる者のなかつたのにサンフランシスコの某銀行頭取は事業に依つては五億でも十億でも投資するといふので心丈夫に思つた近く大藏、内務兩大臣に自分の不景氣打開策を述べる積りであると郷々の元氣である

水田埋沒から村民の激昂
矢場川を改修せぬからだと
群馬縣下で不穩氣勢

【前橋一日發電通】群馬縣邑樂郡六郷村及び郷谷村を貫流する矢場川氾濫し兩村地内の水田二百餘町歩埋沒したので兩村民總出動で排水に努めてゐる右矢場川は數年前より縣廳に改修方を陳情し來つたものであるがまだ修理されぬため斯くなつたとて村民は激昂し三百餘名は簑笠姿で一日午前十時大擧縣廳に押しかけんとしたので館林署では警官多數を派遣し目下鎭撫に努めつゝある

わが學生軍が異彩を放つ
一日開會式を擧げた
第四回學生國際競技

【東京特電二日發】ダルムスタツドに於ける第四回學生國際競技大會は歐洲各國、日本、アメリカ、オーストリア、ニュージーランド、南亞等の學生選手中の精鋭を集めて愈々本日開會式を擧げた此の競技會は一般に學生オリムピックと呼ばれその體裁は全く同競技と同樣で、陸上競技をはじめ水泳、蹴球、庭球、擊劍、ボートレース、拳鬪等の競技が行はれる、第一日競技はボートレースにはじまるが最も興味を惹くのは矢張り第七日目から十日まで四日間の陸上競技である、これに參加する選手は總數二百四十四名で、ドイツの五十名を筆頭にフランス三十名、イタリー廿五名、日本は十六名と、選手數では第四位だが織田幹雄以下優秀な選手多數を揃へてゐる日本の陣容は非常に憧れられてゐる

夜は野宿するタクシーが增加
この頃では數十臺に達す
大連署で嚴重に取締

最近大連市内に宿無しタクシーが非常に增加し深夜議所の辻々に野宿する自動車が數十臺の多きに達してゐるがこれが取締に關しては高山前署長時代に

その取締

が寛大であつた爲め警察自からが朦朧タクシーを增加せしめた結果となつてをり現在大連署ではこれが取締に手を燒いてゐる、即ち高山前署長時代には、ガレジー所有のタクシー業者に對し收容制限外の數臺をも許可してゐる、即ち二十臺より收容出來ぬガレジーに對し二十五臺の收容を許可してゐるため五臺のタクシーは常に野宿を餘儀なくされる譯である、一方ガレジー所有者は

一臺卅圓

の車倉料を朦朧タクシーから徴收してをるので宿無しタクシーでも名義上は立派に車倉を持つてゐる形ちとなつてゐる、依つて尾崎署長は取締方法を改めて朦朧タクシーの絶滅を期すべく目下保安係に命じ各ガレジーの收容車數の調査を行つてゐるが一日大連署講堂において開催された大連自動車業組合總會の席上においても尾崎署長は當業者に對しガレジー問題に關する取締を嚴重にする旨警告的訓辭をなすところあつた

帝都復興記念章
功勞者三萬五千名に下賜
近く閣議で決定の上鑄造

【東京二日發電通】政府は帝都復興事業關係者の論功行賞及び記念章下賜の件につき審議中のところ行賞に先んじて記念章下賜の件を決定し目下東京府立工藝學校教諭の意匠圖案も出來上つたので近く閣議で決定の上造幣局に鑄造させることゝなつた、記念章の樣式は直徑一寸の銀臺に復興市街を鑄出し菊花御紋章を金で浮出させたもの大體三萬五千人が功勞者として下賜される豫定である

競技種目と採點決る
京城軍の來征

既報の如く朝鮮鐵道局々友會陸上競技部は九月七日大連運動場に於て大連アスレチック倶樂部と對抗陸上競技を擧行するが、種々交渉の結果既報種目を左記種目に又採點も左記採點に變更した

▲種目 四百米▲砲丸投▲百十米高障碍▲走高跳▲千五百米▲圓盤投▲百米▲走巾跳▲槍投▲千米繼走

▲採點法 一等三點、二等二點、三等一點

▲繼走 一等三點、二點、一點

▲出場人員 繼走を除く外一種目二名宛

東京中心に防空演習

【東京二日發電通】九月一日の震災記念日を期して東京市を中心に帝都における最初の防空及び避難に對する大演習を行ふ事となり軍部を始め警視廳青年團在郷軍人團等の間に準備中であるが演習の想定は相當大規模となる模樣である

教員の減俸から村民が同盟休校
また長崎縣下で爭ふ

【上田二日發電通】長野縣北佐久郡春日村では先月三十日村民大會委員會を開き小學校職員給料四割減問題につき學校側と協議したが學校側が諾否の回答をしないため村民は憤慨し三十一日對策協議會を開き一日朝から同盟休校の擧に出でた

明大水泳選手歸朝

【横濱二日發電通】二日早朝横濱入港の郵船龍田丸でハワイ國際水泳大會に出場した明大水泳選手一行はエール大學のパトラー選手と同伴歸朝した

横濱高商に滿倶勝つ

【東京特電二日發】長途遠征の滿洲クラブ對横濱高商は二日横濱公園球場で滿倶先攻にて擧行左のごとく八對六で滿倶勝つ

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
滿倶	○	○	四	○	○	四	○	○	○	八
横濱	○	○	三	○	○	二	一	○	○	六

駐劄師團慰問

目下若草山本願寺關東別院に於ける慰問修養會講師として來連中本山特選布教使遠山正導師は六日朝離連し同派各出張所を巡講し來る七日には遼陽駐劄師團を慰問することゝなり本山より慰問品を多數攜帶して來てゐる

黑石礁で泳法講習開始

黑石礁滿鐵水泳部では愈々三日から泳法の講習を開始することゝなり三日は午後一時から開催する一哩競泳が終つてから直ちに第一回の講習を行ふ由、講習は毎日午後三時四十分から水泳部跳臺に於て行ひ本シーズンの終りまで繼續する本年は主として神傳流及び水府流を教へる筈で講師は左の通り

神傳流 關屋悌藏

水府流 和田次衛

同 渡邊諒

尚過日暴風のため破損した棧橋は修理を終り今三日から使用するので河童連は大喜びである

内地列車の三等寢臺
十月から連結

【東京二日發電通】三等客優遇のため計畫された三等寢臺車は二日鐵道省議で左の要領により十月一日の列車時刻改正と同時に實施するに決した

一、樣式、三段式、定員五十二名時間外は席に使用

一、連結車、東京發午後七時十分神戸行三等急行 東京驛發午後十時五十分神戸行二、三等急行 神戸發午後五時五十六分東京三等急行 神戸發午後九時五十二分東京行二、三等急行の四列車に各二輛づつ

一、料金上段八十錢中下段一圓五十錢

尚この寢臺車は枕を備へつけず乘客自身の持ち込みとし東海道線の二等寢臺連結車全部に及ぼす計畫で取り敢ず十輛だけ製作を急ぐ事となつた

銀安と不景氣が大連港にも響く
今までにない閑散振りの七月の入港船舶數

銀安と不景氣が如實に大連港に反映して當地海務局が調査による七月中の入港船舶二百八十三隻、總噸數七十四萬九千九百九十三噸、檢疫人員四萬五千百三十九名、昨年の同月中に比較すると隻數百七十七隻と云ふかつて見ない減少ぶり、その總噸數で十五萬五百三十一噸檢疫人員で一萬七千九百八十六名の大減少を示してゐる

議會暴行の判決言渡
桝谷工藤兩代議士は罰金刑

【東京二日發電通】第五十六議會における暴行事件に連坐した民政黨桝谷代議士外二名に係る公務執行妨害私文書破棄暴行事件は一日東京地方裁判所で左の如く判決言渡しがあつたが、桝谷、工藤兩代議士は罰金刑のため失格を免るゝ事となつた

罰金百圓(求刑懲役六ケ月) 桝谷寅吉

罰金五十圓(求刑懲役四ケ月) 工藤鐵男

禁錮二月一年間執行猶豫(求刑懲役四ケ月) 松田竹千代

交通事故が一番多い
大連署の即決

大連署司法係で取締つた七月中の即決件は數は賭博、行政上違犯を併せて九百六十九件に達し昨年同月に比べ六十四件の增加である即ち日本人二百卅三人これが罰金及び科料六百三圓、支那人は七百三十四名これが罰金及び科料一千百二十五圓で何んと云つても交通事故による違犯が筆頭を占めてゐる即ち自轉車取締規則違反百九十一件、自動車百三十二件、人力車百五件、乘用馬車四十六件、道路取締規則違反百七十件で交通上の違犯事故は超スピードを以て增加の傾向にある

海軍檢閲

鳥巢佐世保鎭守府司令長官一行の旅順海軍無線電信所恒例檢閲は左記の如く發表された

▲檢閲官海軍中將鎭守府司令長官鳥巢玉樹 ▲同附海軍中佐參謀戸塚道太郎 ▲同海軍中佐副官中村季雄 ▲海軍機關少佐參謀中山寛

大連寺兒溝海軍用地視察、大連民政署、市役所、滿鐵訪問 午後大連神社、忠靈塔參拜、老虎灘方面海軍用地視察を了へ旅順へ(自動車)白玉山參拜、關東長官、關東軍司令官、要塞司令官訪問、旅順泊(黄金臺ヤマトホテル)

▲十五日午前 旅順無線電信所檢閲、正午地方官憲招待(黄金臺ヤマトホテル)了つて大連へ、大連泊(大連ヤマトホテル)

▲十六日午前九時 大連發、營口海軍用地視察、湯崗子泊

▲十七日午前八時五分 湯崗子發奉天視察の上即日奉天發平壤へ

簡閲點呼好績

大連に於ける本年度陸軍簡閲點呼は去る二十六日より二日に亘つて大廣場小學校に於て施行されたが令狀送達者數千六百六十八人中出席者千六百二十九人で無届欠席者は二名あつた、病氣及事故不參者は三十七人で昨年より遙かに成績は良い

醫師夫婦心中

【前橋二日發電通】群馬郡澁川町醫師村上慶造(三)は二日夜診療室でメスを振ひ妻モトの頸動脈を切り即死せしめたる後自分も頸動脈を切つて心中を遂げた慶造は極度の神經衰弱で妻はヒステリーであつたが彼には二歳になる無心の長男が殘つてゐる

モヒ注射で殺す

【撫順特電二日發】一日午後九時市内西四條通農業公司内加藤某(三)を西二番町の川野芳松がモルヒネ注射を行ひ死に至らしめた事件があつたが犯意の有無その他目下嚴重取調中

山崩れで二名即死

【福島二日發電通】連日の豪雨に阿武隈川は增水一丈五尺その他各河川も氾濫するもの多く東白川郡丈けで橋梁の流失七堤防の決潰八百間その他全縣下の被害多く一日夜は西白河郡西郷村に山崩れあり人家一戸埋沒即死二名を出し濁流のため一名行方不明となつた

高等商業學院募集

來る九月五日から開校の大連高等商業學院は入學希望者非常に多き爲め豫定募集人員五十名を百名に增加し合計百五十名募集するに決定したが希望者は至急申込まれ度き由

鵜川氏夫人逝く

本社編輯局員鵜川久介氏夫人サイ子(三)さんは永々病氣、聖愛醫院に入院加療中のところ二日午後四時五十分つひに永眠した葬儀は四日午後四時天神町明照寺において相營むと

海の唄

「二二」

仲木貞一作　一木寧畫

白河の里（六）

膳の上には、京子の持つて來た大阪の燒蒲鉾も載つた。

先刻、母親が裏から笊に入れて持つて來た大根の類も、美味しさうに椀の中に盛られてあつた。

「さあ、京子はんや、何にも御馳走は無いのどすけど、たんと喰べてくれやすなあ」

母親は、今まで働いてゐたので、ぽッと紅つて、艶々とした美しい顔を、無雜作に、前掛けの端で拭きながら、京子の方へ朱塗りの箸箱を出して、

「今な、ちよつと新らしい箸が見附からんよつて、それで我慢しとおくれやすな」

と、愛想よく云ふ。

「なにや……箸あ一つも無いんかて、そないことないやろ……」

父親は手酌で、チビリ〳〵と傾けながらそれも愛想らしく云ふ。

「いいえ、これで宜しうおすわ、却つて此の方が結構だす……」

それは、此の前もおしるこを食べ合つた時も、使つてゐた和雄の箸箱である。

と、思つた京子は、慌う云つて急いで、琥珀色で、持つ方に銀でちよつと細工のしてある長い箸をとり出した。

「此のお箸の主は、今頃、何しておりやすのやろ……」

慌う、口に出して云つてみたかつたが京子は、まだ父親の氣を兼ねて、默つてそつと椀を取り上げた。

「頂戴しやす……」

「さあ、たんとなア……」

と母親も一緒に食べながら、

「京子さんのお土産……貴方も大好きやな。美味しうおますやろ……」

「うむ……」

父親は、から云つて頷いて、一杯乾した小さなお猪口を、京子の前に置いた。

「一杯おあがり……」

「……」

默つて、お辭儀をしたが、京子の顔は、ぽつと紅らんだ。

「貴方、よしなはれ、京子さんはまだ娘さんやで……わたしが貰ひまつさ」

と、母親は横合からお猪口を取らうとする

「まあ、えいが……一杯だけ、ほんの眞似や、なア京子……」

父親は、またお猪口を取り上げて、京子の方へ差出した。

「そんなら……眞似だけだつせ、おぢさん」

慌う云つた父親の調子が、ふと以前を偲ばせるやうな氣兼ねが去つて了つたやうに、心持ち歡喜しい調子で云つて、お猪口に一杯なみ〳〵と注いで貰つた。

「ほゝう……見事や」

父親は、もうそろ〳〵醉ひが廻つて來たらしい風で、京子がやう〳〵の念ひで一杯乾したのを見て慌う他愛なささうに云つた。

「まあ、京子さん、なか〳〵豪うおすな、何時の間にそない修業が積みましたえ？」

と母親は、まじ〳〵と京子の顔を覗ながら云つた。

「いいえ、飲めんのどすけど、折角おぢさんのやで」

「そやなア、もうそれに京子かておつきに嫁さんになるのやろ？……丹波屋御寮人樣になるのやつたら……」

父親がから云ひかけた時、母親はヂロリとその顔を睨むやうにして、そして、また京子の方を忙しなく覗やつた。

「……」

京子は、何か云はうと思つたが急に咽喉のところへ何か支へて來たやうで、何も云へなかつた。

父親も、何故か、それなり口を噤んで了つた。

滿日文藝

滿日俳壇

島田青峰選

「ハンモック」

大連　猿夢
たま〳〵のハンモックにて風邪をひき
臭虫に苦しめられてハンモック

大連　いさ場
ハンモック兄はわざと高く釣り
ハンモック仔犬乘せたり下ろしたり

普蘭店　泥雛
脱ぎながら釣床のぞく若い父

旅順　榮丸
ハンモック午前と午後の向を替へ
ハンモック子守も一寸乘つて見る

大連　照波
ハンモック子供は飛行機乘つてる氣
ハンモック吊すとこない裏長屋

本溪湖　銀杏
四疊半もて餘してるハンモック
留守の下女振り落されしハンモック

大連　岳泉
日曜の午睡へ木蔭のハンモック
ハンモックゆすり〳〵の針仕事
古靴で父が自慢のハンモック

旅順　柳月
新築へさてハンモックの吊りどころ
振りやんで泣く兒へ箸を捨てさせる

旅順　都一
ハンモック切れて家内の大騒ぎ

鞍山　久枝
晩酌へ坊やハンモックへ乘せられる

大連　梅子
ハンモック納りかねるわが體
ハンモック揺れて海原見えかくれ

遼陽　みのる
ハンモック豊艶の顔へ網の型
ハンモック戯れてゐる許嫁

大連　よし坊
ハンモックゆれて合ずハアモニカ
ハンモックゆれて小供は泣きをやめ

大連　凡稚
木蔭から木蔭へ移すハンモック
ハンモック親父のひるねへ子がたかり

大連　粲浪
顔へ本あてゝ昕のハンモック
葉の香り滿された木と木へハンモック
ハンモック靜に揺れて子はねむり

大連　白水
ハンモック肩が痛んで月を覺し

大連　淀月
ハンモック乘つて居らない男の子
ハンモック痛たさうに乘る病上り

大連　蒲山
ハンモック玩具が落ちて夢に入り
初めては怖々と乘るハンモック
ハンモックうつら〳〵と蟬の聲

奉天　奇峰
ハンモック揺り〳〵母の手内職
新兵の當座ハンモック眠られず

大連　子禾
ハンモック毛虫一つへ騒ぎ立て
片腕をとなりの垣へハンモック

旅順　粲丸
日曜日課長もゆするハンモック

大連　佛心
初孫へ國から屆くハンモック
水兵はいつも疊を戀しく寢

大連　青々庵
ハンモック撫りつゝ唄ふ子守唄
ハンモック寢顔にあたる葉越しの陽

旅順　泥谿
ハンモック吊つて座敷の定規型

本溪湖　柳村
ハンモック人形の足ぶら下り

奉天　友月
ハンモック喧嘩になつて兄が乘り

旅順　辰雄
ハンモック子は飛行機に乘つた夢
船長の妻は淋しいハンモック

旅順　紀南
日曜日又振らされるハンモック
歸つて來た父ハンモック一寸ふり

大連　三樹
風道を選んで吊るすハンモック
ハンモックいつしか本を顔にふせ

川柳募集課題

▽題　「星」「相談」「腕辨」
▽句　各題五句限必ず別記
▽限　八月十五日〆切
▽宛　大連市彌生町高橋月南

滿日文藝係

滿日聯珠戰（二）

中央聯珠社大連支部戰譜

先勝　原口八州
高橋桂山

▲五號桂山月（五珠隨意打）【四段井村永治講評】
△（十七）後「甲」の勝

黒（五）定珠にて可（三、四、一、二、五）の順にて一號桂峽月に還された事になる白（六）と打ちたき趣向なれば白（四）の時に於て直ちに（六）と打つ所である、然すれば山嵐といふ有名な難局になるのであつたに、白（四）黒（五）の交換ある今は須からく、他に防がねばならぬ、黒（七）禮儀にてよろしい、白（八）如何に防ぐも上記の交換ある故不利は免れないが未だしも反對「イ」より防いで黒の策動を待つがよろしい（實は次に黒「ロ」と打つ必勝の珠型がある）以下黒は白の弱防に乘じ一擧に敵を破りたるは見事である

夕刊 滿洲日報 八月二日

各地の共産軍三方より九江を目標に前進中
廬山滯在の外人避暑客に對し魯氏即時避難を通告

【上海特電一日發】外人側確實電を綜合するに鄱陽湖東岸の共産軍は渡江して南康に上陸し彭澤湖口の一部は修水に沿ひ德安方面に又大冶附近にありし共産軍は瑞昌に向ひ三方より九江を目標として前進しつゝあり、魯滌平氏は九江英國領事に對し廬山に避暑中の外人に三日以內に避難せざれば責任を負はずと通告した

長江一帶愈よ危險

【上海一日發電通】共産軍の長沙占領と同時に江西省の共産軍も活躍を開始し首都南昌及び九江も時に彼等に占領せられんとしてゐる同省の共産軍は目下南昌と南康の間にあり九江方面に向つて進軍中でその途中にある外人避暑地廬山に危險迫つた爲め昨日イギリス官憲は避暑客に即時退去するやう勸告した尚イギリス官憲は長江一帶危險となつたのに鑑み青島碇泊中の軍艦ソンム號及びルシダー號に對し至急南京に廻航方を命令した

共匪我軍艦を砲擊
長沙領事館掠奪に遭ふ

【上海電一日發】軍艦小鷹偵察によれば長沙領事館は住宅を燒かれたるも本館及び中の島は外觀異狀なきも民家と共に掠奪は免れざりしものと認めらる同艦は英艦タイル號と共に共産軍より砲擊を受け數發これに應射した、何健氏は湘潭に在りて長沙奪回を策しつゝあり

米軍艦被害 七十餘發命中

【漢口一日發電通】本日正午長沙來電によれば共産土匪軍は機關銃數十門と野砲數門を据え各國軍艦に猛射を浴びせ反擊に遭つても却つて頑强に抵抗してゐる、即ちわが二見、小鷹を始め英米の各國砲艦は猛射を浴び米艦パロスの如きは命中彈七十餘發に及び艦傷十數名を出した

魯氏逃亡準備

【上海一日發電通】九江來電、湖南の共産軍は三路に岐れ武漢、南昌、九江各地を襲擊するとの報道に接したが魯滌平氏は防戰の意思なく自身及び省政府要人の家族を皆漢口に避難せしめ且つ九江、南昌間の鐵道を一日一司に減じ南昌に列車を抑留して逃亡の準備を整へてゐるので人心極度に怖え不安氣分横溢してゐる

漢口日界の裏手危險

【漢口一日發電通】日本租界裏手に當る姑嫂樹一帶に本日共産黨の宣傳ポスターが貼られ盛なる示威運動行はれたが、この地方は牛匪の部落で危險極まりなく我當局は嚴重警戒中である

支那戰爭畫報

（上）は濰縣驛より望んだ濰縣城（下）濰縣驛における韓軍の軍用列車

漢口便衣隊 數十名を銃殺

【漢口一日發電通】特別戒嚴令下の漢口は夜間の通行一切を禁止され死の町と化してゐるが、當局は共産便衣隊狩に血眼となり見附け次第片つ端から銃殺しその數既に三日來數十名に達してゐる、支那人富豪や銀行筋が現銀の隱匿に狂奔してゐる樣は支那ならでは見られぬ圖で上海方面に避難する者漸く增加し物情騷然たるものがある

共匪蜂起の裏に政治的策動潜む
王外交部長の觀測

【南京一日發電通】王正廷氏は長沙事件に關し本日日本記者團と會見して左の如く聲明した
赤色テロリズムを標榜する土匪軍が長沙を襲擊せる事件はまだ國民政府に公報來らず眞相不明だが、新聞の報道に依ると共匪の暴逆は豫想以上に暴逆なるものゝ如くで殊に長沙の外國領事館や各國人の店舗家屋が燒打され掠奪されたことは眞に遺憾だ日本在留官民が逸早く避難しその生命に危害なかりしは不幸中の幸ひだ、外國居留民の生命財産損害に對しては正式報告に依り確かめた上國際公法に照らし慣例に從ひそれぐ\損害賠償の責に任ずる、今回の事件は單なる共匪の仕業でなく國民政府の國際的立場を困難ならしめんとする政治的策動が加味されてゐると信ずる、即ち過般長沙を敗退せる李宗仁、白崇禧等廣西軍の敗殘部隊が土匪軍と合體し彼等を使嗾しこの擧に出でたものと信ずべき節がある、國民政府は目下正規軍を派し討伐中だから長沙の奪回は時間の問題で災禍はこれ以上擴大すまいと信じてゐる

邦人保護を訓電
外務省が出先の官憲に

【東京二日發電通】外務省では南方の共産軍約二千名江岸に進出し長沙、南昌方面の共産軍に相呼應して武漢に侵入せんとするの形勢に在りと報ぜられてゐるので最惡の事態發生の場合を顧慮し一日午後五時長江沿岸の出先官憲に對し在留邦人の保護に最善の方策を執るべくそれぐ\訓電を發した

國民政府に抗議
共匪事件に關して

【上海一日發電通】重光總領事は幣原外相より卅一日附左の如き抗議的警告を國民政府に提出するやう命令を受けたので今日南京の上村領事の手を經て王正廷氏に手交した
長沙事件の善後處置につき總ての事態判明するを待ち日本政府は國民政府に對し正式交涉をするはずであるが、長江一帶には邦人多數在住し各種の事業に從事し居り長沙占領に勢を得た共産軍が更に邦人の生命財産を脅やかし重大事故を起し國際問題を惹起する虞れがある故帝國政府は取敢ずこの點に關し國民政府當局に甚大なる注意を喚起し至急適當なる處置を講ぜんことを希望す

重光總領事 外交部長と會見

【上海一日發電通】長沙事件の重大性に鑑み重光總領事は一日夜十一時林出書記官、野村、朝比奈兩書記生を伴ひ南京に向つたが、二日王外交部長と會見し我政府の抗議的警告を正式に通達し國民政府の猛省を促すに決定した

遺憾の意を表す 汪駐日支那公使

【東京二日發電通】駐日支那公使汪榮寶氏は一日午後三時外務省に幣原外相を訪問し長沙事件に關し遺憾の意を表し、たほ在留邦人の保護については萬全を期する旨言明するところあつた

北方政府は十日以內に成立
朱外交處長の言明

【北平一日發電通】外交處長朱鶴翔氏は本日午後日本記者との會見において新政府は十日以內に成立する見込みである、新政府の綱領の一方針は共産黨の徹底的排除であつて蔣介石氏下野後には討蔣軍の一部を以て赤軍討伐に當らせることゝならう、北方においては一切斯かる憂ひなく北方管轄下に在る外國人の生命財産は絕對安全である事を責任を以て明言すると語つた

陸軍異動評
阿部代理陸相 腕の冴え
待命實に三百八名

▽…【東京特電二日發】今度の陸軍異動は宇垣陸相の病氣が手傳つた突發的のもので稀らしく本省內に異動が多かつた、杉山軍務局長が同職を拔いて次官心得となり、今中將に進級して本ものゝ次官になつたのは宇垣さんの不幸が杉山さんに思ひ設けぬ幸福を與へたものだ

▽…新次官は奥元帥亡き後の閥閥の頭目格で多分に政治家的素質を持ち、外柔內剛、他に對するやその頭のやうに圓轉滑脫、而も自說を枉げぬ硬骨漢である、新軍務局長小磯少將は最近整備局長となつたばかりで本省外が長かつた、下僚受けのナカ〳〵よい人格で軍人中の滿洲通としても知られてゐる

▽…その下に硬骨漢で鳴る永田鐵山大佐が梅津新少將に代つて軍事局長になつたのは良い配偶だ、小磯の幹、永田の骨、本省の中樞たる軍務局は前途洋々たるものがあらう、新整備局長の林桂少將は小磯氏に次ぐ軍務局長の候補者だつただけは一寸皮肉の感に耐へまい、軍制改革の委員長として働き過ぎたのだから暫時靜養するのも良からう

▽…森鷗外亡き後の軍人文藝家として肉彈中尉として知られた櫻井新聞班長の勇退は一般に惜まれて居る、任に在ること正味七年、積極的に新聞の利用宣傳をするには多少手段、腕はあつたが、その軍事思想を鼓吹した功績は永く忘れられまい、その後任古城新新聞班長は軍人中の英語堪能者として知られて居る

▽…要するに阿部代理陸相が最初の試みである、今回の大異動は新舊一千三百四十餘名、待命三百八名の多數に上り仔細に觀察すれば色々非難もあらうが大體において豫想されたものが多い（寫眞は阿部代理陸相）

けふ歸任の仙石總裁

黃陂、孝感を共匪占領

【漢口一日發電通】漢口より一日行程にある平漢線の黃陂、孝感二城は三十一日午後共産軍に占領され城內は完全に掠奪された、共産軍は愈々是より武漢を襲擊せんとする姿勢を示して居り形勢重大となつたが武漢當局は右につき左の如く苦衷を語つた
武漢の守りを固くする爲め要塞地域外にある兩城は殘念ながら拋棄した

膠濟線の兩軍激戰

【濟南一日發電通】韓軍と山西軍は濰縣西方二十支里の大河を挾んで激戰中で韓復榘氏の下野もどうやら怪しくなり膠濟鐵道は何時通ずるや見込みが立たなくなつた

元湖北省長 孫傳芳氏を訪ふ

在連中の孫傳芳氏が北方政府樹立のため種々畫策中である事は屢報の如くなるが一日午後入港の河南丸にて元湖北省長何佩瑢氏が來連直ちに市內柳町の孫氏宅に落ちついた、何氏はかつて孫氏の部下として活躍した人物で現在孫氏の最高顧問格である因に何氏は孫氏の招電に接したものであると

北方銀行開行

【北平一日發電通】新に北方側の中央銀行として創立された中華國業銀行は本日盛大なる開行式を擧行した同行は資本金一億元で兌換券一千萬元を本日發行した

鐵道部收入減等の緊急對策を協議
仙石總裁歸任により
明年度豫算の重役會議は下旬

滿鐵々道部本年度の收入減は見込收入よりも二千五百萬圓減を豫想され黃金時代より受難時代に轉換せんとする形勢にあるので第二段第三段とその對策を講じつゝあるが仙石總裁の歸任によつて本年度事業費、經費の大節約を斷行するものゝ如しである、仙石總裁は鐵道部の事業費、經費の節約と共に各部もこれと步調を合せ更に經費節約に關する採掘減等を緊急問題として取敢ず協議決定する模樣である、而して各部來年度の豫算案は本月二十日頃までには總務部へ取纏められることにならうからこれに對する重役會議は下旬開催すべく臨時經濟調査委員會が總裁の上京中研究してゐた給與規程改正案が一日午前中に最後の委員會を開き成案を得たのでこの改正案と傍系會社整理統合案とを來年度豫算會議前に協議されることにならうと觀測されてゐる

樞府條約精査と樞府の方針
說明の分擔も決定

【東京一日發電通】政府は一日の閣議散會後一時より濱口首相、幣原外相、江木鐵相及び阿部陸相代理、鈴木翰長、川崎法制局長官等會合しロンドン條約案に關する樞府精査委員會における說明者、並びに對策に關して協議をなし大體左の如く意見の一致を見て三時散會した即ち
一、精査委員會は首相外相海相の三閣僚出席しこの外法制局長官並びに海軍外務兩省より專門委員を列席せしむ
一、阿部陸相代理は條約案に對する陸軍側の見解並びに陸軍事務管理問題に關する答辯の要ある時出席す
一、質問に對する答辯は議會における政府の答辯と矛盾を生ぜざる事を趣旨としその內容を詳細にする事
の根本方針を決定し右方針に基いて豫想さるゝ個々の問題につき種々論議したものである尚濱口首相以下前記關係閣僚は御批准終了まで避暑地の旅行を見合せる事となつた

與黨幹部首相に陸軍々縮を進言
飽までその實現期待

【東京一日發電通】陸軍々縮は現內閣成立直後八大政綱の一として國民に公約せる重要政策なるを以つて民政黨では是非とも政府を鞭撻して六年度よりこれが實現を期せねばならぬとの强硬な決意を以つて幹部は濱口首相に對し先日非公式に與黨の意嚮を進言し併せてその眞意を訊したところ首相も全く同意見であつたので幹部もこれを諒とし首相の誠意を信じ飽くまでその實現を期することゝなつた

政府對策協議

【東京一日發電通】定例閣議散會後濱口首相幣原外相江木鐵相阿部陸相代理は特に居殘り樞府精査委員會も切迫したのでその答辯方針及び政治的對策等に關し重要なる打合せをなした

條約案下審査進捗

【東京一日發電通】ロンドン條約の樞府下審査は一日も午前十時より續行されたが二日は常設國際司法裁判所規定改正に關する精査委員會が開かれるので同日は休止し來週に持ち越さるゝ事になつたが大體後一回で下審査終了の豫定で

政友經濟事情調査打合せ會

【東京二日發電通】政友會の經濟事情調査委員は一日午後三時より總裁邸に第二回打合せ會を開催し犬養總裁の挨拶の後山本會長より政務調査に關する經過報告あり終つて種々協議の結果、要するに今回の經濟調査は超黨派的立場に在つて全國的不景氣の眞相につき徹底的に調査すべきであるといふ旨の申合せをなし同五時散會した

滿鐵の諸問題は總て研究後
不況時には勉强出來るよ
けさ歸任の仙石滿鐵總裁

仙石滿鐵總裁は鍋島秘書と共に二日入港のうらる丸にて歸連したが船中往訪の記者に語る
昭和製鋼所は既に登記して設立されてゐるが敷地問題は未だ決定してない、新義州多獅島の調査委員一行が同地に赴くのは本月中旬頃だらうが、やるかやらぬかもまだ判らない、オレの一存で敷地は決定するだらうて？さうもいかんよ、傍系會社の整理滿鐵諸給與規定の改正か、サアこれも研究してからのことだ
新任理事は評判がいゝて？オウさうか社內でも社外でもいゝ人があればいくらでも增員するよ滿鐵の收入減か、社員を勉强させるには減少も時にはいゝだらう
船中膝を縮めた總裁は靜かな海上より朝の大連港を眺めながら「何も面白いことはないかのう」といつて記者團の質問には多く語るを欲せないらしかつた、因に總裁は上陸直ちに星ヶ浦別莊に赴き大平副總裁も同行したが副總裁は十時半頃歸社した

人事

▲仙石貢氏（滿鐵總裁）二日入港うらる丸にて歸連
▲根橋禎二氏（同計畫部技術課長）同上
▲五泉賢三氏（辯護士）同上
▲鍋島嘉門氏（滿鐵總裁秘書）同上

大陸小言

さすがの王正廷氏が兜をぬぎ、長沙事件の責任は國民政府ありとは近頃、殊勝の至りと申すべし。
◇
だが、共産黨匪の討伐は時間の問題なりなど高を括るに至つては言語道斷。
◇
また、北方側が蔣介石下野後、討蔣軍の一部を赤軍討伐に向くべしなども責任感の稀薄を認めざるを得ぬ。
◇
對外的に遺憾の意を表したぐらゐでは相濟むまい。
◇
武漢が今や危機に瀕しつゝあるではないか、敗殘した廣西軍殘黨の政治的策動なりなど觸してゐても軍閥勢力の基礎が根柢から搖がされはせぬか。
◇
北方とても直接に關係なしと餘り大きな顔は出來ぬと知るべし。

天氣豫報

三日（南東の風）曇、一時晴れ

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二七・四	二九・六
旅順	二八・四	三〇・五
營口	三〇・七	三三・五
奉天	三〇・一	三四・二
長春	二九・〇	三七・一

滿潮 午前四時卅五分 午後四時卅五分
干潮 午前十一時 午後十一時五分

昨夜また不逞團が吉敦沿線を襲ふ
鐵橋を破壞し電信切斷 敦化安否不明

【吉林特電二日發】既報鮮人不逞團は昨夜吉敦沿線を襲ひ、拉法站、沙河河子の鐵橋を破壞し電信一個所切斷、目下拉哈爾を去る六十六キロの地點に出で支那兵と交戰中、尚新開道にも約五、六十名現はれ交戰中にて敦化の安否は不明である

根據地から逃亡して交戰

【長春特電二日發】敦化を中心として突如襲來した鮮支人の共産黨員は支那側軍隊と目下交戰中であるが擊退されて居る模樣である、尚一日夜共産黨員より長銃十二挺奪取されたと、また根據地から逃れて來た共産黨員四十名は柳樹河(敦化の次驛)で電信柱を破壞し逃走の際軍隊に發見され交戰中、尚一日支那軍隊の爲め鮮人三名、支那人三名計六名の共産黨員が逮捕された、此六名は木橋を燒却した犯人らしいと

東北當局で共匪嚴戒 戒嚴令を布く

【奉天特電二日發】東北當局は長江筋の共産匪の猖獗に鑑み萬一に備へる爲め省内共産黨の策動に一層の警戒を加へる方針を執り省城に於ては一日から無形戒嚴令を布き多數の私服軍警を要所に派して警戒に努めて居るが今迄のところ平穩で當局は省内には赤化暴動は起らぬものと大體樂觀して居る

中國共産黨に入黨の土産
朝鮮共産主義青年團 警戒の手を緩めぬ支那官憲

一日朝吉敦鐵道木橋を破壞した不逞鮮人等は支那護路軍の到着までに逸早く姿を消し目下護路軍は追擊中であるが、これ等不逞鮮人の正體につき判明した所に依れば彼等は從來朝鮮獨立運動と稱して屢々良民を苦めた不逞團の一味にて今春從來の運動を中止し中國共産黨滿洲省黨部に加入したもので今回の事は入黨の手土産にしたものらしい、彼等は中國共産黨の一部である朝鮮共産主義青年團と稱し日支官憲打倒、ソウエート建設をモットーとしてゐる

尚八月一日の赤色記念日は支那官憲が大童となつて警戒につとめた結果右敦化方面以外には何事もなかつた模樣であるが共産黨は更に八月二十日の全國代表準備會議、九月一日の赤色青年日、十一月七日の中共全國代表大會日等を期して何事か畫策してゐる模樣で支那官憲は依然警戒を續けてゐる

鮮支文の宣傳文 哈爾賓で撒布

【ハルビン特電二日發】八月一日の赤色デーに社會科學研究會滿洲共産黨鮮人は反帝國同盟の支援を受け市内に鮮支文で「長沙の共産軍と呼應せよ、帝國主義打倒、支那赤化」を説いた宣傳文を撒布し支那官憲に逮捕された

二名戰死す ブハト襲擊で

【ハルビン特電二日發】ブハト附近に現れたパルチザンと支那官兵の交戰で露人一名官兵一名は戰死した

海濱新風景 流行の家族テント

うらる丸に いろいろな話題
埠頭も出迎人で賑ふ

今日の定期船から……上京中多忙な日を送つた仙石滿鐵總裁は鼠色の背廣でうらる丸甲板に壯健そうな姿を現はしてゐる秘書役鍋島嘉門氏それに計畫部技術課長根橋禎二氏が上陸準備に忙しい一方昭和製鋼所州内設置上京委員として總裁と同日大連を出發した前市長石本鏆太郎翁出帆時の意氣込も何處へやら記者團と總裁の回答に籐椅子を寄せて聞入つてゐる、この外ドイツドレスデンに研究の爲め出張する東京工業大學教授清水護博士、大阪商船文書課長内山正也氏大阪ウキルミナ女學校教諭でメソヂスト教會から招かれた西野貞子女史、三等の甲板では七月廿五日から京都武德殿で開かれた全國青年演武大會に出場した二中、商業育成の各選手が岸壁に出迎へた先輩學友と挨拶を交してゐる

尚ほ此日仙石總裁出迎へのため埠頭には大平副總裁を初め滿鐵幹部級並びに傍系會社長等で賑つたが、殊に來連中の角力玉錦が巨軀を提さげて鄉黨の元老仙石氏を出迎へたのは異彩を放つてゐた

運動で負けない 石本翁語る

昭和製鋼所陳情委員として上京中であつた前市長石本鏆太郎翁、行く時の元氣は何處へやら悄然として語る

前航で歸連した小澤委員が報告なすつた通り悲觀說も見て差支へないあれ丈け運動して駄目なら仕方ないさ、只我々在滿人の私利私慾を離れた赤誠だけ買つて貰ひたい、しかしこれもまだ全然悲觀するには早く私は總裁との面會で總裁の御意見を伺つたところ「誰がなんと云つてもわしが調べた上で好いと思ふところに設置するさ」と暗に新義州必ずしも決定的なものでないと云ふことをほのめかされたが多獅島に向つて續々調査班が向つてゐることは事實である、ある一部の人は私達の運動が拙劣で朝鮮側の方に運動負けしたやうに云はれる向もあるが全然そんな事はない、全滿的運動として我々は上京種々策したものである、それだけはハッキリ云つて置きたい、運動かね、打切るものか同志と協議の上何度もぶつかるつもりで居る

高松宮兩殿下

【ブラッセル一日發電通】高松宮同妃兩殿下は本日リエージュの歐洲大戰劈頭ドイツ軍に破壞されたロンサン砲臺を御見物になつた

大西洋橫斷遂に成功 R百號着く

【セント・ヒューバート一日發電通】英飛行船R百號は一日午前一時十四分豫定地たるモントリオール郊外セント・ヒューバート飛行場の上空に勇姿を現はし夜明けを待つため旋回飛行を續けてゐたが午前五時二十八分(東部標準時)繫留作業が開始され僅かに八分間を要したるのみにて同號は完全に午前五時三十六分繫留され茲に無事大西洋橫斷飛行を完了した

グリニッチ標準時二十九日午前三時四十五分(東部標準時二十八日午後十時四十五分)にカーヂングトン飛行場を出發してよりセントヒューバート飛行場までの所要時間は七十八時間五十四分である

「滿洲の梨胴」 二中劍道軍

去る七月廿五日より三日間京都武德館において開催された全國演武大會に出席準々優勝戰まで漕ぎつけ「滿洲の梨胴」と威名を馳せた大連二中劍道部選手は同じく滿洲健兒の氣を吐いた大連商業、育成學校劍道部選手等と共にうらる丸で歸連したが三輪二中主將は語る

全國二百八十五校のうち三日目には二百七十六校、ふるい落されて九校を殘しそのうちに入る事が出來たんですが、惜しい事に準々優勝戰に三―二の成績で福岡中學に敗れましたがベストを盡して戰ひました

宗教講演に 西野女史來る

我國女子教育に貢獻する事三十年現大阪ウイルミナ女學校教諭西野貞子女史は當地日本メソジスト教會設立十周年記念に招かれ約一週間に亘り宗教講演を行ふ事になり同船で來連したが女史は語る

大連には三度目です、一度は同じく教會から一度は滿鐵から招かれたのです、この日本の現狀において最も氣をつけてやらねばならぬものに女子の完成があると思ひます、思想的に色々な意味で混沌たる現況を思ふとき私達は起たねばいけない樣な氣がします、聞くところによりますと久布白女史が來て居られるそうですね、この節遠い滿洲でお會ひ出來たら結構だと思ひます【寫眞は西野女史】

光枝を相手取り恐喝で告訴
一方では墮胎罪で反訴する 齋藤醫大助手の爭ひ

奉天醫科大學助手醫學士齋藤久保氏が奉天宮島町日進館元女中小畑光枝(三)に相手取られ貞操蹂躙慰謝料五千圓請求の民事訴訟を(渡久山辯護士代理)提起されたことは本紙既報の通りであるが、當の齋藤醫學士は原告側がいふが如く光枝に對し妻にすると云つた覺えはなし殊に姙娠五ケ月目に墮胎させたいといふが如きは全く虛言であつてさきに四百圓の金を光枝に手渡してあるに拘らず、いま又脅迫がましくも墮胎云々を以て五千圓請求を行ふは怪しからぬと、數日前有川辯護士を代理として光枝を相手取り恐喝罪の告訴を奉天領事館に提出した、そこで光枝も默してをらず齋藤氏の言は虛言であるとなし今まで手控へてゐた墮胎罪の告訴をも併せ近く誣告の告訴を提出すべく目下渡久山辯護士の手でこれが材料蒐集中で暴露戰術の醜き告訴爭ひが次から次へ展開されるものと見られてゐる

早川雪洲が實演する 松竹と契約

【東京二日發電通】歸朝中の早川雪洲はこの程松竹との契約に依り來る九月一日より廿五日まで帝劇や或は歌舞伎座で得物の芝居を演ずることゝなつた、出物は米人ベラスコ氏作永田秀雄氏譯の「オノラブル、ミスター、ウオン」であるが、フイルムを通じてのみ演技を見せてゐた雪洲の實演は頗る期待されてゐる

沖繩山口縣へ御救恤金下賜

【東京二日發電通】山口沖繩兩縣下風水害御救恤のため二日左の如く兩陛下より御下賜金があつた

沖繩縣 金三千五百圓也
山口縣 金七百圓也

中味のない海苔を賣る 朝鮮人の詐欺

市内聖德街二丁目二〇番地久米川宗平方では過日朝鮮人行商人より味附海苔廿四個を買ひそれを贈品にしたところ約半數は中味なく空であること判明前記朝鮮人より詐欺にかゝつたので二日朝沙河口署へ屆出でた

日獨濠庭球戰 第二日成績

【ベルン一日發電通】日獨濠三國庭球試合第二日成績左の如し

原田 六―一 六―二 ムーン(濠)
プレン(獨) 六―三 六―四 太田
安部・佐藤 六―三 七―五 デサルト・クラインスロス

不良力士公判 四ケ月の求刑

廣島縣生れ力士開心こと前科二犯黒岩精三郎(三)は納涼大角力主催體育會後援地方力士連と稱する寄附帳を持ち廻り七月一日から五日迄に市内大山通五七番地絹布商山本源外百三十名から百三十餘圓の寄附金を詐取した事件の公判は二日大連地方法院長島判官係開廷立會檢察官は懲役四ケ月を求刑した

教員檢定試驗

本年度普通學堂、公學堂教員檢定試驗は本月七日から六日間旅順師範學堂に於て施行さるゝ筈で關東廳では一日を以て受驗願書を締切つたが今期志願者は公學堂教員五十三名、同專科教員十六名、及び普通學堂低學年教員一名都合七十名であつたと

納涼園で賭博

一日午後九時半ごろ市内富久町において目下開催中の納涼場内にて大連管内西山會香爐屯三區一〇二番地の袁寶亭(三)が胴元となり數名の見張り人を置いて「豚子寶」と稱する賭博開帳中を小崗子署の刑事が發見一網打盡に逮捕した

千秋樂取組

大相撲七日目取組は左の如くである

上宮山(晴ノ海)東潟(海光山)
高浪(潮ケ濱)池田川(卍光)
太郎山(若瀬川)緑瀬川(雷ノ峰)
大蛇山(劍岳)沖ツ海(眞鶴)
錦洋(若葉山)玉錦(宮城山)
吉野川(朝潮)寶川(豐國)

台所メモ

品名	單位		
えび	百匁	四〇〇	二〇〇
ひらめ	同	一五〇	一〇〇
すゞき	同	三〇〇	一三〇
さはら	同	三〇〇	一八〇
めばる	同	三五〇	二〇〇
かれい	同	五〇〇	一二〇
うなぎ	同	九〇〇	六〇〇
あなご	同	三〇〇	二〇〇
どぢやう	同	二〇〇	一五〇
ちぬ	同	三五〇	―
かに	同	一五〇	―

全滿軍か―慶應か―
全國の興味を集め第一日劈頭から大接戰
競技種目と兩軍の得點豫想

八月九、十兩日大連運動場に於て擧行される慶應大學對全滿洲對抗陸上競技會は日本陸上競技界より非常なる期待を以て注視されて居る慶應軍は遠征確定と同時に數回豫選會を開催してベスト・メンバーを作り未だかつて外來チームに破れたことのない全滿洲軍を擊破すべく、又全滿洲軍はこの强敵を迎へ擊ちとつて陸上王國の名を恥しめざる爲この炎天下に猛練習中であるから必ずや好記錄を現はすであらう、今兩軍の各選手が最近作つた記錄の上から比較して見るに益々この競技會は白熱化することは豫測するだに至難なことではない

第一日(九日午後四時開始)

百米 慶には十秒九を保持する阿武居る全滿にもこれに對抗する岡あり、この兩者の一騎打ちこそ大會の白眉とも稱すべくたゞ岡にはホーム・グランドと云ふ好コンデイションあり この兩雄に配するに慶は十一秒三四臺の菅沼及び同臺の吉田あり全滿は十一秒二三臺の今井田中あり結局戰は五分五分とも云ひ得べく、ただ劈頭競技として爾後の戰況を有利に導くためにこの競技に全勢力を注ぐことであらう

砲丸投 十二米五〇臺を完全にオーバーする齋藤板橋兩雄に怪漢黒田のメンバーを有する慶軍に對し全滿軍僅かに西村を以て對抗し得られるに過ぎず、西村は好コンデイションに於て十二米三四十臺であり同選手を援くる橫井最上の兩選手は未だ十二米臺の記錄に至らず八對二の苦戰と思はれる

千五百米 千五百米の第一人者たる津田選手が家事の都合上來征不可能となつたことは北本津田の兩雄を有してこの種目で斷然リードしようとした慶軍にとつては可成りの痛手に違ひない北本の優勝は確實なところとして滿永谷が往昔の元氣で奈邊まで北本を追ひつめるであらうかに興味があり又永谷を追ふ慶の渡邊も決して侮り難き選手でつとに中等校時代より陸上界に名を馳せた選手で五分十七八秒の記錄を有して居る、又最近元氣な濱田がこの種目に出場するとせば永谷渡邊濱田の戰ひの分岐點は作戰の如何に依ると思はれるが結局六對四で慶リードするのではなからうか

棒高跳 全滿軍の書入種目である、三米四〇臺の記錄を有する慶軍に對し三米七〇臺の淺坂六〇臺の伊藤五〇臺の西田の三選手を有する全滿軍として順調に行けば九對一のスコアーであらう

四百米 慶五十二三秒臺の奈良を第一線に立て短距離の阿武(五十一秒臺)八百米の高西を配して奇襲に出ずるべく滿洲軍は新進選手多田八百の濱田を起用し老巧松重をこれに配するであらう、松重は最近非常なる元氣で練習タイム獨走で五十二秒七のレコードを出し岡部コーチ高橋監督等をして彼未だ老いずと驚かして居るから奈良阿武松重の競走は必ず五十秒を切るであらうと期待を以て迎へられて居る、結局六對四で滿洲勝つの見込

走巾跳 田中、桑田、岡星名等六米五十臺をシュアーにオーバーする全滿軍に對し慶坂本桑田を配するであらう、桑田は最近元氣なしとのこと坂本は六米五十臺を僅かにオーバーするに過ぎず六對四で全滿有利

高障碍 全滿の鶴岡の獨舞臺と思はれるが慶の中濱も十五秒八の記錄を有して居り全滿の山田星名中村等は十六秒八九の記錄しか有して居ないが結局鶴岡一二三等慶四全滿軍のものとなるであらう

八百米繼走 白熱的ゲームとなるだらうが結局ホームグランドの關係上順當に行けば滿洲軍の勝となるだらう

第一日豫想得點(一等四點二等三點三等二點四等一點)は左の如くである

	百米	砲丸投	千五百米	棒高跳	四百米	走巾跳	高障碍	八百米繼走	計
滿	5	2	4	9	6	6	5	3	40
慶	5	8	6	1	4	4	5	0	33

俠艷一代男（13）

米田華紅作　伊藤幾久造畫

神田祭の夜（十三）

土堤の柳、老樹に身が隱れてゐたので、加賀鳶の鐵太郎がそこに居るとは、その二人連は氣が着かぬらしく、ぺら〳〵と一人の方が頻りと喋り立てゝゐる。

聖堂の森近く、土堤に沿つた道を櫻の馬場の方へ向つて行く。

「神田明神の祭りで、下町はごつた返す賑やかさ、ちやんちき〳〵の馬鹿囃子で鄙れ返つてゐると云ふのに、ここはまた何と云ふ淋しい所でございましやうかね？明るい街から急にこんな暗い道へ出てきた故か、鼻を摘まれても判りませんよ。私一人では、幾ら錢金は身につけねえ按摩渡世でも、こんな無氣味な場所を通るのは眞平でございますよ。はい」

と、饒る言葉のはし〳〵に、どこか本音と見えるぞんざいな調子が見えた。

「本當に御苦勞なとでござるな」

浪人者と見える、尾羽打ち枯したとでも云ふか？見すぼらしい着流しに一本差し、髮を藁で束ねた年配の男が相槌を打つた。

「えへツヘ、、、。何のこれ位なこと！御近所に住まへばお互さまでございます。遠い親類より近い他人で、何かとまた御厄介にならねばなりません。それに仲間は盲目許り、目明きで按摩は私一人位ですからね。いつもお孃さまや旦那さまにお世話許り燒かして居りますよ。此度のことにしても、日頃お世話になるお禮心の積りで、えへツヘツヘ……」

「何の！、拙者たち親娘こそ常日頃、そち達が親切、身に沁みて嬉しく思ふてゐるが、昔に變る今の姿、禮も思ふ許りで致し兼ねてゐるのぢや」

物堅い浪人者と見え、眞情を籠めた聲に力があつた。

「とんでもねえことでございますよ、盲目長家は乞食長家と、世間から小馬鹿にされてゐました所へ降つて湧いたやうに旦那さまとお孃さまがお引越で、掃溜に鶴、夜が明けたとでも云ひますか？、盲目長家の連中も急に肩身が廣くなつた思ひで居りますよ」

「いや何かと、親身も及ばぬそち達が心盡し！、嬉しく思ひ居るぞ。娘ともこの頃では、渡る世間に鬼はないとは全くぢやとな、屢々物語りに致して居る」

「へえ！、そ、それ程までにお仰られては、本當にお有りがてえ位なもんで、盲目長家の奴等も、旦那さんが今のお言葉を傳へきかせやしたなら、感泣……でございやしたかね。その悦びにおい〳〵と泣くことでございましやうさ。旦那さまと云ひ、お孃さまと云ひ、お優しいお心根で、どうしてあゝ云ふお方が、こんな長家へ浪人なさつて、お苦みなさるんだらうて、ね。始終そのお噂はしてゐるんでございますよ。はい」

目明き按摩と自ら名乘る五十の上を越した男は、圓頂に鼠木綿の着物、裾短にチョキリと帶を後に結んで、手馴れた竹の杖を突くでもなく、高足駄は足癖と見え、乾いた大地をカラ〳〵と鳴さうに引き摺つてゐる。

「道玄さん！本當に今夜は御苦勞ぢやな」

と、浪人者は思ひ出したやうに禮を述べた。

「またですかい？もうお禮はお仰られえで下せえましよ、私もお孃さんが、日頃お出入りして、御贔負下さる石上さまのお邸へ奧勤めになられると思へば、幾らか今よりお樂が出來るお身分になられると思へば、こんな嬉しいことはございませんや。自分の事のやうに嬉しいんですよ」

「忝じけなうござる」

加賀鳶の鐵太郎は、目明き按摩の道玄とやらには何の知合でないが、浪人者の聲にどこか、聽き覺えの調子があつた。

「はてな？」と、二人連の行き過ぎるのを、柳樹の暗い陰から見送りながら腕を組んだ。

その時、河上の櫻馬場の方からすた〳〵と一人の御家人風な若い男が摺れ違ひ、遣り過ごしてから浪人者の肩先、後から拔き打ち、「えいツ！」と、斬りつけた

キネマと演藝

今夜から寶館開館　晝間は披露式

帝キネ映畫館となつて更生した寶館にては既報の如く館内を改造すると共にローヤル映寫機水銀整流機を購入する等、新陣容を整へつゝあつたが、この程全く準備なり今二日午後一時より各方面の關係者を招待して開館披露をなし愈々本日夜間興行より帝キネ時代劇特作品「江戸城總攻め」㊀現代劇「友愛結婚」を上映し華々しく開館した

松平長七郎

◇一代の不平兒徳川幕府の謀叛兒松平長七郎の旅日記である駿河大納言忠長卿の遺兒長七郎が、三代將軍の下に祿を食む事を潔よしとせず、其の無聊を慰める可く旅に出て、途中紀州公より舊臣下が長崎にあると聞き遂に長崎に到り幕下を集め大明に押渡らんとするが、幕府の法度に會ひ、結圖破れて死に就くと云ふ筋。

◇林長二郎の長七郎と聞いただけで惡くない響を直感する。そして事實惡くない。――つまり惡くないと云ふ事は長二郎の殿樣タイプの氣品と容貌がこの役にうつてつけであると云ふ事で、性格の曖昧さや、余りに型通りの歌舞伎好みの殿樣で、人間味が零であることなどを、今更言つてゐるのではない。

◇江戸出發前は動きが少いが愈々旅に出ると俄然陽氣になる、元來時代劇の旅日記は空想的な假構が自由なので、寫眞も樂にとれるし、大衆うけもするのであるが、此の映畫等はその點を最も明かに物語つてゐる、つまり初めと終りは舞臺くさく、ギコチないが中程―旅日記の所は明るく、輕く出來てゐる。

◇女賊夜嵐おきぬとの交渉、それから後段の長崎で浮橋太夫との交渉は、この寫眞を色つぽいものにする大切な道具であるが、何を感じてか至極あつさり片付けてある。思ふに撮影當初の意圖が半ばにして急に變更されたのではあるまいか。そう云へば下加茂程の歌舞伎ずきが長七郎傳記の附きもの、御用金三千兩奪ひ取りの場面までが、物語りの間に幻しとしてホンの一カット現はれるだけである。

◇監督を云々し、俳優を云々する等と云ふ手數は省きたい。何故なれば「猿飛佐助漫遊記」の昔から彌次喜多然り、彦左衞門然り、旅日記映畫は大衆にうけ、うければ儲り、儲かるから映畫會社はこれを奇貨として性懲りなく繰返すだけなのであるから【帝國館上映】

大日活の大衆興行「東京行進曲」と「沓掛時次郎」は果然人氣を呼びきのふの初日の夜は階上階下とも滿員の盛況▲今夜は土曜日だし寶館が開館し帝國館は「不壞の白珠」を再上映して第二回の大衆興行の替り日▲さアどこに軍扇があがるかと映畫雀の興味をそゝる夏枯時の變態的興行戰▲ところで大日活の「沓掛時次郎」を里見凌洋がシャベルものと思つてゐたら七月末限りで退館したとはアッサリしてゐる▲來る十一日神戸出帆のうらる丸で日活の俳優が來連するが、お宿は私の方へと、宣傳に拔け目なく大日活に申込み殺到▲成程スターを泊めて大連一の涼しいところとでも宣傳すれば効目があらうといふもの▲寶館では先着入場者三百名に今週上映のプロマイドを進呈する▲また今週のプロに井上技士、木村帝キネ事務員が仲良く肩をならべ、解說部には姫路、桂がイロハ順でならんでゐる

大連　JQAK

八月三日午後七時半

▲講話「角力の體育的價値に就て」今尾登

▲筑前琵琶「北條時宗」法暢山藤本旭嶺

▲尺八合奏「春風」一部、磯田汐山、小笠原介州、武田介陽、二部、貝通丸師山、荻野介幽、安田介浪

▲講談「女武士道」笑福亭作兵衛

▲支那唄「海潮珠」唄陳鼎子、師付王振泉

第九回滿日勝繼碁戰（井上氏三回勝四回目）

先二子番　高本吉郎氏　井上太市氏

●十八（十の處に劫提る）●二〇（一の處に粘ぐ）

○二一ツの四　●二二ヨの四　○二三ソの六　●二四ソの二

○二五ヨの七　●二六タの九　○二七カの六　●二八ヨの八

○二九への三　●三〇ニの六　○三一ハの十三　●三二ホの十六

○三三への十六　●三四ホの十五　○三五ニの十七　●三六ハの十七

○三七への十五　●三八ホの十三　○三九ハの八　●四〇への十四

▲都筑四段伊藤三段合評　白廿七は（い）に頂けて打たねばいけません黒卅二は（ろ）に尖む處です黒卅八は（は）に伸びるがよろしい白卅ルは（に）に出て黒（ろ）の時（ほ）に切り黒（へ）白（と）と打たねばいけません

—【3】—

實業之日本 八月一日號

◎政界・財界の大久保彦左！
仙石雷總裁と一問一答
浜口首相にも苦手の雷様とは如何なる人か？特別大觀物

◎卅二歳に廣告王
我國の廣告王博報堂主瀬木博尚翁が今日の大成功を語る出世傳

◎人力車夫から保險界の驍將
一ヶ月五十七萬圓の契約をとる明治生命の中曾根氏の手腕物語

◎便所掃除から青年實業家
今は東京地下鐵道會社の事業課長と納る中島孝夫氏の奮闘傳…

◎鐘紡卅五年奉公記
鐘紡取締役監督長正納氏が自ら語る奉公記は鐘紡王國の半面史

暑熱を忘れしむる處世訓
□資産家青年の行くべき途（增田社長）
□簡單なる人生觀（新渡戸博士）
□もう老人の出る幕でなし……鐘紡副社長 播爪捨三郎
□不能なしとする信念と努力……旭電化取締 磯部愉一郎
□新時代の三位一體（宗教、教育、産業）……本間俊平

不景氣の根本打開策

◎鐵道省の國産品使用の實績
（國産品使用に徹底せよ）鐵道大臣 江木翼

切拔の具體策
▼小賣商人の不況突破策 白木屋專務 山田忍三
▼事務能率の增進と投資 帝國生命 名取夏司
▼同業團結の力で…… 千疋屋店主 齋藤政義

◎經濟難局の對策評（高城慶大教授）

◎難局會社を引受けた人々
鹿村富士紡專務…田上大分セメント專務…五十嵐東電常務…

著しく減つた重役賞與（利益減で重役諸公が大恐慌）

ムツソリーニを語る　横山大觀

▼會社法の改正案（問題と解說）▼會社ナンセンス▼川ばた柳
▼返り咲いた十河信二君（記者）▼紫話屋もの語り▼女新商賣
▼茶　簡　茶　後（奎城生）▼財界ナンセンス▼會社通信

◎夏の疲勞回復法（森田博士）
征暑的執務法（高田博士）
◎丈夫になる爲の日常胃腸教育（河合ドクトル）
◎恐しい赤痢と疫痢の豫防法（井口防疫課長）

價參拾錢 送料壹錢五厘
東京 京橋 實業之日本社（振替東京參貳六番）

大理石の御用は

內田石材店大理石部へ
南滿大理石工場
工場電九九三〇・自宅電七七四〇番

樽は吉野の甲附樽よ
酒は伏見の高級銘酒

エイクン

大連 辻利ビル內

呑めや愛酒家
エイクンを

電話三三八七・四七七六番

新天地

銷夏の好伴侶 八月號出づ

主張と批判
昭和製鋼所は何處に？ 在外法人の登記問題 消費組合撤廢すべきか 間島事件と歸化問題　田口康信

新日本建設の一道　山田武吉
關東州の特異性　山口塡一
銀暴落の支那經濟への影響　船橋半山樓
時事展望　支那の動き　世界の動き　高橋源一

健康に善良にあなた方の子女をすくすくと育てたい
青年子女中心の座談會
出席者
羽衣高女校長 高内半歳氏・滿洲體協主事 林田學氏・大連警察署 千藤井筆三氏・神明高女校長 村井榮藏氏・一中校長 内村四郎氏・滿鐵衞生課長 金井章次氏・滿洲日報記者 青山捨夫氏・神明女教諭 片岡蕗子氏・早苗小校長 重松與八氏

スナップ　滿鐵新理事の横顏　筑紫二郎　啞蟬坊
涼味橫溢興味深々隨筆滿載
則作　廣き道へ　ビービク作　松野榮譯

大連市楠町七四
新天地社
電話七八二二番・振替大連三四四四番

気の利いた
飾裝と貝家は

カーテン・敷物
ブラインド・リノリーム
壁紙・其他
商店陳列設計

大連伊勢町滿銀前
滿蒙工業會社
電話八六九七番・振替大連一一三〇九番

業務
物品販賣業、問屋業、運送業、保險並に船舶代理業、造船業及附帶事業

滿洲出張所所在地
牛莊、安東縣、奉天、長春、哈爾賓

取扱品目
滿洲特產物、麥粉、石炭、コークス、鐵道用品、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、蔴袋、木材、硫安其他化學肥料、酒精其他工業藥品、金物鑛石類、織物類、鹽、海產物、砂糖、罐詰類、カルピス其他食料品

三井物產株式會社大連支店
大連市山縣通百八十二番地
電話代表七一〇一番

連鎖商店街に
靴製造部新設

理想的な靴が出來ました
品質も價格もお客樣に御滿足を願へるものと信じて居ります

大連連鎖商店街常盤通
清水履物商店
電話二二二八番

製品
鐵道車輛、鐵道線路附屬品及信號裝置
鐵橋鐵桁、鐵骨家屋、豆油容器、暖爐類

要目
汽罐、汽機煙突、各種機械類、設計、製造、据付
鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並眞鍮鑄物、酸素瓦斯

株式會社 大連機械製作所
本店 大連市沙河口臺山町
電話（代表共通番號）（夜間及長距離）九二一五一・九二一五二番
支店 奉天西塔大街三丁目
分工場 電話二一〇三番

花王石鹸（カオーセッケン）

東洋第一

その販路……
その品質……
その聲價……

東洋第一の石鹸工場も盛り上る需要の壓力に應じきれなく工場設備の改善擴張に着手しました　いよいよ品質の向上を實現いたします

生活が要求し決定する標準は結局如何に良いか如何に安いかの二點てす　大衆的に出來上つたその答案が花王の實力てす

品質本位

東京　花王石鹸株式會社長瀬商會　大阪

社說

估券を落す千萬丈

長沙事件は支那の現實暴露

支那の國情に共産主義などといふものが合ふか否か、すこぶる疑問、否、問題とするまでもないことと思ふ。だから私共は、共産黨なるものに對しては餘り多くの關心も憂慮も持たぬのであるが、それが土匪だといふことになると、これを厄介千萬とせぬ譯に行かぬのである。尤も、その土匪なるものが正規軍以上の規律を守るやうになり、地方の勢力として治安を維持するやうになれば、それにて結構なのであるが、それも覺束ないこと。もと〳〵支那の歴史を顧みると、大抵、地方の土匪が大きくなり、豪族となつて勢力を擴大すると易姓革命を行つて來た。だから土匪といへども支那では、なかなかバカにならず、今の新舊軍閥なども、この點になると五十歩百歩の出身であり、正邪官賊の區別は力量如何にありといはねばならぬ。

◇

湖南、江西の地方に割據し、つひに長沙を占領した共産共匪、これに共産主義なるものを冠することすら少しく變挺であり、却つて普通の土匪を以て取扱ふことが適當かも知れぬが、名は兎もかくとして、九江や武漢までも危險であるといつては捨て置くことは出來ず、支那としては勿論、外國としても無關心でゐる譯には行かぬであらう。といつても吾人は、支那人などが心配してゐるやうに各國の共同管理の下に支那を置かねばなどと叫ぶるものではないが、ただ土匪として國民政府は勿論、北方の政權として餘所事の如くに鑑みて他をいはんとする態度はわれらの最も慊らぬところとせねばならぬ。土匪の頭に冠するに共産を以てするだけにても烏滸の沙汰といふべく、國民政府も北方政府も、また他の地方の官憲も、この強大なる土匪の兇暴に對し、共同の敵として鎭定するの義務あることを忘れてはならぬ。互ひに責任の塗り合ひをなし、却つて彼ら土匪をして漁夫の利を占むるが如きことあらしめてはならぬ。

◇

とにかく支那は、今次の長沙事件の土匪暴動により、その現實を全く暴露したものといはねばならぬ。正規の軍隊を擁する國民政府に治安維持の力量なく、湖南、江西、湖北、福建數省にわたり土匪の横行闊歩に委して手も足も出し得ぬといふことは、蔣介石氏や王正廷氏らが何といふても、支那の現實暴露を如實にやつたものと見ねばならぬ。そこには國民革命もなく南北の統一もなく、否、一地方の維持さへ出來かぬる實に微弱惨憺たる實情にあることを暴露したものといふべく、あるひはこの問題は損害賠償ぐらゐで解決せらるるかも知れぬが、支那自國としては、もつと根本的な革命建設途上の重大問題といはねばならぬ。否、革命建設どころでなく、單なる現狀維持の治安維持さへ出來ぬとあつては二十年以來、今日まで新々努力して來た孫文の三民主義が泣き出すであらう。

◇

それは兎もかく現實の支那は誰が何といふても長沙事件でもある位日常の茶飯事ともいふべく、かくの如き事件は寧ろ時異のことではなく、むしろ年中の行事ともいふべきであらう。かかる現實の支那に對し從來、半可通の歐米人などが抽象的の觀念に囚はれ、ヤング支那などと稱し、これを近代的國家を以て遇せんとし、例の不平等條約の撤廢などにも特別の關心も持つものもあつたやうであるが、今日、長沙事件の如きものを以て現實を暴露するに至つては、それが餘りにもバカ〳〵しくあつたことを感ぜずには居れぬであらうと思はれる。ここにおいて最近、歐米人などの間には盛んに共管論の唱へらるるに至つたのも、あながちゆゑなきにあらずである。蔣介石氏や王正廷、さては汪精衛、閻錫山、馮玉祥氏らが、この儼乎たる支那の現實暴露を何と觀てゐるであらうか。支那の南北統一、革命達成、それが蔣氏らの武力主義ぐらゐのものにて完結されるほど簡單のものでなく、また汪氏らの黨を以て云々ぐらゐのことで横行する土匪一ッ討伐鎭定し得るものにあらざることを知るべきである。何といふても、今次の長沙事件は國民政府の估券を下落せしむる千萬丈なりといはねばならぬ。

武漢を狙ふと共に南昌方面を襲撃の計畫

魯江西省主席は逃亡の準備

共匪の不安つのる

【上海特電一日發】長沙事件につきその筋でその後調査の結果、わが領事館の公館燒き拂はれ事務所の建物だけ殘つてゐること判明したが、共産軍の長沙における暴虐とその後傳へられる漢口、南昌、九江等の各地方も砲撃計畫說とは長江沿岸一帶に絶大なる不安を與へてゐる。漢口にては目下警戒を厳にしてゐるが中央憲兵隊一千、軍官學校學生軍八百、公安局保安隊三千あるに過ぎず平漢線南段における共産軍二千が長沙より南西方面渡江にて武漢に侵入すべしとの說傳へられ現金を隱匿するものの家族をまとめて市外に避難するものの續出人心極度に不安に陷つてゐる、また南昌における軍憲當局にては長沙に行つた共産軍は更に南昌地方を襲撃する計畫ありとの報に接し江西省政府主席魯滌平氏および南昌市長等はその家族を九江に避難せしめ魯氏は特に一列車を抑留して逃亡の準備をととのへてゐるので九江方面へ避難するものの續出してゐるかくて江西湖南湖北の各地に散在する共産軍の策動及び軍隊の手薄と相俟つて不安はいよ〳〵增大しつつある模樣である

新政府樹立協議

【北平一日發電通】汪精衛氏は閻[illegible]旨報告し零時十分散會した

武漢保安隊の武裝を解除

共産軍の魔手伸びる

【漢口一日發電通】武漢當局は昨夜十時突如全市に於ける公安局保安隊六千名を武裝解除した右は長沙の共産軍と策應して漢口市内で活躍中の便衣隊の魔手が保安隊の買收煽動に迄伸びたためである

長沙の共産軍下流に移動

英艦テール號を砲撃

【漢口一日發電通】長沙下流方面に移動を開始せるものごとく形勢益々重大化して來た尚二日の地點に碇泊中の英艦テール號は昨日午後共産軍より野砲を以て攻撃され艦體に損傷を蒙つた外同艦の負傷を出した模樣である、これによつて見ると長沙の共産軍は下流方面に移動を開始せるもの…見艦長發電によれば長沙城内並に中の島の邦人住宅建物は全部掠奪された事瞭かとなつた

長沙事件を幣原外相が報告

定例閣議で支那時局

【東京一日發電通】一日の定例閣議は濱口首相以下各閣僚全部出席幣原外相より長沙事件に關し新聞報道の通りであつて邦人の生命に危害を受けた者はない、燒かれた日本領事館は放火が原因であつて日本人に關する限り同事件は左程重大とは思はれぬが共産軍の蜂起したる同地及將來の戰局進展の模樣については頗る重大視すべきである。共産軍は第三インターナショナルと連絡有るやに見たるが、兵卒に至つては全く土匪に過ぎぬ、而して今回の事件に對して帝國政府としての善後交渉に關しては事件判斷を待ちこれを行ふが適當なりと思考するから暫く留保し只右事件の勃發に對し重光代理公使をして國民政府の注意を喚起し速かに適當の措置を講ずるやう申出でさせた、と報告し、次で財部海相より第一遣外艦隊司令官は長沙事件に關聯して漢口も危險なりと認め上海より陸戰隊約一中隊を浦風にて急行せしめたが三日着く豫定である、漢口居留民は約二千二百餘名でこれを保護するため浦風の外平戸、安宅、堅田を漢口に行くやう命令したと報告し更に阿部陸相代理より北方政府成立に關し報告あり各閣僚間に支那の時局に關する意見交換あつたが、幣原外相は共産軍の蜂起は支那南北の戰局に重大な影響を與へ南京側に相當不利なる狀勢を呈するに至りはせぬかと述べ最後に安達内相より全國農會代表者等の陳情に鑑み、一、失業救濟のため各地方團體の起債は條件を緩和する方針である、一、農村に於て租稅延納又は不納の他不穩行動に出ることを煽動する者は嚴重取締る

韓氏援軍を得て下野通電を取消

濟南再び危險となる

【北平特電二日發】中央軍第九十三師六千人は一日青島に上陸したが韓復渠氏は右應援軍を得てより遽に下野通電を取消し山西軍と戰ひを続す事に決し、濟南は再び危險となつた

韓復渠氏に下野慰留

蔣氏、馬氏を急派

【濟南特電二日發】韓復渠氏は五ヶ團の衞兵を率ゐて維縣の東北へ逃走したが蔣介石氏は馬鴻逵氏を急派して目下下野を慰留してゐる韓氏下野の原因は正面から山西軍に壓迫された右翼に在つた高桂滋、劉珍年兩軍が急に反蔣派に加擔した爲めである

（…）閻錫山、馮玉祥氏と會見のため鄭三日中に出發南下することとなつた、が來る七日の正式會議までには歸平の豫定である、從つて右正式會議は三巨頭が政府問題その他を膝突き合して商議した後とて一瀉千里に解決し新政府樹立を見るべく豫想されてゐる

任海軍大尉　敍正六位勳六等授旭日單光章　海軍二等航空兵曹　津久井金四郎

任海軍一等航空兵曹　敍勳八等授白色桐葉章　記後　清盛

顧維鈞氏の赴平

奉天派を背景として外交總長に就任か

【奉天特電二日發】顧維鈞氏は一日夜北寧線で北平に赴いたが途中葫蘆島にて張學良氏と會見する筈である、氏は表面私用で赴平するのだと稱して居るが過般來張學良氏を背景として北方政府の外交總長に擬せられて居ることでもあり政界復活の可能か否かを觀察する爲めであらうと觀られて居る

王家楨氏葫蘆島へ

【奉天特電二日發】王家楨氏は一日葫蘆島に向つた

製鋼所運動報告會

安東公會堂で

【安東特電一日發】昭和製鋼所新義州設置運動のため上京中の顧ノ口鬪會頭は三十一日午前六時十五分着列車にて歸安したがその報告會を午後一時から公會堂に開いたが、安東市民の期待してゐる大問題であるため定刻ホールは人をもつて埋まつた、先づ荒川會頭の挨拶あり次で顧ノ口鬪會頭は疲勞の中にも喜びの色を湛え登壇し先づ安東市民の間接的援助を謝し上京後の運動經過を約一時間半に亙り報告した最後の問題は新義州に有利に展開してゐる模樣であるが將來如何に變化するかも判らぬから今後とも市民諸君の御後援を期待すると結び八時五分閉會した

殉難者敍位敍勳

【東京二日發電通】過き邊では三十一日館山灣における海軍飛行機墜落の際慘死を遂げた小野少佐以下に對し左の如く敍位敍勳の御沙汰があつた

海軍少佐從五位勳五等　小野虎太郎

任海軍中佐　敍正五位勳四等授旭日重光章　海軍中尉從六位

反蔣派三巨頭會見

來る十日新鄕驛に於て

【濟南特電二日發】閻錫山、馮玉祥、汪精衛氏の會見は平漢線新鄕驛において八月十日行はれることに決定した、閻氏はこれが爲め一日滄州から自動車で石家庄に歸つた

浦鹽近情

新産業計畫一般は反對

在留邦人は四百五十名

緒方浦鹽領事語る

【ハルビン特電二日發】浦鹽から一日來哈した緒方領事と日露漁業田中丸代表は同夜廿二時半發列車にて歸國した、緒方氏は語る

ロシヤ官憲にルーブル事件で拘禁された日本人は豫審を終はり哈府外交代表の手に移り近く解決する、ロシヤの法を犯したので抗議餘地無く希望を述べた、本件は駐日ロシヤ大使と外務省が交渉し身柄は政府が引取るらしい、沿海州、蘇城炭礦の暴動說は一時流布されたが現狀を日ぬから知らぬ、浦鹽は平穩だ、物資の缺乏して居るのは事實だが、五ケ年産業計畫は輸入を一切禁止し、輸出に依つて對外爲替を決濟して居るので、仲びんが爲めの積極的節約だからこちらで噂されるが全露は知らず沿海州は全然反對だ、沿海州には日本人は約四百五十名居る國營貿易のロシヤで邦人だけ米醤油、砂糖の個人輸入を許して呉れて居る、支那人は約二萬、日本人の時計、洗濯屋等で忙がしい、大部分は會社銀行員、朝鮮人は先祖からの

歸化人は 重要位置を占めて居る、國外に逃げるものはあらうがソレはコルホーズに反對の政治的主義の違ふものだからそれを以て五年計畫を悲觀するは當らぬ、第十六回黨大會で議された極東管區オクルーガ縣オーブラスチイを廢止しライオン郡に改める農村と中央の接近を圖る行政組織の改革は實行され十月一日には施行される、その九割の人員はライオンに配置され失業者を出ださぬ方針だが成功した地方もあるへ、その他漁業、林業、築港、港灣改革、市政、住宅改造等の爲めロシヤでは失業者どころか勞働者が不足して居る景氣だ

哈府の漁業交渉成績

田中丸氏語る

哈府の漁業交渉は

一、八時間勞働を六時間とした

二、日本人漁夫一萬三千、ロシア人七千に對し三百個所に散在せるものに五十數名の醫師を配置し醫療設備をすること、これはロシアの社會保險制に依り雇主が勞働者收入の三分を支拂ふ中八厘を以て日本が管理實行すること

三、漁獲標準高の増加は日本の希望を大體容認した

その他漁區問題等は審議省に關しモスクワにて行はれ哈府はその權限なしと日露漁船の衝突は年中行事だ

奉天華商が今後大阪と取引中止

在滿邦商に重大影響

【奉天特電二日發】支那側財界は銀價暴落により異常なる慘狀を呈し就中東北省の打撃甚だしく破産者續出し華商が金本位契約の危險なることを認め漸次銀本位に改正してゐる、これがため從來大阪方面との交易を上海方面に改めんとしてゐるので東北省駐在邦商内日支貿易上重大問題として目下寄々協議中であるが上海との取引が開始後大阪方面には大した直接影響はないらしいしかし當然邦商側には相當影響あるらしいと

奉天支那側の電話工事

【奉天二日發特電】支那側電話局の自働電話架設は着々進捗し既に地下線の埋設を終り目下架空線の

關東軍異動

【東京一日發電通】關東軍の辭令は左の如く發表された

補歩兵第三十三聯隊長　歩兵大佐　長岡壽吉

歩兵第三十七聯隊大隊長

陸軍定期異動は進級轉補四千名

待命合計三百八名

【東京一日發電通】今回の陸軍定期異動は進級轉補を合して約四千名に及び其の中進級は中將同相當官十九名少將同相當官六十四名大佐同相當官百五十名中佐同相當官三百七十三名少佐同相當官四百九名大尉同相當官四百十二名待命は合計三百八名で中、中將同相當官十五名少將同相當官四十二名大佐同相當官七十九名である

轉補

補參謀本部附　少將　稔彦王

補歩兵第五旅團長　歩兵學校長　中將　山本鶴一

補第十六師團長　砲兵監　中將　坂部十寸穗

補第三師團長　運輸部長　中將　木原清

補第十二師團長　獨立守備隊司令官　中將伯爵　寺内壽一

補第五師團長　野戰砲兵學校長　中將　室兼次

補第二十師團長　參謀本部第三部長　中將　廣瀨壽助

補運輸部長　歩兵第一旅團長　少將　沖直道

補參謀本部第三部長　少將　梅津美治郎

補歩兵第一旅團長　砲工學校長　中將　大椙[illegible]

補砲兵監　重砲兵學校長　中將　石川潟三

補砲工學校長　砲兵監部附　少將　井上[illegible]

補重砲兵學校長　少將　郷[illegible]

補砲兵監部附　技術本部總務部長　中將　西[illegible]

補野戰砲兵學校長　造兵廠總務部長　少將　中島[illegible]

補技術本部總務部長　陸軍歩兵學校教育部長　少將　原田[illegible]

補陸軍歩兵學校長　陸軍大學兵學教官　少將　筒井正雄

補歩兵第二十一旅團長　佐世保要塞司令官　少將　鐵山[illegible]

補陸軍歩兵學校教育部長　歩兵第三十旅團長　少將　香月淸司

補陸軍大學校兵學教官　少將　今井信夫

補歩兵第三十旅團長　中將　藤田鴻輔

補下關要塞司令官　歩兵第十五旅團長　少將　井上璞

補近衞歩兵第二旅團長　第十六師團司令部附　少將　福島格次

補歩兵第十五旅團長　第十一師團司令部附　少將　鎌田彌彦

補臺灣守備隊司令官　歩兵第四旅團長　少將　平塚直已

補第十二師團附　少將　中屋良雄

補佐世保要塞司令官　歩兵第十二旅團長　少將　青木政喜

補第三師團附　少將　古川三郎

補第十二旅團長　少將　松浦淳六郎

補第九旅團長　少將　三宅一夫

補第五旅團長　第十六師團司令部附　少將　蜂須賀喜信

補第十六師團司令部附　下志津飛行學校教育部長　少將　堀丈夫

補航空本部補給部長　少將　飯島昌藏

補騎兵第二旅團長　少將　山田乙三

補騎兵學校教育部長　少將　伊東政喜

補重砲兵第一旅團長　少將　高橋佐太郎

補科學研究所第二部長　少將　前原宏行

補歩兵第六旅團長　少將　黑須辰之助

補工科學校長　少將　福田袈裟雄

補歩兵第十四旅團長　少將　田代皖一郎

補歩兵第二十七旅團長　少將　山田卯三男

補對馬要塞司令官　少將　秋山米吉

補基隆要塞司令官　少將　下元熊彌

補歩兵第二十四旅團長　少將　高木尙右

補舞鶴要塞司令官　少將　和田秀衞

補津輕要塞司令官　少將　小磯國昭

補軍務局長兼軍事參議院幹事長　兵器本廠附　少將　林桂

補陸軍省整備局長　歩兵第三十九旅團長　少將　西尾壽造

補陸軍兵器本廠附　少將　嘉村達次郎

補第三十九旅團長　少將　大江亮一

補航空本部檢查部長　近衞師團附　少將　山崎定義

補歩兵學校附　軍務局長兼軍事參議院幹事長　中將　杉山元

免本職並兼職　中將　杉山元

任陸軍次官（一等）　主計監　松野一義

補第五師團經理部長　第四師團軍醫部長　軍醫監　小山憲佐

補朝鮮軍々醫部長　第十二師團軍醫部長　軍醫監　田島清十郎

補第四師團軍醫部長　第七師團軍醫部長　軍醫監　朝倉重敏

補第十二師團軍醫部長　第二師團軍醫部長　軍醫監　中山直秀

補第二十師團軍醫部長　第十一師團軍醫部長　軍醫監　齋藤龍雄

補大阪衞戍病院長　第十九師團軍醫部長　軍醫監　山本幹雄

補廣島衞戍病院長

補關東軍司令部附　歩兵少佐　花谷正

關東軍司令部附　歩兵中佐　森岡皐

補歩兵第四十六聯隊附　歩兵第二十聯隊附　歩兵少佐　鈴木亮

補福知山聯隊區司令部々員　歩兵少佐　濱田久壽

補第二十聯隊附　歩兵第卅八聯隊附　歩兵中佐　豊岐滿志

補歩兵第卅三聯隊附　陸軍歩兵學校附　歩兵中佐　西村敏三

補第十六師團參謀　歩兵第九聯隊大隊長　歩兵少佐　飯野賢十

補陸軍歩兵學校教官兼研究部員　陸軍兵器本廠附　歩兵少佐　伊佐一男

補歩兵第九聯隊大隊長　關東軍幕僚附　歩兵少佐　堀内一雄

補第九師團參謀　歩兵第三聯隊附　歩兵少佐　萩原直之

補獨立守備隊歩兵第九大隊附　關東軍司令部附旅順工科大學　服務歩兵大佐　中村半之助

補歩兵第十聯隊長　歩兵第九聯隊附京都府師範學校服務歩兵中佐　井上政吉

補歩兵第三十三聯隊附　歩兵中佐　田中清一

補關東軍司令部附旅順工科大學服務

補陸軍工兵學校教官兼下志津陸軍飛行學校教官　旅順要塞司令部參謀　工兵少佐　加藤恰三

補旅順要塞司令部々員　近衞工兵大隊附　工兵少佐　仲野英二

補大阪工廠器材製造所長　關東軍兵器部長　砲兵大佐　德田凍雄

補關東軍兵器部長　高射砲第一聯隊長　砲兵大佐　倉崎淸

補重砲兵大隊附　下關重砲兵聯隊大隊長　砲兵少佐　野口福藏

補旅順要塞司令部參謀　陸軍砲工學校教官　砲兵少佐　松下金雄

補第九師團經理部長　第十六師團經理部々員　二等主計正　萩阪嚴比古

補第十六師團經理部々員　近衞師團經理部々員　三等主計正　中塚繁太郎

補陸軍被服本廠員兼經理局課員　二等主計正　石原通

補關東陸軍倉庫長　第十師團經理部々員　三等主計正　伊藤義熊

補關東軍經理部附　關東軍司令部附　三等主計正　伊藤久

補第三師團經理部附　關東陸軍倉庫附　三等主計正　佐藤勇助

補關東軍司令部附　獨立守備歩兵第四大隊附　三等軍醫正　水野直

補篠山衞戍病院附　大阪衞戍病院附　三等軍醫正　鮎川克已

補遼陽衞戍病院附

條約答辯方針懇談

【東京二日發電通】小林海軍次官は二日午前九時四十分濱口首相を訪問し樞府精査委員會に於ける答辯方針につき一時間に亘り懇談した

拓務記者滿洲視察

【東京電一日發】滿鐵擔任記者團拓務經濟俱樂部員松村（時事）津田（報知）有坂（讀賣）の三氏は一日夜東京發、二日神戸出帆の香港丸にて大連に向つた、約二週間滿鐵沿線その他滿鮮各地を視察する豫定であると

架設中であるが八月一日より受話機の取附けに着手し第一に各官廳次に官吏住宅商店の順序で取つけ二ケ月後には通話開始の豫定である

關東廳辭令（卅日附）

任關東廳屬　今野龜道

錢鈔

定期後場（單位錢）寄付　高値　安値　大引

期近　五六五　五六〇　五六五　五六〇

出來高　期近　六十萬圓

鈔物後場（單位錢）銀對金　銀對洋　金對洋

一時半　五六〇　一七一〇　一〇五五

二時半　五六〇　一七一〇　一〇五五

出來高〔銀對金　一萬九千圓　銀對洋　二千圓〕

商品

後場

綿糸（保合）

銘柄　約定期　値段　柵數

福助　十一月限　一一七〇　二〇

出來高　二〇柵

麻袋（出來不申）

神戸長館（一日）

大豆現物　五五〇

先物　四五〇

豆粕現物　一五一

先物　三〇〇

特産小麥　四四五

豆油現物　一八八〇

大阪期米

限	後場寄	後場引
八月	三一七九	三一七六
九月	三〇五一	三〇二七
十月	二八二〇	二七八七

神戸期米

限	後場寄	後場引
八月	三一五八	三一三〇
九月	三〇五九	三〇三八
十月	二八〇〇	二七七九

東京期米

限	後場寄	後場引
八月	三一九八	三一九九
九月	三一二〇	三〇八三
十月	二九一九	二八五〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	不申	六三一
鐘紡新	四九六〇	四九三〇
日糖新	一三二四〇	一三二〇〇
郵船	五八四〇	五八一〇
大新	不申	四一三〇
東新	不申	不申
東[illegible]	九一八〇	九一五〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株新	一〇四七〇	一〇四九〇
東新	九一八〇	九一七〇
品	六五〇	六五〇
中	不申	不申
先	不申	不申

東京株式（短期）

豆信當、中、先（不申）

豆新當、中、先（不申）

五品

	寄	引
値	不申	東新 九六〇
値	不申	九二〇
高値	六七〇	九一七〇
安値	六五〇	九一二〇

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
八月	一三〇六〇	一三〇〇〇
九月	一三一三〇	一三一〇〇
十月	一二九九〇	一二九三〇
十一月	一二八九〇	一二八一〇
十二月	一二八五〇	一二七八〇
一月	一二七九〇	一二六四〇
二月	一二八一〇	一二六〇〇

滿日地方版

奉天

醫大巡回診療院 愈よ出發す
職員、市民に送られて

滿洲醫大第七回巡回診療班一行十二名は北浦教授引率の下に八月一日午前八時稻葉學長その他職員多數市民等に送られて愈々診療の途に着いた

◇

一行と百個の用度品は六臺の滿鐵馬車又はアンペラ張りの詰めて粗末な馬車に分乘され巡回診療班の團旗を先頭に日章旗と赤十字旗をかゝげ新民街道を新民府に向つた

◇

新民、彰武、哈拉套街、綏東、東ヘラウス、博王府、小城子、法庫門等行程總て百餘里である、是等を僅か三週間で突破し診療を行つて來るといふのであるから仲々容易な事では出來ぬ

◇

途中驟雨が來やうが道路は泥土と化しやうが降つても照つても毎日々々ガタコロ〳〵目的地へさしては進み着いては診療を行ふ時には支那人と起居を共にしパンをカヂツテ滿鐵馬車で夜を明かす事もある……これ各支那村落における村民のためは勿論我が醫學を田舍の片隅に至るまで紹介し普及を圖ると云ふ重大使命がある

◇

かうした重任を負ふた一行はあらゆる艱苦と戰ひ危險を冒して診療に赴いたのである、一行は人知れず涙ぐましい努力を續けることであらうが又一行のため健康と成功を祈つて已まないものである（寫眞は出發における診療班の一行）

奉天獨自の立場から 製鋼所問題要望
けふ市民大會を開く

奉天新聞通信聯話會の提唱に依る昭和製鋼所鞍山設置を目標とする奉天全市的運動の機運はその後大いに進行し遂に一日午後七時に公會堂樓上にてこれに關する商工會議所、地方委員會、居留民會、町內會、聯話會の聯合會が開催さるゝに至つた、先づ田商議會頭の諮議に依つて代上田統氏を座長に推し、座長席に就いて

一、宣言及決議を發表すること
二、演說會を開くこと
三、關東長官及滿鐵總裁に陳情すること
四、會長に藤田商議會頭、副會長に守田民會長、幽尻地方委員長兩氏を推すこと
五、等を決定し次いで演說會の辯士選定その他細目を協議し九時散會した、以上の如く當日の市民大會の發起者は奉天各團體を全部網羅してゐるので完全に全市的運動と謂ふべく近年稀に見る盛況を呈するであらう

聯盟野球 組合せ

州外聯盟野球大會は二日から開始されるが一日午後二時から地方事務所において主將會議を開催の結果二日午前十一時入場式を擧行し左の組合せでリーグ戰を行ふことになつた

	正午	四時
第一日	撫順對長春	奉天對安東
第二日	撫順對奉天	長春對安東
第三日	長春對奉天	撫順對安東

理髮師の待遇問題
圓滿に解決す

既報奉天理髮組合の助手のみで組織されてゐる親和會から待遇改善とあつて體育修養研究等の點から今後毎日曜の午後五時から休ませて貰ひたいとの要求を組合側に提出し若しこの要求が容れられない場合は同盟休業の態度に出づべきことも申合せたといふので形勢不穩の空氣が漲り一方組合側でも親和會員がその不穩の擧に出でた場合に處すべき斷乎たる肚を定めてゐたので三十一日午後十時から浪速通だるま軒で行はれた兩者代表の會談はそ

吾等の町を語る 四平街
粟の代表的集散地
複雜な其の取引方法
四平街商工會議所長 宮內虎雄氏

わが警官に 支人群衆暴行

町の便り

滿鐵苦力宿舍へ 十數名組の强盜
六百餘圓の金品强奪

長春

伏水軍大勝す
リーグ戰準決勝戰

近く着工の 武道場
演藝館も兼る

街頭公論

高木大隊長 昇進し榮轉

並松巡査部長 安東へ榮轉
後任は佐藤氏

賑はふ夜店

安東

茅根警部榮轉
朔州署長に

大岩府長歸任

木材商打開策協議

金剛寺の托鉢

鐵嶺

けふ運動場開き
午後から支那側と陸上競技戰

柔道部選手 四平街へ遠征

横断車に觸れ即死

大石橋

青物市場
野菜値段の調節が取れる

匪賊警戒に 支那軍移駐

附屬地の 夏季警戒

國調役員 參與員以下任命

四平街

惡疫警戒
接客業者の設備

簡閱點呼執行

五人組辻强盜

遼陽

西門外に匪賊
金品を掠奪し
人質三名を拉去して逃走

輪組家族會

俳優の自殺未遂

開原

兒童に注意

撫順

けふプールで 河童連の跳躍
變つた種目澤山で
オール撫順水泳大會

人事係に 社宅の配給
規定を作り公平無私に

五圓の僞紙幣

新案冷却煽風機
兒玉、奧野の兩氏が發見し
試驗の結果頗る良好

怖い石炭の自然發火に

州外優勝刀爭奪戰の 出場選士決る
十七日奉天道場に於ける血戰

早大劍道部 陣容
卅日來撫

鞍山

社員倶樂部新築入札

養鷄の講話會

九州並中國地方及朝鮮 風水害義捐金募集

今次九州並中國地方及朝鮮に於ける大暴風雨は各地に稀有の慘禍を與へ多數の罹災者は苦熱灼くが如き炎天の下に住むに家なく食ふに糧なき悲慘なる狀態にして眞に同情に堪へず依て吾等相謀り左記に依り義捐金を募集し救護の一端に資せむとす大方諸君奮て御賛成あらむことを

義捐金募集方法

一、義捐金は大連市役所に於て受付を爲す
二、義捐金は一口五拾錢以上とす
三、寄附者の芳名は滿洲日報、大連新聞に廣告し受領證に代ふ
四、募集締切期日は八月三十一日とす
五、義捐金の處分方法は發起人に御一任のこと

發起人（氏名不同）

大連市長	田中千吉	滿洲日報社長	高柳保太郎
大連新聞社長	寶性確成	區長	松田満三郎
區長	小島鉦太郎	區長	野村吉宗
長崎縣人會副會長	立石保嚮	福岡縣人會長	村井啓太郎
鹿兒島縣人會長	上村哲彌	熊本縣人會長	竹田菅雄
佐賀縣人會長	辻慶太郎	宮崎縣人會長	佐藤至誠
沖繩縣人會長	玉城喜四郎	大分縣人會長	小田斌
山口縣人會幹事	藤田秀助		

大西洋に泛ぶ 巨船の大衆化

遊覽旅行や外客誘致に ▽…歐洲各國の施設

四面環海の國に生れながら、日本人は船に親みを持たない、せめて夏だけでも盛に船の旅行をして貰ひたい、そうすれば船會社もいくらか助かる、この機會にアメリカ人がヨーロッパへ出かける有樣を書いて見やう、殊にヨーロッパへの旅が如何に大衆化されて來たかを――この點は日本も考へなくてはなるまい。

旅行シーズン

毎年五月十五日から七月十五日頃まで――これがアメリカ人のヨーロッパへ出かけるシーズンで、船賃も一割から二割五分ぐらい高くなる、八月十五日頃から十月十五日頃になると、ヨーロッパからアメリカへ歸るお客で船は一杯になる。

無階級の船舶

船會社は段々とヤンキーの趣味嗜好に合ふ新設備を施すやうになつて來た、フランスの最大モーター船、ラファイエット號(二五、〇〇〇トン)などの船室にもシアワー・バスを設けてゐる、此の船には一等とか二等とかいふ階級制度がない、室次第で一人百六十五ドルといふやうな安いのから、二室のスート・ルームにバス附で一千六百五十ドルといふやうなのもある

佛國の贅澤船

フランスの贅澤船にイル・ド・フランス(Ile de France――四三、一五三トン)がある、一等バス附き二百九十五ドルから高いので千三百二十ドルまである、五人連れ一組のお客に對し別室の客間と食堂のついた素晴らしいものを提供してゐる、それにバス付き寢室が四つあつて、一切で四千五百ドルである、アメリカ人はフランスの船を喜ぶ――と云ふのは船內を飾ふ異國情味、明るい感じのするモダンな裝飾うまい酒(これはアメリカ人にとつては禁斷の實)――かうしたものに憧れてゐるからである。

パリへパリへ

ヨーロッパへ遊びにゆくアメリカ人はフランスへ行くパリが即ち彼等のフランスである、ヨーロッパの大戰に參加したアメリカ人は今一度パリへと希つて居る、忘れがたい思ひ出でもあらう、本年はアメリカ政府が誠に人間味の溢れたところをやつた、それは大戰中國の爲に愛兒を失つた母親達をヨーロッパに送り、親しく愛兒の墓を弔はせたことである、昨年中にフランスに渡つたアメリカ人は二十五萬人――何と素晴しい旅客の溢れではある。

中傷を目的とするものは採らず

投書歡迎 新聞行數五十行以內のこと

三十里堡の果實

旅行家

小生は大連、長春間を商用で屢々往復して居りますが、滿鐵列車內の設備と完整と、警戒の行屆いてゐるのには常に感謝の意を表してゐる者です、ところで、茲に一寸申上げたいのは三十里堡の果實です、滿洲名物の名果を列車內で購ひ得るのは誠に結構ですが、非常に値段が高いやうです、一籠一圓の定價になつてゐますが、どんな標準なのでせうか、これは私一人の感想ではなく、絕えず同乘客からも聞かされることです

驛の賣店から發賣するのでせうか、そして、賣品の値段その他の取締は滿鐵、警察のいづれからも及ばないのでせうか

一寸とお尋ねいたします

四庫全書の話 (二)

園山良之助

(四)

さて右の四庫全書を編纂する傍らその目錄學なる「欽定四庫全書總目提要」といふものが作られました。この總目は全書中に收めた書籍の總目錄で、この書物だけでも二百卷に餘る大部のものであります。その內に解題したものと、存目といつて書物の名だけを書いたものがあつて、四庫全書の全部は一萬二千二十三部、書籍の卷數にして十七萬二千六百二十六卷に上ります。

(五)

これらの書物は皆立派な名著ばかりでありますが、支那の名著はこれだけではありません。四庫全書を編纂する時書籍の全部を燒き棄てたり、又惡い所だけを拔いて燒き棄てたりしたことがあります。その書目を銷燬書目、抽燬書と申します。上の銷燬書目に書き留めた書籍が百四十六種、下の抽燬書目に書き留めた書籍の數が百八十一種と記してあります。その卷數に至つては豫測されません。この外に僞流布を禁ぜられた禁書といふものが五百三十種とあります。これが禁書書目であります。以上は四庫全書に採收しなかつたものではあるが目錄に載つてゐる位だから相當の名著であつたに相違ありません。だから此の外に有名無名作家の作つた雜書といつたやうなものは果して何の位有つたものかとても莫大なものであつたらうと思はれます。また此の外に澤山な立派な著述があつて、これが未收四庫提要で有名な阮元の著、百七十種の書目が載せてあります。これに嗣に彙刻書目十卷が嘉慶巳未に桐川顧氏に作られ、宣統六年羅振玉先生が續彙刻書目十一卷を著して居られる、これは全書については餘談になります。

(六)

さて四庫といふのは內廷の四閣といつて次の四個所に同じ全書を四部作つて藏したものであります即ち

第一分 文淵閣 北京文華殿の後にあり
第二分 文溯閣 奉天行宮にあり
第三分 文津閣 熱河避暑山莊にあり
第四分 文源閣 北京圓明園にあり

右の四庫にこれ程澤山の筆寫の書籍を收藏して、帝はその宮に行つては之を讀むことが出來るやうにし又臣下で三品以上の官吏にも讀むことを許したのであります。蓋しこの四庫を作つたことは前述の唐の玄宗の四庫に倣つたのでありませう。誠に豪勢なる泰平の產物であります。ところがこの四庫は一統大支那國としては皆北方に偏在してゐるので、南方の官吏たちはその恩典に浴することが出來ません。そこで帝は文淵閣の全書を內府で書寫させて南方に下賜されました。これが三庫あつて

文滙閣 江蘇揚州大觀堂
文宗閣 鎮江の金山寺
文瀾閣 浙江西湖の孤山

さて右七ヶ所にあつた四庫全書の現在はどうであるかといふに、北京圓明園の文源閣は蕩然無存即ち全滅であります。熱河の文津閣は北京の文華殿に移してあります。だから北平には文淵閣とこの文津閣と二庫ある譯です。奉天の文溯閣は一時北京に移しましたがまた元の通りに戾されて現在のやうになつてをります。

南方の文滙、文宗の二閣は全部兵火のためにとつくのむかし失はれました。文瀾閣も幾度か兵燹のために多數の缺本が出來ましたが其後だん〳〵書寫添加されて今は殆ど完全になつてるそうである。結局、現在四庫全書の完全に保存されてあるのは、北平文華殿にある文淵閣と文津閣、奉天の文溯閣中にある文溯閣の三庫であつて稍缺先したものに西湖孤山の文瀾閣があるゝ譯であります。

南アルプス縱走記 (十二)

東京 大野恭平

◇乘鞍嶽の熊狩◇

草津白根でのスキーの壯快さを忘れかねた私は、それから半月とたゝぬ四月下旬、又もやスキーを擔ぎ出して乘鞍へと向つた。

武藏平野では、春の盛りはもう慌たゞしく過ぎ去つたあとだつたが、信州の松本平は、梅も、桃も櫻も、一時に花咲いて「春」の全力的活躍にかゞやいて居た。

奈川渡までバス、それから矢山平の小舍まで歩いて行つて泊つた、流石に歩けば汗が肌に滲み出した。小舍には未だ番人が殘つて居た。圍爐裡で番所名物の蕎麥饅頭を燒いて居るのが如何にも甘さうなのだ一つ貰つたが、赤ン坊の頭ほどの大きさで、馬鈴薯の澱粉だから持てあまして歸つた。

夕方獵師が七人、犬を五頭連れて、山を下りて來て、一服してまた下りて行つた。今日でもう七日も熊狩りに入つて居たのだが、まだ一頭も獲れないのだつた。七人がゝりで一週間も二週間も雨に濡れ、險阻を攀ぢ、岩に寢て、追はねばならぬ山の人達の生活も氣の毒だ。が、追はれる熊も可哀さうだ。熊にすれば、何故神さまは人間のやうな兇惡極まる猛獸をはびこらせるのだと恨んで居るだらう。

◇山上の鑛泉浴◇

第二日は午前に冷泉小舍へ着いた。その日に頂上まで行く豫定で出發したのであつたが、天候模樣が惡くなつて、雲交りの雨が降り出したので、そのまゝ冷泉小舍へ潛り込んでしまつた。夜になると風が強く、樺の密林の梢に荒狂ふ音が物凄いほどだつたが、入口を除いて小舍は完全に雪に埋もつて居るので、少しも寒く無い、それに薪はドッサリ積んであり、手製のストーブでそれを焚くやうにしてあるので、寒く無い丈でも助かつた。

翌くる朝は五時にアイゼンを着けて出發し二、五〇〇米の附近まで上つて見たが、天は荒模樣で、風はとても強く、頂稜の附近は危險を伴ふらしいので、空しく引返した。小舍に着くと又もや雲交りの雨が降り出し、やがてそれが雪に變つた。それで居て眼下の番所原には日が射して居るのだ。

第三日も同じやうな事を繰返して小舍へ戾つた。さうして、この小舍には風呂桶が据え付けてあつて、小舍の側からは鑛泉が湧き出すので、午後は退屈なまゝその鑛泉を湧かして入つた。海拔二千二百米突の山上で入湯なんて洒落てるなあと得意がつて、さて湯から上つて明るい所へ出て見ると、油煙が身體中に餅のやうに着いて居るには驚つたが、それよりも驚つたのは食物だつた。松本で「冷泉小舍には未だ番人が居て、食物も澤山有る」と言ふ話であり、防寒具が重いので、今度に限り菓子すら持つて來るのを遠慮したところが、金山平の小舍で、冷泉には米と味噌だけは有るが、番人も居らず、外に何も無いと言ふ事が判つたから、罐食物を分けて貰はうとしたけれど、僅に玉葱二ッと鯡佃煮一罐とを手に入れる事が出來ただけだつたので、三日の滯在で、それすらも無くなつてしまつたのだ(寫眞は乘鞍岳の肩部で…)

探偵小說 女妖 (158)

江戸川亂步作 橫溝正史

伊藤幾久造畫

袋の鼠(二)

「まア、由良さん、その、その血はどうなすつたのです」

浪子は思はずさう聲をかけた。

由良子は然し、それに答へやうともしない。彼女は暫く、呆然として、氣拔けした樣に突つ立つて居たが、やがて、がつくりと床の上に膝を落すと、さめ〴〵と泣き出した。何かしら突上げる樣な悲しみ、深いあはたゞしい絕望に、彼女の身體はガタ〴〵慄へてやまなかつた。

「よう、ど、どうなすつたといふのです」

ほんの一時、心を暗くしたある警戒から解き放たれた浪子は、周章て椅子を立つと、泣き崩れてゐる由良子の肩に手をかけた。

「寄らないで下さい。あゝ、あなた、寄らないで下さいまし」

由良子は何故か、駄々子のやうに體を搖すつて身悶えした。

「まア、本當に……本當にどうなすつたのです。暫く姿が見えないたので、あたしどんなに心を痛めてゐたか知れやしませんわ。ねえ何かあつたらあたしに話して下さいな」

「浪子さま。そんな優しい言葉をかけるのは止して下さいまし。あたしはあなた樣のお情に與かる樣な、そんな價値のある人間ではございませんわ」

「まア、何を仰有つてゐるの。何もそんな事、今更言ふ迄もないぢやありませんか」

「いゝえ、いゝえ、あなたは何も御存知ない。あなたは何もお知りなさらないのです。あたしは鬼です。惡魔に魂を賣つた恐ろしい女です」

由良子はよゝと床の上に泣きむせびながら、きれ〴〵にそんな事を言つた。

「まア、おかしいわね。どうしてそんな事を仰有るの?」

「あたしは何も彼もいつて了ひます。あたしのこの白い腕、あなたがいつも暖かな手でお握り下さいますこの白い腕――これは幾人かの血によつて汚されました。あゝ恐ろしい。何といふ恐ろしい事でせう。あたしはこの白い腕で、何人といふ人の生命を縮めて來た事でせう」

浪子はそれをきくと、ぎよつとした樣に二三歩後退りをした。それを見ると、由良子は絕望的に身を慄はせながら、

「浪子さま、あなたは今身慄ひをなさいました。然し、然し、あたしがして來たことをすつかり御存知になれば、あなたはもつともつと恐ろしがられるに違ひありませんわ。あゝ、あたしのして來た事は氣が違つてたに違ひありませんわ。でなければ、まア、どうしてあんなに數々の恐ろしい事が出來たのでせう――」

「由良子さん、どうしたといふのです。え、氣をしつかり持つて下さいな。あなたがこんな事をしてきたか。それはあたし知らないけれど、きつときつと、それは神樣がお許し下さるに違ひございませんわ」

「あゝ、あなたは何も御存知ないだからそんなやさしい事を仰有るのですわ。然し、然し、あたしのした事を御存知になれば……あゝ浪子さま。春日邸へあなたがあたしを連れていつて下つた夜あすこの主人を殺した者、それはかくいふあたしなのでございますよ」

「えゝ!」

浪子はあまり以外な相手の告白に思はず二三尺跳び上つた。あゝ何といふ恐ろしい事だらう。そんな事が一體信用されるだらうか。今こそ彼女は、自分の立つてゐる天地が引つくり返る樣な驚愕を感じた。それにしても由良子!彼女は今浪子の前に自分のして來た事を總て話して了ふ積りだらうか。

家庭欄

三十萬人の榮養不良兒童
學校給食は國民保健の最大急務

◇我國現在の小學校兒童總數九百二十三萬人のうち榮養不良者三十萬人と云ふから、千人につき三十五人の割合であるが、これに對して學校給食を實行してゐるのは僅かに百二十九ケ所の二萬人に過ぎない。此の現狀に鑑み文部省體育課では一食七錢、平均一人一年當り二十圓を以て榮養の供給をなし、貧困兒童十萬人に對して國庫から二百萬圓を補助し、大いに學校給食を奬勵する計畫を立てゝゐる

◇今日の兒童をして將來に於て健全に且善良なる國民に仕上げるには精神的食糧たる教育と共に肉體的食糧にも十分なる榮養分を加味しなければならぬ、兒童の榮養不良は直接學業、運動、體質、性質等すべての方面に亘つて、教育的效果に莫大なるハンデキヤツプを與ふるのみならず、發育盛りに當つての榮養不良は、その肉體天分の發達にとりかへしの付かない障碍を來す場合が少くないのである、現在世界の各文明國では學校給食に非常な力瘤を入れてゐる、スクール、フイーデイングと云ふ事は

◇小學校教育上の一つの常識となつてゐる位である、英國では榮養不良の小學兒童は一九二七年の統計によると、千人につき九人と云ふ少數になつてゐる、我國に行はれてゐる小學兒童の辨當なるものは榮養的價値から見て甚だ遺憾の點があるばかりでなく一般に分量が少く且つ不衞生極まるものが多い、又夏には腐敗の危險もあり、冬期には兒童の胃の腑にとつて殘酷な程冷切つてしまつてゐる、

◇學校給食の必要に迫られるのであるが、尚食堂の中に一つの協同體を現出する爲にも學校給食は大いに有望な事である、其の他學校給食を通じて家庭の主婦を教育する事が出來ると云ふも、その附隨的な利益である【東京通信】

夏の教育座談（五）
夏季休暇と體育衞生
A・B・C・D

A　滿洲育ちの子供はどうも體格がよくないね、

C　海濱聚落などに行つて裸體で體操をしてゐる子供等を見るとアバラ骨がゴツ〱現はれたのが多いが、どうして滿洲の子供は揃ひも揃つて體格が惡いのだらう、

D　やはり氣候風土の關係だらうね、

A　滿洲の子供も學齡までは順調に育つてゐるやうだが學齡に達した頃からだん〱體格が低下するやうに見えるね、

B　滿洲の冬の長いこともよほど原因してゐはしないか、

C　それも主要な原因の一つに相違ない、

D　何しろ約半年を室内で暮すのだからナ、

A　冬季間の不健康な生活を取戻す機會として夏季休暇を有效に利用する必要がある、

D　ところが夏季休暇に健康を取り戻すのではなくて却つて健康を失ふやうな結果になることが少くない、

A　子供をぞろ〱引つれて浪速町あたりを散歩するのがあるがあれは衞生上頗るよくないね、

D　あれは確に惡い、汚濁した空氣をわざ〱吸ひにゆくやうなものだ、しかも空氣は下層ほど汚れてゐるが子供は大人より背が低いだけ下層の空氣を吸つて歩くのだからいよ〱よくない、

A　僕の子供などは浪速町あたりを連れて歩くとよく扁桃腺をやられる、

C　夜の散歩には大ていは食ふことが附隨してゐるので更によくない、

A　アイスクリームでも食はんことには承知しないからナ、

C　子供はそれが唯一の目的なのだらう、

D　お互に此の夏は子供を病氣にかけないやうに注意をしやう、（完）

橫田少年に同情し　併せて世の父兄に告ぐ
山田行正

（承前）

身體の方面

身體と氣分とは、どつちが先きか一寸私には判斷に苦みますが、氣分の勝ぐれない時は身體に緩みがある如く身體に緩みを感ずる時は必ず氣分にも勝ぐれない所があるものであります。

故に身體の工合が惡るい時は内心で如何にやりたいと云ふ氣持が致しましても急に過激な運動をすると云ふことは必ず避けた方がよろしい、いま身體の方面のその具體的實例を擧げてみますと

A、身體が不潔な場合（一例として手足等の爪の長い場合）
B、運動用具の不完全な場合
C、身體の何處かに故障のある場合
D、睡眠不足で身體に疲勞を感じて居る場合
E、運動直後で極度に筋肉に疲勞の感じて居る場合
F、指導者或は監督者の不在の場合
G、病後まだ身體の回復の完全でない場合
H、食事の直前直後
I、水を澤山に飲んだ直後
J、起きたばかりで、まだよく目の覺めきらぬ場合
K、これまでにやつたことの無い他の運動を無理して行ふこと
L、豫備運動の不完全な場合

◇

以上のやうなことに注意され若し氣分にも身體にも心付いたことのある時はこれを除去してやり、常に兒童を監督して氣分に勝ぐれない所は無いか身體に故障はないか何か不注意な點はないかと見てやることは親として盡すべきことであり又これが負傷の豫防方法となるのであります。然し考へなければならないことは、親が子供を愛するあまり神經過敏になつて、あまりに斯う云ふことに拘泥されて切角の運動を阻害するやうになつても面白くないと思ひます。

其所で茲に豫備運動の如何に有益であるかと云ふことを述べさして頂きます。此の豫備運動は各運動毎にそれぞれ研究されてありますがそれ自然が競爭もなければ勝負もないため自然興味も少なく運動をする一般人に忘れられ、また疎んぜられて居りますが、豫備運動の效果は整理運動と共に既に專門家の間には必らずなくてはならぬものと認められて居ります。氣分の勝ぐれない時又は體のだるい時等にこの豫備運動を充分に行ふとその氣分も身體のだるいのも或る程度まで回復さすことが出來得るのであります。

また過激な運動を避けなければならぬものもこの豫備運動だけは多少にかゝはらず出來得る有効且つ便利な運動方法であります。

◇

例へ氣分も勝れ身體に異狀のないものでも運動を始める直前には必らず充分なる豫備運動が必要であつて、これこそ負傷を防ぐ一大要素となるものであります。（完）

連續漫畫　彼の職業（六）
次朗作畫

「けふこそ探し出して見せる」

トン吉は前日よりも一層念入りに天幕の中を覗たが樂屋にも觀客席にも札場にも彼らしい姿は見えなかつた。

「そんな人は此の一座にはゐませんよ」

樂屋の者の返事も前日と同じであつた。しかしその夜もトン吉が天幕の外で待つてゐると三公は中からによこ〱出て來て、二人は例の如く一緒に飲みに行つた。

創作　神聖なる惡戲（八）
五十嵐稔

「矢張り軸をとるのが目的だつたのだな」

「うふつ、御丁寧にも僞物をさ」

「紙屑だよ」と幹英が訂正した時でした。

何と云ふことでせう。二人の馬は鬣を振ると一際高々と嘶いて了つたのです。勿論、それが敵に聞えない筈は無かつたのです。聞えたとすれば…危險なことは目に見えて居ました。

果然！敵は二人の方に引返して來る氣配です。失つた！さう思つて突嗟に馬を傍らの高粱中に乘り入れたのと、拔身を翳した敵の一人が猛然と驅け寄つたのと、間一髪の際でした……

「おかしいな。逃げたか？」

さう呟きながら、これは油斷がならないと考へたのでせう。急いで馬首を轉へしたかと思ふと、忽ち闇中に沒し去つたのです。直ぐに先に行く仲間を追つて早驅けに驅け始めた樣子でした。

◇

辛うじて虎口を遁れ得た子供の馬は、その時分高粱の畑を阿修羅の如く衝き進んで居ました。高粱の長い葉が、二人の全身を嫌きらはず叩き散らすのです。

無二無三に足掻く馬蹄にかけられた高い莖が、足元で折れて音を立てます。頭上で二つに割られた高粱の海が、二人を包んで絶えずざわざわ鳴ります。

畑は山の斜面で切れて、邪魔物のなくなつた馬は、身振ひ一つすると、網の目のやうに梢を交へた林の間の小徑を一氣に拔け、崖を下り、谿川を躍り越えて瞬く間に——城を眼下に見渡す丘の上に出ました。鐵の手に中空から落ちかゝる稻妻は、灰色に蟠まる城壁や壁下の河流を縮緬のやうに眼下の闇の底に見せます。

「水滸傳だ」孫山が恍惚としてかう呟きました。

「もう一息だ。急げ！」横腹を蹴られた馬は折しも轟き渡つた雷鳴の下をあつと云ふ間に、闇の底に驅け下り、佩環の響を立てゝ流れる河流を乘り切つて、人氣の無い城壁の下にぴつたりと蹄を揃へて止つたのでした。

河柳の中に馬を繋ぎ終ると、二人は音もなく西の門の傍らの暗中に忍び寄つて居たのです——もう夜も更けて居ましたから、もとより通る人とてありません。只、頭上の空高く甍を重ねた樓門が、折々闇を貫く稻妻の光りを浴びて、何となく不氣味に思はれるです。その中に、膠黒の空間にぽつぽつ雨の落ち始める氣配さえ感ぜられるのでした。さすがに心細くなつて來たのです。

「歸らうや」と、孫山が弱音を吐きました。

「いや、待ち給へ。楊馬得の奴は未だ着いては居ないんだ。あそこに灯を持つた男が居るだらう。僕はあれを奴の召使ひだと睨んだ」と幹英は小聲でそれを訓しました。

彌生高女　聚落だより……（三）

七月二十八日（日曜日）晴

黎明！

すが〱しい朝だ。井戸の冷たい水で顔を洗ふ、手を入れるとジーとしみとほる水だ。蚊になやまされた不快な氣も洗ひ落された。

朝顔

二輪ばかりの月見草の花がしつとりと露にぬれて咲いて居た。

朝禮

皆んなで「おはやうございます」とあいさつをかはす、輕い體操をする、赤い太陽が右手のアカシヤの林の中に顔を見せる、なんの鳥かしらないが林間で、可愛らしく鳴く。

朝食

若人の集ひは賑やかだ。けれどあまり度をすごして、つい、Y先生から御注意をいたゞく、そのときなにを思つたのか、なにがおかしかつたのか、先生の小さい方が大きな聲で笑ひ出した。「アハヽヽ」愉快な笑ひ聲だ。笑ひの爆發。食堂は笑ひで滿ちた。そして愉快な樂しい食事も終つためい〱自分の茶碗を手に、井戸端に行く、冷めたい水だけれど飲むことはゆるされてない「これが飲めたら……」と何度思つたことか。

小時の休み……七時三十分……學習時間が始まる……二時間……數學をする人……英語をする人…幾何をやる人、學習班の人はまだ、二時間しなければならないのだ。

午前の水泳……いそ〱と水着にきかへて飛び出す、私達二人は寫生道具を片手に、みんなのあとを追ふ。太陽の光の中に泳ぐ人、靑い海を泳ぐ人、貝を拾ふ人、淋しいけれど靜かな景色だ。

砂濱へ腰をおろす。靑い海！とほくに浮く帆船、白い雲、けれど海をかくと檢閲を受けなければならないとか。しかたがないので自分達の住んで居る宿舍をかく。空の美しさ、コバルトの柔かな色だ。あのまゝここにうつしたら……黑い鉛筆の線が光る。

「おい」「おい」「歸へるよ」…大連の友の聲……宿舍にもどる、大連の友がおとずれて來た。大きなお土産をもつて……。

州内踏破（第三信）
普蘭店から唐家房へ
二中徒歩旅行隊

二十七日——

午前四時起床、同五時朝食として昨夜の殘飯と、支那パンの殘つたのを食べました。六時普蘭店小學校を出發し、東へ東へと進みました。

今日のコースである普蘭店と唐家房屯との間は幹道を通つたので非常に樂に歩けました。それで晝食を拔いて歩き午後一時半に目的地の警察官吏派出所に着きました今日の天氣は曇つたり晴れたり、稀には雨が降つたりしてほんとに妙な天氣でした。

唐家房の派出所は重要なる地點にあるので、巡査五人巡捕が一人居り、其の中にはいかめしく、武裝した巡査も居つて、表を通る自動車を一々檢査して居ります（二十七日夕唐家房派出所にて）

少年團キャンプ　一般に公開
五日夜はキャンプファイア

大連少年團員約二百名は既報の如く一日以來多數指導員と共に沙河口水源地に於て合同野營を營んでゐるが三四兩日は團員の統制あるキャンプ生活を一般に公開觀覽せしむる由尚五日夜はスカウトの最大なる歡樂としてゐるキャンプファイアーを行ひ焚火を圍んで團員各自のかくし藝野外劇等の餘興が催されるが一般父兄の來觀を希望すると

祝創刊二十五周年並に社屋新築記念

滿洲日報

在青島日本總領事館 總領事 川越茂 外館員一同
青島日本紡績同業會
青島糸廠
同仁會青島醫院
大倉洋行 田中元千代
株式會社 青島取引所
青島日本中學校 野球部後援會
青島水産組合
山東倉庫株式會社 常務取締役 待島又一
青島宰畜股份有限公司
大日本麥酒株式會社 青島工場

米星煙草株式會社 北野順吉
山東煙草株式會社 山東窯業株式會社
大連製氷株式會社 青島支店
岡崎合資會社
株式會社 濟南銀行 青島支店
南昌洋行青島出張所 青島地所建物株式會社 遠藤要
青島牛取引株式會社
青島生牛生肉輸出同業組合
國際運輸株式會社 青島出張所
青島燐寸同業組合
中村洋行 中村順之助

青島材木商組合
宮田眞吾
石橋洋行 石橋藤次郎
維新化學工藝社 兒島熊吉
佐藤信二
大橋慶治郎
吉田辰秋
田中國隆
裕泰號 國分壯介
泰來號 樋口三郎
合名會社南商店 南眞治
吉木組 吉木周治

青島各學校長一同
加賀山學
佐伯彪
高橋光隆
青島日本電信局長 向山善次郎
青島職役調査所長 濱周謙
青島測候所長 伊藤小三郎
村地卓爾
田邊郁太郎
稻田恒治
太田健造
辯護士 吉田謙
鹽田正長
栗本定治郎
安藤重郎
博愛醫院 飯田芳亮
鈴木醫院 鈴木健吉
富田眼科醫院 富田要
三條齒科醫院 三條愼吾
乾商會 乾善助

輸出入貿易商 鈴木洋行
山東綿紡株式會社
三和洋行 袴田岩雄
興源棉行 淡島小三郎
永和商會 中谷藤治郎
日本賣藥株式會社 青島出張所
輸出貿易商 吉澤干城
大杉洋行 大杉昇平
小林洋行 小林乃
伊東經眞
中村組 谷川保
新泰號 野間總吉
辻呉服店 辻安兵衛
白石洋行
森洋家具店 森清吉
石井公濟堂 石井健三
川岸大藥房
和洋御菓子 東光堂賣店
カフエースター 堀島久吉
大觀堂 立場久治郎

西田善一
宇野祐四郎
山本仙
藤田榮
柴田一美
青島港務局顧問 小林昭隆
黒岩兼助
中村爲次
井深俊雄
柴谷洋行 杉山治郎
森川政一
青島市場組合長 鈴木寛一郎
坊子南炭坑 高宅慶夫
山田禎三
淺田龜吉
松島正吉
磯野清平
神田清一郎
中川勝夫
青島通運合組

德田洋行 德田與次郎
青島寫眞館 別役元胤
日支藥物研究所 澤田福三郎
中谷商會 中谷晋十郎
寶洋行 志賀長七
梅澤商會 梅澤重彦
公和興工程局 土居威夫
櫻村洋行 最上義重
泰東號印字局 青柳寛
辻村洋服店 辻村定吉
輸出入貿易商 花井時一
西山商會 西山經清
白男川商店 白男川善之助
大櫛商店 大櫛善吉
平岡組 筑紫庄作
田原工程局 田原政義
堀淵處平
西田鶴舞
みやげもの一式 西南堂
勝山洋行 岡本久米次
高江定吉

鹽谷治太郎
輸出入貿易商 阿部龜次郎
ロイド商會 近江龍三
通關運送業 千葉由藏
蛭子組運送店 倉脇雄二郎
常盤商會 廣瀬銀二郎
吉川商會 吉川由太郎
興梠運送店 興梠左一
藤村運送店 藤村惣二郎
丸庄運送店 高澤庄作
古賀野運送店
洋服商 今田重悌
洋服店 下田惣一
青島日本婦人病院 理事長 小林仁太郎
青島日本婦人病院 副理事長 山田泰之
青島共和會 大辰 第一樓 粂廼家 三浦屋
青島三業組合
滿洲日報青島支局 井原福治
滿洲日報販賣店 森本寅吉

中國共産黨と通じて 朝鮮共産黨陰謀
吉敦線の日支官公衙襲撃計畫 吉林は嚴重に警戒

【吉林特電一日發】國際赤色記念日である八月一日の前夜から翌朝に亘り今回中國共産黨に加入した朝鮮共産黨ML八千五百名は吉敦沿線に根據を有して主として吉敦線の日支官公衙、銀行その他鐵道の破壞、電信電話の切斷、電燈線の破壞に努め暗黑たらしめ、銃器の强奪、軍資金の調達を圖りつゝありとの情報が三十一日午後五時すぎ支那公安局および日本領事館に入りたるため一齊に大警戒をなす一方居留民にその旨達したので、在鄕軍人の役員民會に集り萬一の場合の準備につき協議したが同夜は何事もなく不安な一夜は明けた、尙警戒の手薄に乘じて何時不穩の行動に出るやも知れずう續き警戒中

不逞團を追ひつめて 支那官憲が激戰中
吉敦線は一日朝復舊す

【長春特電一日發】吉敦鐵路沿線の木橋二ケ所は石油をそゝいで放火したものでこれが發見されたのは一日午前四時頃であるが、應急修理の結果、十一時半頃列車の開通を見るに至つたものである、支那側では直ちに敎化駐屯第十三旅七團及び吉林駐屯軍と連絡をとり逃走せる不逞團を敎化を去る六十支里の地點寛地に不逞團を追ひつめ目下支那軍隊は不逞團と戰闘中であると、尙吉林駐屯軍隊は吉敦沿線の守備を嚴重にした、これがため長春の公安局及び鐵守使は一日より午後六時より十二時まで非常警戒を決行することになつた

近畿地方に大豪雨襲ふ
各河川とも大增水し 市郡を通じ被害甚大

【大阪一日發電通】三十一日未明ー浸水耕地四千五百町歩に達し鐵道線路の不通個所多し、奈良縣下も橋梁の流失堤防の缺潰個所にあり崖崩れのため四名慘死した、大阪市内の浸水家屋八千六百戸淀川增水一丈五尺に及んだが一日正午頃より次第に減水したが橋梁の流失十ケ所に及んだ

から近畿地方を襲つた豪雨は三十餘時間降り續き堤防橋梁の流失家屋の浸水多く多大の被害を與へた丹波福知山は由良川增水二丈三尺に及び全町二千五百戸浸水山陰線は福知山間は不通となつた、伏見市は宇治川氾濫のため家屋の浸水二千三百戸に及び工兵第十六大隊出動危險を冒して工事中であるが伏見西南部は殆ど床上まで浸水し尙刻々に增水しつゝあるので市民は戰々兢々としてゐる市役所では一日朝より炊出をなした、但馬地方は

海軍檢閲
一行日程決る

鳥巣佐世保鎭守府司令長官一行の旅順海軍無線電信所恒例檢閲は左記の如く發表された
▲檢閲官海軍中將鳥巣玉樹▲同附海軍中佐參謀戸塚道太郎▲同海軍中佐副官中村季雄▲海軍機關少佐參謀中山寛
大連寺兒溝海軍用地視察、大連民政署、市役所、滿鐵訪問、午後大連神社、忠靈塔參拜、老虎灘方面海軍用地視察了へ旅順へ（自動車）白玉山參拜、關東長官、關東軍司令官、要塞司令官訪問、旅順泊（黄金臺ヤマトホテル）
▲十五日午前 旅順無線電信所檢閲、正午地方官憲招待（黄金臺ヤマトホテル）了つて大連へ、大連泊（大連ヤマトホテル）
▲十六日午前九時 大連發、營口海軍用地視察、湯崗子泊
▲十七日午前八時五分 湯崗子發奉天視察の上即日奉天發平壤へ

駐劄師團慰問

目下若草山本願寺關東別院に於ける體地修養會講師として來連中本山特選布敎使遠山正導師は六日朝離連し同派各出張所を巡講し來る七日には遼陽駐劄師團を慰問することゝなり本山より慰問品を多數携帶して來てゐる

少年團の天幕生活
一日から沙河口水源地で

敎員の減俸から 村民が同盟休校
また長崎縣下で爭ふ

【上田二日發電通】長野縣北佐久郡春日村では先月三十日村民大會委員會を開き小學校職員給料四割減問題につき學校側と協議したが學校側が諾否の回答をしないため村民は憤慨し三十一日對策協議會を開き一日朝から同盟休校の擧に出でた

わが學生軍が異彩を放つ
一日開會式を擧げた 第四回學生國際競技

【東京特電二日發】ダルムスタッドに於ける第四回學生國際競技大會は歐洲各國、日本、アメリカ、オーストリア、ニユージーランド南亞等の學生選手中の精鋭を集めて愈々本日開會式を擧げた此の競技會は一般に學生オリムピックと呼ばれその體裁は全く同競技と同樣で、陸上競技をはじめ水泳、蹴球、庭球、擊劍、ボートレース、拳鬪等の競技が行はれる、第一日競技はボートレースにはじまるが最も興味を惹くのは矢張り第七日目から十日まで四日間の陸上競技である、これに參加する選手は總數二百四十四名で、ドイツの五十名を筆頭にフランス三十名、イタリー廿五名、日本は十六名と、選手數では第四位だが織田幹雄以下優秀な選手多數を揃へてゐる日本の陣容は非常に惧れられてゐる

競技種目と 採點決る
京城軍の來征

朝鮮鐵道局々友會陸上競技部は九月七日大連運動場に於て大連アスレチック倶樂部と對抗陸上競技を擧行するが、種々交渉の結果既報種目を左記種目に又採點も左記採點に變更した
▲種目 四百米▲砲丸投▲百十米高障碍▲走高跳▲千五百米▲圓盤投▲百米▲走巾跳▲槍投▲千米繼走
▲採點法 一等三點、二等二點、三等一點
▲繼走 一等三點、二點、一點
▲出場人員 繼走を除く外一種目二名宛

孟買織工場紡 續々閉鎖さる

【ボムベイ一日發電通】對英不服從運動のため招來された綿業界不況のため工場の閉鎖續出したが本日更に四紡績工場閉鎖され從業員六千名は失業の厄に遭つた、現在の不況が轉換されぬ限り八月中に更に三十餘工場が閉鎖の外なかるべしと見られてゐる

旅順警察署に宛全組合の飲食物値の定價表と對照研究の上三十一日下方を願出たが、これに依ると洋食部、麵類部及び一般飲食物は從來より約一割三分程度の値下げを爲す事となるが、認可の上は從來かけうどん等の九錢が八錢となり丼物は四十錢のが三十五錢洋食も稍同一位で種物には餘り變りなく主として一般向の物の値下げに重きを置いてゐる

小野少佐死體發見

【館山一日發電通】飛行機墜落のため慘死した小野海軍少佐の死體は一日午前九時發見されたので直に發見された津久井中時肥後兵曹の死體と共に能登呂艦上に安置し午後三時山本聯合艦隊司令長官以下參列の上莊嚴なる告別式を行ひ死體は同夕刻館山に於て荼毘に附した

水田埋沒から 村民の激昂
矢場川を改修せぬからだと 群馬縣下で不穩氣勢

【前橋一日發電通】群馬縣邑樂郡六鄕村及び鄕谷村を貫流する矢場川氾濫し兩村地内の水田二百餘町步埋沒したので兩村民總出動で排水に努めてゐる右矢場川は數年前より縣廳に改修方を陳情し來つたものであるがまだ修理されぬため斯くなつたとて村民は激昂し三百餘名は蓑笠姿で一日午前十時大擧縣廳に押しかけんとしたので館林署では警官多數を派遣し目下鎭撫に努めつゝある

旅順でも 値下げ
飲食店組合が

旅順の飲食店組合では緊下の不況と諸物價の値下げに鑑み現在の難局を打開し顧客との合理化に努むべく逐次評議員會を開き種々協議の結果各々自分の店の飲食物を何程の程度迄値下し得るかを無記名にて投票せしめ一括の上更に從來

温泉宿の 倉庫下敷
山崩れで女 中六名卽死

【宇都宮二日發電通】一日夜十時頃豪雨中に那須郡湯本温泉旅館松川屋廣川キミ方の倉庫に雨漏りを始めたので十數名の女中が倉庫内を整理中突然大音響と共に山崩れあり同倉庫は忽ち押し潰され女中十數名は倉庫の下敷となつたので大騷ぎとなり消防隊警官其他馳せつけ豪雨を冒して掘り出した結果卽死六名重傷八名を出した

高等商業學院募集

來る九月五日から開校の大連高等商業學院は入學希望者非常に多きため豫定募集人員五十名を百名に增加し合計百五十名募集するに決定したが希望者は至急申込まれ度き由

旅順の放火魔 容疑者を引致
磯田技師方のボーイ

去る五月三日夜中村町一六關東廳技師磯田信之助方倉庫の放火を手始めに振武館弓場其他の放火犯人に就ては旅順警察署に於ても極力犯人の搜査に努めつゝあつたが未だに眞犯人を逮捕するに至らず全く怪火として迷宮に入らんとせるが其後聚行中の宮本部長等に依つてどうやら磯田技師方のボーイ李洪□（二三）が怪しいと睨み容疑者として卅一日本署に引致目下取調べ中である

人氣力士で 本社お好大喝采
二日から幕内五番決勝戰 大相撲五日目賑ふ

大相撲五日目は初日の事でもあり又夕方から可成り涼しくなつたので約八分の入り相變らず各贔負力士の應援で大童である、御好み相撲數番後本社の御好み相撲沖ツ海對鯱川、潮ケ濱對晴の海は四力士とも人氣力士とて大喝采を博し結局前者は寄り切りで沖ツが勝ち後者は下手投げと上手投げの二番で潮ケ濱勝つ又幕下個人決勝は初二

三日の優勝者、柳關は二回戰に於て大連で初土俵の若藤部屋の越ノ海に破れ四日目の優勝者双葉山は二回戰に於て太刀若に一蹴され優勝候補の越ノ海は準決勝戰で鳴汐に破れ結局鳴汐と太刀若が殘つたが鳴汐寄り切つて優勝す又東西軍はこの日中入に入るとき二十對二十の同點で興味を呼び以後も大接戰を續け二十四對二十四の同點となり總計東百二十六點西百十一點となる主なる勝負左の如くである

勝　負
潮ケ濱（つり出し）上宮山
池田川（ふみこし）晴ノ海
高中　浪（押し切り）潮光
沖ツ海（上手投げ）若瀨川
晴鯱川（下手投げ）劍岳
寶川（寄り切り）雷ノ峰
錦洋（上手投げ）眞鶴
宮城山（寄り切り）潮

潮ケ濱つり出しも池田立たず立つや激しく突き合ひの後晴右を押し勝を急いでぐんぐん押したが僅かにふみこして破れる
沖ツ海しきり直すこと四回若瀨川をかけたが沖ツ自重立たず、立つや沖ツ鐵砲激しく敵に寄つたが若瀨うまくはづして左をさし逆に沖ツ苦戰と見えしが沖ツ物の見事上手投げをうつて勝つ
本日の好取組として期待されて居た一番、しきり入念、鶴の臀で立ちがつちり相四つとなり鶴ぐんぐん寄つたが巧に錦殘し逆に押す、土俵眞中でしばし錦敵の虚を見すまして上手投げで勝つ
大蛇山（押し切り）若葉山
玉錦（つり出し）吉野山
全勝の玉と大物喰ひの吉野との對戰興味を以て迎へられる、しきりなほし三回、吉野右をさし相四つとなり一時押して優勢と見えたが押しかへされ玉の腹にのせられあつけなくつり出される
豐國（つり出し）太郎山
一勝三敗の太郎はこの一戰で名譽回復と必死になつて迫まり左四つとなつたが豐のつり出しにまんまとやられ豐五番目勝ち越なす

本日の最好取組宮城全勝朝三勝一敗入念にしきつた後立つや宮城左をさしてぐんぐん押しさしもの朝の巨體もおされて土俵際に迫り朝受身、强張つた末僅かに殘して中央まで押しかへされたが再び押され遂に破る
打出し七時三十五分
六日目午後三時卅分頃協會では連日滿員の御禮のため左記幕內力士の決勝五番相撲を擧行するとになつた、幕内力士のリーグ戰は協會としては本場所のみで擧行したものであるが今回は特に讚歎の意味で非常な期待を以て迎へられてゐる
東方　西方
大蛇山　太郎山
吉野山　若瀨川
劍岳　鯱瀨川
寶川　雷の峰
錦洋　眞鶴

勞資爭議の尖銳化
東京市外だけで廿三件繫爭中 解決は勞働者に不利

【東京特電一日發】農村の飢渴と小商工業者の倒産續出と、したがつて起る産業豫備軍の增大は日々重大性を加へて不氣味な社會的暗流となりつゝあるので警視廳をはじめとして各地警察の非常時警備網はいよ〳〵嚴重に進められてゐるが、不安と産業合理化の加速度的進展は各地に勞資激突の件數を增し本年初以來七月中旬までの勞働爭議件數は八百件に及び、うち約四〇パーセントは能率低下工場閉鎖などに結果してゐる、これを例年に比すれば未曾有の件數增加で現在、東京市內外に繫爭中の爭議は大小二十三件、その大部分は解雇や勞働條件低下に端を發ししかも勞働者にとつて有利に解決した爭議は僅に、調停機關を經たうちの小部分にとまり、一面勞働組合團援の鬪合に微力なことも暴露してゐるが、大勢は漸次各種産業家の勞働團體をかつて統一的鬪爭コースへと向はせつゝあり、不景氣が醸した集中爭議への成行きは頗る重視すべきものがあると

銀安と不景氣が 大連港にも響く
今までにない閑散振りの 七月の入港船舶數

銀安と不景氣が如實に大連港に反映して當地海務局が調査による七月中の入港船舶二百八十三隻、總噸數七十四萬九千九百九十三噸、檢疫人員四萬五千百三十九名、昨年の同月中に比較すると隻數百七十七隻と云ふかつて見ない減少ぶり、その總噸數で十五萬五百三十一噸檢疫人員で一萬七千九百八十六名の大減少を示してゐる

多獅島の 調査班
二日大連からも出發する

昭和製鋼所設置箇所に關して鞍山說が頗る悲觀論に傾き新義州說が流布されつゝある二日、大連よりも多獅島調査班を派遣する事となり二日午前七時埠頭曳船帽島丸、黑島丸の兩船ならびにライター、水船を以て大々的の調査班が出發した、一行三十餘名何れも技術者の優秀なるものを網羅し殊に築港關係者の多數あるは注目に價すべく約一ケ月の豫定であると

十哩遠泳 だけ行ふ

黑石礁滿鐵水泳部では八月三日今夏始めての十哩遠泳を擧行する筈であつたが昨今の雨天續きで選手の練習が捗どらず止むなく延期することにし同日は一哩遠泳だけ行ふことゝなつたから沿線各地からの入場者は出發を見合はせられたいと

歐洲一周飛行
英ブ大尉一着

【ベルリン三十一日發電通】最近擧行された歐洲一周飛行競爭はイギリスのブロード大尉が平均時速百十哩で一着となり同じくイギリスのバトラー氏が第二着となつたが技術方面の試驗は一日より行はるゝ筈である

簡閲點呼好績

大連に於ける本年度陸軍簡閲點呼は去る二十六日より二日に亘つて大連小學校に於て施行されたが令狀送達者數千六百二十九人で出席者千六百六十八人中出席者は二名あつた、病氣及事故不參者は三十七人で昨年より遙かに成績は良い

伍堂、村上兩理事 二日神戸出發

【東京特電一日發】滿鐵新理事伍堂卓雄氏は一日夜東京發、同新理事村上義一氏と共に二日神戸より船で赴連の途に就いた

海の唄

仲木貞一作
一木淳画

『二二』

白河の里（六）

膳の上には、京子の持つて來た大阪の佃煮鉢も載つた。

先刻、母親が裏から笊に入れて持つた來た大根の類も、美味しさうに椀の中に盛られてあつた。

「さあ、京子はんや、何にも御馳走は無いのどすけど、たんと喰べてくれやすなあ」

母親は、今まで働いてゐたのでか、ぽッと熱つて、艶々とした美しい顔を、無雑作に、前掛けの端で拭きながら、京子の方へ朱塗りの箸箱を出して、

「今な、ちよつと新らしい箸が見附からんよつて、それで我慢しとおくれやすな」

と、愛想よく云ふ。

「なにや……箸あ一つも無いんかてそないことないやろ……」

父親は手酌で、チビリ〳〵と傾けながらそれも愛想らしく云ふ。

「いえ、これで宜しうおすわ、却つて此の方が結構だす……」

それは、此の前もおしるこを食べ合つた時も、使つてゐた和蝋の箸箱である。

と、思つた京子は係う云つて急いで、中から琥珀色で、ちよつと持つ方に銀でちよつと細工のしてある長い箸をとり出した。

「此のお箸の主は、今頃、何しておりやすのやろ……」

係う、口に出して云つてみたかつたが京子は、まだ父親の氣を兼ねて、默つてそつと椀を取り上げた。

「さあ、たんとなア」

「頂戴しやす……」

……と母親も一緒に食べながら、

「京子さんのお土産……貴方も大お好きやな。美味しうおますやろ……」

「うむ……」

父親は、から云つて頷いて、一杯乾した小さなお猪口を、京子の前に置いた。

「一杯おあがり……」

「…………」

默つて、お辭儀をしたが、京子の顔は、ぽつと紅らんだ。

「貴方、よしなはれ、京子さんまだ娘さんやで……わたしが貰ひまつさ」

と、母親は横合からお猪口を取らうとする

「まあ、えいが……一杯だけ、ほんの眞似や、なア京子……」

父親は、またお猪口を取り上げて、京子の方へ差出した。

「そんなら……眞似だけだつせ、おちさん」

係う云つた父親の調子が、ふと以前を偲ばせるやうな氣兼ねが去つて了つたやうに、心持ち歡喜いだ調子で云つて、お猪口に一杯なみ〳〵と注いで貰つて……

「ほゝう……見事や」

父親は、もうそろ〳〵醉ひが廻つて來たらしい風で、京子がやう〳〵の念ひで一杯乾したのを見て係う他愛なささうに云つた。

「まあ、京子さん、なか〳〵豪うおすな、何時の間にそない修業が積みましたえ？」

と母親は、まじ〳〵と京子の顔を覗ながら云つた。

「いえ、飲めんのどすけど、折角おちさんのやで」

「そやなア、もうそれに京子かてぢきに嫁さんになるのやろ？……丹波屋御寮人様になるのやつたら……」

父親がから云ひかけた時、母親はヂロリとその顔を睨むやうにして、そして、また京子の方を忙しなく覗やつた。

「…………」

京子は、何か云はうと思つたが急に咽喉のところへ何か支へて來たやうで、何も云へなかつた。

父親も、何故か、それなり口を噤んで了つた。

滿日文藝

滿日俳壇

島田青峰選

『ハンモック』

大連 梅子
ハンモック納りかねるわが體
ハンモック搖れて海原見えかくれ

遼陽 みのる
ハンモック書疲の顔へ團の型
ハンモック戯れてゐる許嫁

大連 よし坊
ハンモックゆれて合ずハアモニカ
ハンモックゆれて小供は泣きをやめ

大連 凡稚
木蔭から木蔭へ移すハンモック
ハンモック親父のひるねへ子がたかり

大連 榮浪
顔へ本あてゝ晝のハンモック
葉の香り滿された木と木へハンモック
ハンモック靜に搖れて子はねむり

大連 白水
ハンモック肩が痛んで目を覺し

大連 淀月
ハンモック乘つて居らない男の子
ハンモック痛たそうに乘ゝ病上り

大連 滿山
ハンモック玩具が落ちて夢に入り
初めては怖々と乘るハンモック
ハンモックうつら〳〵と蟬の聲

奉天 奇峰
ハンモック搖り〳〵母の手内職
新兵の當座ハンモック眠られず

大連 子禾
ハンモック毛虫一つへ騒ぎ立て
片腕をとなりの垣へハンモック

旅順 榮丸
日曜日課長もゆするハンモック

大連 佛心
初孫へ國から屆くハンモック
水兵はいつも疊を戀しく寢

大連 青々庵
ハンモック撫りつゝ唄ふ子守唄
ハンモック寢顔にあたる葉越しの陽

旅順 泥船
ハンモック吊つて座敷の定規型

本溪湖 柳村
ハンモック人形の足ぶら下り

奉天 友月
ハンモック喧嘩になつて兄が乘り

旅順 辰雄
ハンモック子ほ飛行機に乘つた夢

旅順 紀南
船長の妻は淋しいハンモック

大連 三樹
日曜日又振らされるハンモック
歸つて來た父ハンモック一寸ふり
風道を選んで吊るすハンモック
ハンモックいつしか本を顔にふせ

大連 猿夢
たま〳〵のハンモックにて風邪をひき

大連 いさ場
臭虫に苦しめられてハンモック
ハンモック兒はわざと高く釣り
ハンモック仔犬乘せたり下ろしたり

普蘭店 泥龜
脱ぎながら釣床のぞく若い父

旅順 榮丸
ハンモック午前と午後の向を替へ

大連 照波
ハンモック子守も一寸乘つて見る

大連 照波
ハンモック子供は飛行機乘つてる氣

本溪湖 銀杏
ハンモック吊すとこない裏長屋
四疊半もて餘してるハンモック
留守の下女振り落されしハンモック

大連 岳泉
日曜の午睡へ木蔭のハンモック
ハンモックゆすり〳〵の針仕事
古網で父が自慢のハンモック

旅順 柳月
新築へさてハンモックの吊りどころ
振りやんで泣く兒へ箸を捨てさせる

旅順 都一
ハンモック切れて家内の大騒ぎ
晩酌へ坊やハンモックへ乘せられる

鞍山 久枝

川柳募集課題

▽題 「星」「相談」「睡辨」
▽句 各題五句限必ず別記
▽限 八月十五日〆切
▽宛 大連市彌生町高橋月南
滿日文藝係

滿日聯珠戰（一）

中央聯珠社大連支部鑑譜

先勝 原口 八州
高橋 桂山

▲五號桂山月（五珠隨意打）
【四段井村永治講評】
△（十七）後「甲」の勝

黒（五）定珠にて可（三、四、一、二、五）の順にて一號桂峡月に選された事になる白（六）と打ちたき趣向なれば白（四）の時に於て直ちに（六）と打つ所である、然すれば山嵐といふ有名な難局になるのであつたに、白（四）黒（五）の交換ある今は須からく、他に防がねばならぬ、黒（七）穩健にてよろしい、白（八）如何に防ぐも上記の交換ある故不利は免れないが未だしも反對「イ」より防いで黒の策動を待つがよろしい（實は次に黒「ロ」と打つ必勝の珠型がある）以下黒は白の弱防に乘じ一擧に敵を破りたるは見事である